

琉球大学学術リポジトリ

島嶼研究の総合的展開 ―島嶼研究データベース―

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター 公開日: 2012-06-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/24656

島嶼地域の社会動態に関する研究

沖縄の振興策と基地

参考資料

『米国の新外交ドクトリン演説』アンソニー・レイク 1993年11月2日 p60-73。

『米国防省の第三次東アジア戦略構想』1995年3月21日 p64-68、28日 p62-70、4月4日 p60-65、4月11日 p65-70。

『米国の東アジア安全保障政策に関するケイトー研究所の提言』1995年3月28日 p70-73。

『米国防総省の日米安保関係報告』1995年4月4日 p66-69、11日 p71-73。

『米軍沖縄基地問題に関する米会計検査院報告』1998年6月16日 p62-66。

『新世紀のための米国家安全保障戦略 (A National Security Strategy for a New Century)』2000年4月4日 p64-68、11日 p68-72、18日 p69-72、25日 p68-72、5月2日 p69-72、9-16日 p86-88。

『米国防総省「21世紀国家安全保障委員会」報告 (U.S. Commission on National Security/21st Century)』2000年8月1日 p69-72、8日 p69-72、15日 p70-72。

『米国の2000年国防報告 (Annual Defense Report to the President and the Congress)』2000年6月6日 p69-72、13日 p70-72、20日 p69-72、27日 p69-72、7月4日 p65-68。

『米国防総省の1998年東アジア戦略報告』1999年2月9日 p70-73、16日 p70-73、23日 p69-73、3月2日 p70-73、9日 p69-73、16日 p70-73、23日 p69-73。

『米国の新アジア戦略』ジョゼフ・S・ナイ 1997年新年特大号 p6-12。

『(インタビュー) クリントン政権二期目のアジア政策』ジョゼフ・ナイ、ウィンストン・ロード、マイケル・アマコスト 1997年4月22日 p6-11。

『(インタビュー) ジョゼフ・ナイ』1999年10月26日 p6-10、11月2日 p14-18。

『沖縄の海兵隊は撤退すべきだ』マイク・モチヅキ 1995年12月12日 p42-43。

『日米安保を強化する道』マイク・モチヅキ 1996年2月6日 p6-12。

『日米同盟の維持には日本の柔軟な政策が必要』ジェームズ・アワー 1996年12月3日 p6-9。

『(インタビュー) 集団的自衛権の憲法解釈変更が必要』リチャード・アーミテージ 1997年10月28日 p50-51。

『(講演録) アジア安全保障の歴史の中で画期的な日米の新ガイドライン』リチャード・アーミテージ 1997年10月28日 p52-55。

『(インタビュー) 「普天間」移転問題は後戻りできない』リチャード・アーミテージ 1998年3月31日 p16,17。

『(インタビュー) クリントン政権下で沖縄の兵力構成見直しは困難』マイク・モチヅキ 1998年5月5-12日 p34-35。

『米日安全保障パートナーシップの活性化』カートキャンベル 2000年新年合併号 p32-37。

『日米安保「再定義」にかける米国の狙い』 富山泰 1995年10月17日 p6-10。
『沖縄基地の現状固定はない』 富山泰 1996年2月6日 p56,57。
『「朝鮮有事」への協力を求める米国』 富山泰 1996年5月28日 p18,19。
『特集沖縄問題を考える』 山崎拓、愛知和男、伊藤茂、大室真生 1996年10月8日 p6-15。
『後方支援の強化で海兵隊は撤退可能』 森本敏 1996年10月15日 p11-15。
『米海兵隊OBが唱える沖縄撤収論』 富山泰 1996年10月29日 p58,59。
『米戦略見直しでも沖縄米軍削減はない』 富山泰 1997年2月25日 p56,57。
『沖縄海兵隊をめぐる新しい問題提起』 富山泰 1997年9月30日 p50,51。
『「普天間」基地の県外移設は不可能』 富山泰 1998年4月28日 p38,39。
『沖縄海兵隊飛行場キャンプシュワブ移転案の問題点』 富山泰 1999年11月30日 p54,55。
『米軍の役割論争と沖縄海兵隊の存在価値』 江畑謙介 1996年12月17日 p36,37。
『サミットに期待される沖縄の価値』 福沢亜夫 2000年7月18日 p54,55。
『検証沖縄サミット』 2000年8月15日 p6-13。
『沖縄サミットの影』 2000年8月22-29日 p6-15。

『日米安保新体制の考察』 岡本行夫、田久保忠衛、ロナルド・モース 1996年5月28日 p6-15。

『(講演録) 複雑に絡み合う日米中関係の新展開』 岡本行夫 1997年6月3日 p12-17。
『沖縄基地問題に出口はあるか』 岡本行夫 1998年9月22日 p16-19。
『ミレニアム特集 21世紀の日本の安全保障』 森本敏、村田晃嗣、小島朋之、武貞秀士 2000年5月9-16日 p22-29、23日 p14-21。

以上、「世界週報」より。

『嘉手納基地を民間ハブ空港に』 小川和久「世界」1996年11月 p28-36。
『(討論) 挑戦をうける憲法平和主義』 常岡せつ子、前田哲男、田中明彦「世界特別編集」1997年 p194-216。
『沖縄問題の本質とは何か』 岡本行夫「中央公論」1998年3月 p128-135。
『「尊重」という名の<強制>』 我部政明「世界」2000年1月 p34-46。
『(対談)「基地抜き安保」はマイナスである』 リチャード・アーミテージ、マイク・モチヅキ「文藝春秋特別篇」2000年6月 p294-312。
『見たくない思想的現実を見て歩く』 金子勝、大澤真幸「世界」2000年8月 p138-159。
『沖縄海兵隊撤退論をめぐって—抑止論による検討—』 高橋杉雄「新防衛論集」1997年12月 p32-47。

以上月刊誌。

参考文献

- 朝日新聞社『沖縄報告 サミット前後』2000年10月。
- 朝日新聞社『朝日新聞アジアネットワークリポート2000』2000年3月。
- 五十嵐武士『日米関係と東アジア』東京大学出版会 1999年3月。
- 伊波洋一『米軍基地を押しつけられて』創史社 2000年5月。
- 浦田賢治『沖縄米軍基地法の現在』一粒社 2000年6月。
- 衛藤藩吉・山本吉宣『総合安保と未来の選択』講談社 1991年。
- 大城常夫、高良倉吉、真栄城守定『沖縄イニシアティブ』ひるぎ社 2000年9月。
- 大田昌秀『沖縄の決断』朝日新聞社 2000年2月。
- 大田昌秀『沖縄、基地なき島への道標』集英社 2000年7月。
- 沖縄国際大学公開講座委員会『沖縄経済の課題と展望』那覇出版社 1998年3月。
- 沖縄タイムス社『沖縄から米軍基地ドキュメント』朝日新聞社 1997年4月。
- 沖縄タイムス社『沖縄から米軍基地問題の深層』朝日新聞社 1997年4月。
- 喜久川宏『沖縄経済振興論』人文沖縄社 1999年3月。
- 来間泰男『沖縄経済の幻想と現実』日本経済評論社 1998年6月。
- 杉野國明・岩田勝男編『現代沖縄経済論』法律文化社 1991年4月。
- 高良倉吉『「沖縄」批判序説』ひるぎ社 1997年7月。
- 高良倉吉 ほか『沖縄の自己検証』ひるぎ社 1998年2月。
- 東海大学平和戦略国際研究所『日米安保と沖縄問題』社会評論社 1997年5月。
- 富川盛武 百瀬恵夫『沖縄経済・産業自立化への道』白桃書房 1999年7月。
- 島袋邦、我部政明『ポスト冷戦と沖縄』ひるぎ社 1993年5月。
- 田中明彦『安全保障』読売新聞社 1997年7月。
- パトリック・クロニン マイケル・グリーン 川上高司訳『日米同盟』勁草書房 1999年9月。
- 船橋洋一『同盟漂流』岩波書店 1998年12月。
- 宮城辰男 植草益 大城保『沖縄経済 変革のダイナミズム』NTT出版 2000年9月。
- 宮本憲一 佐々木雅幸『沖縄21世紀への挑戦』岩波書店 2000年5月。
- 平剛『沖縄経済の米軍基地依存度についての一考察』平成10年度琉球大学大学院
人文社会科学部研究科修士論文。
- 沖縄開発庁『沖縄振興開発計画』。
- 沖縄県企画開発部統計課『平成9年度県民経済計算（県民所得統計）』2000年1月。
- 沖縄県総務部知事公室基地対策室『沖縄の米軍基地』1998年3月。
- 沖縄県総務部知事公室基地対策室『沖縄の米軍及び自衛隊基地』2000年3月。
- 防衛庁防衛研究所編『東アジア戦略概観』2000年3月。
- 防衛庁『平成12年度版 防衛白書』2000年8月。
- 『平成12年度版 防衛ハンドブック』朝雲新聞社 1999年3月。
- 『国際政治115号 日米安保体制—持続と変容』日本国際政治学会 1997年5月。

『国際政治 120号 国際政治の中の沖縄』日本国際政治学会 1999年2月。

『沖縄タイムス』 2000年4月25日。

『沖縄タイムス』 2000年10月26日、27日、29日、30日、11月2日、3日。

『外交フォーラム緊急増刊』 都市出版 1996年6月。

『外交フォーラム 1999年特別篇』 都市出版 1999年11月。

『論座』 2000年10月号 朝日新聞社。

島嶼関係文献目録（人文地理学とその周辺分野）

文献タイトル	著者名	雑誌名・書名・発行所	巻号	発行年
1. 沖縄本島				
糸満人と其の地理的分布	小牧實繁	地理教育	5-2	1926
那覇の發音に就いて	藤原こう平	地理教育	11	1930
首里市の概観	根本徹三	地理学	6-4	1938
沖縄本島の地理學的研究〔二〕	根本徹三	地理教育	30-5	1939
沖縄本島の道路と聚落と耕地	田邊健一	地理教育	33-3	1940
沖縄本島の家屋	辻村太郎・田邊健一	地理学	8-1	1940
沖縄国頭地方の農耕儀礼	宮城栄昌	日本民俗学	2-1	1954
沖縄 首里 那覇	畑中友次	地名学研究	7	1958
那覇における都市の發生と都市化の發展	尾留川正平	人文地理談話会報	4	1959
沖縄島の地形について	花井重次	新地理	7-3・4	1960
北部沖縄の社会組織—伊平屋島宇田名の社会人類学的研究—	大胡欽一	民族学研究	27-1	1962
琉球村落の親族組織と神人制度—島尻郡兼城村兼城を中心として—	関敬吾	民族学研究	27-1	1962
社会的基本としての沖縄村落における社会的制度（要旨）—沖縄本島羽地村真喜屋の場合—	小川徹	人文地理学会大会発表要旨		1962
村落の祭祀組織と<ハラ>の祭祀組織—沖縄南部における事例から—	比嘉政夫	日本民俗学会報	39	1965
沖縄那覇市の商業機能	杉村暢二	地理	10-10	1965
羽地村真喜屋の社会誌学的研究—沖縄本島の先進的水田農村の場合—	小川徹	沖縄の社会と宗教		1965
沖縄、宮古、石垣島の土地利用（要旨）	藤岡ひろ子	人文地理	18-1	1966
北部沖縄の家族組織	大胡欽一	政経論叢（明治大）	34-5	1966
北部沖縄の祖靈感と祭祀	大胡欽一	政経論叢（明治大）	35-1	1966
那覇市壺屋町における陶業の地理学的考察	金城弘	琉大地理	5	1966
沖縄本島北部地域の山地開發について	具志堅興作	琉大地理	5	1966
本部山地の集落，本部半島の土地利用	田里友哲	地理学評論	39-3	1966
沖縄の經濟を反映した那覇市と商業機能とその特色	杉村暢二	經濟地理学年報	14-2	1968
海外移民と国内移住—沖縄県勝連村浜比嘉村比嘉の場合—	石川友紀	地理学評論	41-9	1968
那覇の今昔	沖縄風土記刊行会	沖縄風土記刊行会		1969
沖縄自由移民の社会地理学的考察—旧首里市の場合を例として	石川友紀	人文地理	22-1	1970
門中と村落—今婦仁村与那嶺—	中根千枝	東洋文化—東大東洋文化研究所—	48、49	1970
沖縄における文化變動—本島および石垣島における事例研究—	牛島盛光	東洋文化	48・49	1970
那覇市の商業地域の性格と課題	中山満	地理	16-1	1971
産井の継承—北部沖縄の事例から—	小川徹	日本民族学	2-2	1971
沖縄本島・名城のdescent・家・ヤシキと村落空間	村武精一	民俗学研究	36-2	1971
コザ市の都市形成についての一考察	田里友哲	琉球大沖縄文化研究所		1971
那覇今昔の焦点	沖縄文教出版社	沖縄文教出版社		1971

沖縄北部一農村の社会組織と世界観 —大宜味村字田港の事例—	渡辺欣雄	民族学研究	36-2	1971
集落の歴史地理的研究—沖縄本島島尻南部の集落—	比屋根敏雄	琉大地理	10	1972
基地の町コザの都市形成	田里友哲	沖縄経験	3	1972
沖縄本島における海岸線利用に関する調査研究	石丸紀興・松尾仁美ほか	地理科学	19	1973
沖縄本島における伝統的畑作農耕技術?その特色と原型の探求	佐々木高明	人類科学	25	1973
糸満と道の島	徳井賢	フォクロア	18~21	1973
沖縄本部半島(読図と判読)	星埜由尚	地理	18-12	1973
北部沖縄におけるヒキの観念	小川徹	喜多野清—古稀記念論文集		1973
沖縄本部半島における海岸線利用の現況と問題点	中村誠司	史学研究	120	1974
沖縄本島北部地域における「ヒキ」「親類」「一門」—我部祖河文書の紹介—	小川徹	法政大沖縄文化研究所紀要「沖縄文化」	2	1975
集落からみた沖縄本島中南部地域の変容	田里友哲	歴史と地理	241	1975
沖縄本島とその周辺の島々	島袋伸三	守礼の邦 沖縄[講談社]		1975
Landscape Evaluation for the Rehabilitation of an Eroded Drainage Basin in the Northern Part of Okinawa Island, Southernwest Japan	竹内和彦・山本博	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University	12	1977
共同体の経済組織に関する一考察—沖縄県国頭村字奥区の「共同店」を事例として	玉野井芳郎・金城一雄	商経論集	7	1978
那覇市における新興宗教の受容—予備調査報告	工藤久夫	社会学論叢	72	1978
沖縄本島村落における近隣組織	福田アジオ	武蔵野大人文学会雑誌	10	1979
沖縄県国頭村奥間の村落構造—東鍛冶屋伝承との関係から	森栗茂一	地理学報	18	1979
沖縄島の粘土資源	藤井紀之ほか	地質調査書月報	30-1	1979
本琉球と道之島の歴史的関係—国頭と与論の延長線上の地縁共同体—	宮城栄昌	南島文化(冲国大)	創刊号	1979
共同店と村落共同体—沖縄本島北部農村地域の事例(1)—	安仁屋政昭・玉城隆雄他	南島文化(冲国大)	創刊号	1979
近代沖縄農村におけるウェーキ=シカマ関係	安来間泰男・波平勇夫他	南島文化(冲国大)	創刊号	1979
ムラおこしと地域の文化—沖縄県読谷(よみたん)村ムラおこしと文化	樺山紘一	地域開発	192	1980
糸満漁民の漁労活動	上田不二夫	地理	25-8	1980
共同店資料—国頭村字浜共同店沿革誌—	宮城栄昌	南島文化(冲国大)	2	1980
漁業・地域意識・戦争体験	石原昌家	与論・国頭調査報告書(冲国大)	1	1980
国頭村の沿革	宮城栄昌	与論・国頭調査報告書(冲国大)	1	1980
社会組織—年齢集団を中心に—	波平勇夫	与論・国頭調査報告書(冲国大)	1	1980
国頭のウェーキ=シカマ関係	波平勇夫	与論・国頭調査報告書(冲国大)	1	1980
「村方三役」層をめぐる村落の支配構造について	金城一雄	与論・国頭調査報告書(冲国大)	1	1980
軍事基地軍集中地域における地域開発問題—金武町伊芸区を中心に	野原全勝・今村元義	商経論集[沖縄国際大学]	10-2	1982
沖縄本島中部における軍用地接收移動集落の一考察	町田宗博	琉球大学法文学部紀要	26	1983
首里	池野茂	『城下町とその変貌』		1983
「中心市街地」における都心的機能の集積—那覇市	藤岡ひろ子	兵庫地理	29	1984

沖縄本島北部一農村におけるユタ発生の構造	渋谷研	日本民俗学	156	1984
金武湾の開発と環境汚染	原田正純	公害研究	13-3	1984
人口及び世帯分析を通してみた過疎農村地域の実態 大宜味村の事例	玉城隆雄	南島文化 (沖国大)	6	1984
泡瀬誌の一断片	田里友哲	沖縄地理	1	1986
分散構造型市街地形成の整序方法としての線引き制度の限界と改善—沖縄南部 (島尻) 圏における調整区域内既成集落群の市街化現象を通して	池田孝之	都市計画別冊 (日本都市計画学会学術研究論文集)	21	1986
沖縄島における電照ギク栽培の特色	松井貞雄	地理学報告	62	1986
南海の島嶼都市—那覇—	堂前亮平	地図ニュース	166	1986
沖縄の「門中化」と知識の不均衡配分—沖縄本島北部・塩屋の事例考察	小田亮	民族学研究	51-4	1987
日本における海洋民の総合研究—糸満系漁民を中心として上	中楯興編集	九州大学出版会		1987
水管理と地域自治—恩納村の簡易水道の存廃をめぐる	多辺田政弘	新沖縄文学, 沖縄タイムス社	76	1988
沖縄本島の古謡・ウシデークうた等における琉球音階のトリプル五度調関連を含む音律について	杉本信夫	南島文化 (沖国大)	10	1988
沖縄県国頭郡旧羽地村における地割制の廃止と出移民—字仲尾次を事例として	石川友紀	史科編集室紀要 (沖縄県立図書館)	14	1989
日本における海洋民の総合研究—糸満系漁民を中心として・下	中楯興編集	九州大学出版会		1989
地域開発と沿岸漁業 (1) 沖縄県金武湾与那城村漁協を対象に	長谷川健二	西日本漁業経済論集	31	1990
沖縄の祭祀と世界観?久高島の事例を通して	湧上元雄	日本民俗学	186	1991
沖縄本島北部における村落共同体相互の関係—ウンジャミ祭を通して見た	長倉養輔	日本民俗学	187	1991
村落景観の社会性—沖縄本島北部村落の祭祀施設の場合	大城直樹	歴史地理学	159	1992
開発とサンゴ礁地域の変容—山原を例にして	中島洋典	熱い心の島 [古今書院]		1992
糸満市の昔歌 I 神歌 ハーリー歌 ウシデーク歌	杉本信夫	南島文化 (沖国大)	14	1992
通過儀礼における女性同士の贈答と役割—沖縄県東風平町高良の場合	高江州洋子	日本民俗学	195	1993
沖縄県恩納村における観光地域形成	上江州薫	地域研究 (立正地理学会)	33-2	1993
沖縄本島北部における林業の動向とその特性	松下幸司	経済地理学年報	39-2	1993
糸満市の昔歌 II 網曳歌	杉本信夫	南島文化 (沖国大)	15	1993
琉球山原船水運の展開	池野茂	ロマン書房		1994
沖縄市の中心商業地区形成に係わる本部町出身者の地域的展開	堂前亮平	南島文化 (沖国大)	16	1994
佐敷町の歴史地理学的研究城下町から在町への推移を中心に	磯永和貴	熊本地理	6	1995
那覇研究 (1) ~ (11) —都市分析の新しい地平	吉川博也ほか	地域開発	249~	1985, 86
那覇市都市部における業務地域の形成過程	野木大典	人文地理	49-3	1997
大学生にみる那覇市と地方都市の魅力	小川護	南島文化 (沖国大)	20	1998
糸満市の昔歌 V わらべうた 上	杉本信夫	南島文化 (沖国大)	20	1998
情報化による「やんばる」地域の活性化	石川公洋	名桜大学紀要	4	1998
糸満市の昔歌 VI わらべうた 中	杉本信夫	南島文化 (沖国大)	21	1999

2. 沖縄本島周辺の島

沖縄久高島の土地制度	浮田典良	史林	45-1	1962
久米島見聞書	大藤時彦	伝承文化	1	1963
沖縄座間味村の門中組織	松園万亀夫	日本民族学	71	1970
古宇利島調査報告	琉球大地理学クラブ編	琉大地理	10	1972
南大東島農業の発展過程と大型農業機械化の課題	前山田辰正	農業経済論集	25	1974
沖縄の離島の地域概念—とくに離島振興において—	中山 満	琉球大法文学部紀要 (社会)	17	1974
久米島の自然	島袋伸三	久米島県立自然公園候補地調査報告		1974
南大東島開拓の発展過程—島嶼の地域形成の事例的研究—	中山 満	琉球大法文学部紀要史学・地理学篇	18	1975
沖縄県の離島と道路—「島と道路」シリーズ—	久高将栄	道路	413	1975
伊江島フェリー利用調査 (資料)	宮城真宏	琉球大教育学部紀要	18-1	1975
野甫大橋架橋の野甫集落への衝撃	宮城真宏	琉球大教育学部紀要 (第一部)	23	1976
大東諸島の開拓とプランテーション経営?その歴史的展開を中心として	平岡昭利	人文地理	29-3	1977
南大東島における甘藷農業への外国人労働力の導入と展開	平岡昭利	地理学評論	51-4	1978
カーフェリー就航による伊江島の経済変革—物流を中心として	宮城真宏	琉球大教育学部紀要 (第一部)	22	1978
沖縄・伊是名島における土地自然の類型化と生態学的土地評価	竹内和彦	地学雑誌	88-4	1979
久高島のイザイホーをめぐる(1)・(2)	諏訪哲郎・中俣均ほか	地理	24-5, 6	1979
久高島と首里王府	諏訪哲郎	学習院大文学部研究年報	26	1979
離島農業の振興と課題?沖縄県伊是名村の実態から	全国農業会議所調査部	農政調査時報	273	1979
地割制残存の島—沖縄県島尻郡知念村久高島からの移民	石川友紀	地域—その文化と自然〔福武書店〕		1983
沖縄本島周辺離島の現状	中山満	離島における産業振興報告		1983
沖縄久高島における「シマ」の内部体系と神観念	吉成直樹	高知大学学術研究報告	32	1983
沖縄久高島の土地と生活	宮口勉	早稲田大学教養学部学術研究	33	1984
琉球列島久米島における有用植物方言名の特色と地域間比較分析	長沢利明	地理学評論Ser. A	57-4	1984
久米島島尻の祖先行事	長沢利明	沖縄久米島の総合的研究		1984
久米島の海外出移民の社会経済的特性	西川大二郎	沖縄久米島の総合的研究		1984
沖縄本島周辺離島の産業構造の特性	中山満	地域の探求〔古今書院〕		1984
伊平屋・伊是名—その地理的概要—	堂前亮平	伊平屋・伊是名調査報告書 (沖国大)	5	1984
伊平屋村における結	比嘉輝幸	伊平屋・伊是名調査報告書 (沖国大)	5	1984
伊平屋・伊是名における共同売店と村落共同体	堂前亮平	伊平屋・伊是名調査報告書 (沖国大)	5	1984
伊平屋・伊是名の家族—老人を中心に—	玉城隆雄	伊平屋・伊是名調査報告書 (沖国大)	5	1984
ウンザミとシヌゲー伊平屋島田名の年中行事—	畠山篤	伊平屋・伊是名調査報告書 (沖国大)	5	1984
沖縄久高島調査報告書	法政大学沖縄研究所編	法政大学沖縄文化研究所		1985
郷友会組織の機能と役割—伊是名・伊平屋の郷友会の事例—	石原昌家	南島文化 (沖国大)	7	1985

伊平屋・伊是名の水産業 沖縄伊江島における軍用地内耕作の 特質	野原全勝 小池秀夫	南島文化（沖国大） 経済地理学年報	7 32-1	1985 1986
伊平屋島の伝統的食生活の特徴 30年前の久高島調査報告-旧きを訪 ねて新しい展望を得んために-	金城須美子 平恒次	琉球大学教育学部紀要（第2部） 南島文化（沖国大）	29 8	1986 1986
祭祀の遙拝性と守護性についての空 間論的考察-沖縄県伊是名島の年中 祭祀をめぐって	伊従勉	季刊人類学	18-2	1987
居住地形成以前の大東諸島 沖縄県久米島具志川村における海外 出移民-特に中南米移民-の特性に ついて	中山満 西川大二郎	琉球大学法文学部紀要 法政大学教養部紀要	 63	1987 1987
久高島土地制度の文明進化論的意義 黎明期の大東諸島における居住地の 形勢-玉置時代の開拓を通して-	平恒次 中山満	南島文化（沖国大） 琉球大学法文学部紀要（史学・地 理学）	9 31	1987 1988
ウニ漁からみた村落社会の変容-古 宇利島を事例として-	阿倍麻子	沖縄地理	2	1989
南大東村（島）の産業振興と特産物 創出への方向	中山満	沖縄離島振興協議会		1989
墓と編年-沖縄久米島島尻の事例か ら-	長沢利明	季刊人類学	20-1	1989
粟国島のヤガン折目-由来譚・儀 礼・神歌	畠山篤	南島文化（沖国大）	11	1989
南大東島・北ムラにおけるサトウキ ビ収穫の機械化と農家経営	永田淳嗣	地理学評論	63A-8	1990
「久米島紬・農家」の階層構造とそ の地域的特質	竹田秀輝	神・村・人[第一書房]		1991
沖大東島（ラサ島）の歴史的背景と 島嶼としての存在意義について	中山満	神・村・人[第一書房]		1991
沖縄のサンゴ礁とウニ漁 -古宇利 島を中心に	安部麻子	熱い心の島[古今書院]		1992
大東諸島への移住についての若干の 検討-南米沖縄移民と関連して-	中山満	琉球大学法文学部紀要（史学・地 理学）	36	1992
沖縄・伊是名島のつる植物群落の生 態と分布	仲田栄二	南島文化（沖国大）	14	1992
沖縄県南大東島における土地所有 伊是名村における地域農業の再編と 担い手の形成について	川元豊和 安谷屋隆司	地域学研究（駒沢大） 南島文化（沖国大）	6 15	1993 1993
北大東島における糖業と小作地の展 開	平岡昭利	調査と研究（長崎県立大）	25-1	1994
南北大東島を事例として日本の離島 を考える	奥野一生	大阪教育大学地理教育研究紀要	3	1994
祭場の赤い天蓋と白い天幕 -沖縄 久高島の年中祭祀祭場にみる琉球王 国祭祀祭場舗設の影	伊従勉	日本研究	12	1995
人口増加島嶼地域・沖縄県座間味村 における県外出身者の存在形態	宮内久光	地理科学	53の4	1998
久高島の祭祀組織の変容 その後	畠山篤	南島文化（沖国大）	21	1999
久高島の島尻ミャークニの歌語り	畠山篤	南島文化（沖国大）	21	1999
沖縄県渡名喜島・粟国島における伝 統的作物キビの復活とその背景	賀納章雄	人文地理	52-1	2000

3. 宮古郡の島

宮古漁村社会の概況	野口武徳	民族学研究	27-1	1962
民俗と政治-宮古と八重山の場合-	中今信	日本民俗学学報	24	1962
宮古群島の民家について	久恒治郎他	建築と社会	44-6	1963

宮古島島尻聞書(1)、(2)	鎌田久子	伝承文化	2、3	1963
宮古群島学術調査研究報告(地理、民俗篇)		琉球大学沖縄文化研究所		1964
第2宮古島台風による農業災害と沖縄の台風対策について	山本良三	熱帯農業	10-3	1967
沖縄の糖業地域—特に宮古島における製糖工場の甘蔗栽培地域の支配機構とその空間配置について—	山川充夫	地理学報告(愛知教育大)	35	1970
八重山研究史—人とその業績—	小川徹	人類科学	23	1971
宮古島庶民史—新版—	稲村賢敷	三一書房		1972
宮古漁民の南方通漁	吉木武一	人文地理	24-5	1972
沖縄の離島対策と開発姿勢—宮古群島を中心に—	下地玄栄	経済評論	22-2	1973
宮古の自然	島袋伸三	宮古諸島県立自然公園候補地調査報告		1975
祭祀集団と村落社会—宮古を中心として—	比嘉政夫	沖縄[弘文堂]		1976
生活のなかの地名—宮古島平良市街を中心に—	日下部文夫	言語	5-7	1976
沖縄宮古社会の村落秩序	畑聡一郎	法政大地理学集刊	6	1977
<シマ>の概念に関する一考察?宮古島城辺町保良部落の事例	藤田真理子	南島史学	10	1977
伊良部島生活史	大井浩太郎	沖大経済論叢	3-1	1977
宮古群島大神島における漁撈活動—民族生態学的研究	市川光雄	探検地理民族誌[中央公論社]		1978
小開発集落の社会生活と祭祀形態—沖縄県宮古島の事例から	畑聡一郎	日本民俗学	120	1979
宮古島農業の現状と地下ダム	松雄幹之	農業と経済	45-5	1979
生きている漁具の化石—沖縄宮古群島におけるkakiの研究	西村朝日太郎	民族学研究	44-3	1979
沖縄・宮古のかつお業	三浦隆夫ほか	商経論集(沖縄国際大)	8-1	1979
沖縄における年齢階梯制—平良市松原の年齢階梯制とその解体	大本憲夫	民族学研究	45-1	1980
沖縄の始祖伝承—宮古諸島圏の文献説話—	遠藤庄治	南島文化(沖国大)	2	1980
池間島における海岸部の小地名と干瀬名	堂前亮平	南島文化(沖国大)	3	1981
海の空間構造—宮古島の海と祭祀をめぐって	佐々木伸一	史境	5	1982
沖縄宮古群島の祭祀体系	大本憲夫	民俗学研究所紀要	6	1982
宮古島皆愛集落の成立と解体・再編成—シマ観念の考察	畑聡一郎	人文地理学	35-1	1983
伊良部島—その地理的概観	堂前亮平	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
佐良浜漁家の農業	来間泰男	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島の家族	玉城隆雄	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島における子のしつけに関する調査研究	福里盛雄	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
カムス—伊良部島の年中行事	島山篤	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島の動物と植生	宮城邦治	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島—変ほうする島の生活—	宮城辰男	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島の島名	野原三義	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
伊良部島住民の日常生活行動からみた島内村落間および島外との結びつき	堂前亮平	伊良部島調査報告書(沖国大)	4	1983
沖縄県宮古島の地名	大井浩太郎	地名研究年報	1	1984
離島経済の実態(1)—宮古、八重山を中心として	三宅武雄	経済学論纂	26-3	1985
1930年代における佐良浜漁民の南洋諸島出漁	安谷屋政昭	南島文化(沖国大)	7	1985

大正期～昭和戦前期における伊良部島の生活と出稼ぎ	仲地哲夫	南島文化（沖国大）	7	1985
沖永良島のオイチュとヤトゥイー和泊町字国頭の事例を中心にー琉球列島宮古諸島の農耕文化	仲地哲夫	南島文化（沖国大）	7	1985
八重干瀬ーサンゴ礁と人とが織りなす風土的ロマンー	市川健夫	東京学芸大学紀要（3. 社会科学）	38	1986
沖繩・多良間島の村落空間とその構成原理	目崎茂和	季刊民族学	36	1986
多良間島村落におけるサトウキビ生産形態	中俣均	法政地理	15	1987
戦前期平良の出移民	永田淳嗣	人文地理	40-5	1988
人口現象からみた下地町の地域特性	鴨澤巖	法政大学文学部紀要	33	1988
宮古来間島の竈神信仰	堂前亮平	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	15	1990
近代来間の公教育のあゆみー下地・来間両小沿革誌を中心にー	窪徳忠	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	15	1990
来間島の小・中学生における自然のイメージ	仲宗根將二	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	16	1991
沖繩・多良間島の生態ー社会システム変化	浦田義和	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	16	1991
宮古郡下地町の竈神信仰	永田淳嗣	東京大学教養部人文学科紀要	11	1992
Miyako holiday-exploration of meaning	窪徳忠	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	17	1992
下地町の歌謡ー川満部落の神歌と願いー	比嘉輝幸	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	17	1992
来間島における部落有地の利用とその開発をめぐる法的紛争	新里幸昭	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	17	1992
昭和初期宮古の公教育に現れた国家主義的風潮についてー学校沿革誌を中心にー	徳永賢治	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	17	1992
宮古史雑感ー「海上の道」検証を考えるー	仲宗根將二	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	18	1992
来間島における生活と出稼ぎ	喜久川宏	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	18	1992
民間巫者の神話的世界と村落祭祀体系の改変ー宮古島狩俣の事例	仲地哲夫	宮古、下地町調査報告書（沖国大）	18	1992
多良間島ーその地理的概観ー	島村恭則	日本民俗学	194	1993
多良間村水納の昔歌	小川護	多良間島調査報告書（沖国大）	19	1993
多良間方言の動詞の問題点	杉本信夫	多良間島調査報告書（沖国大）	19	1993
地域参加の観光地づくりー沖繩宮古を例として	高橋俊三	多良間島調査報告書（沖国大）	19	1993
多良間島のかまど神信仰	中西康博・熊谷明子	日本観光学会研究報告	26	1994
多良間の系持（士族）形成について（上）	窪徳忠	多良間島調査報告書（沖国大）	20	1994
多良間島のスツブナカのニリ°	仲宗根將二	多良間島調査報告書（沖国大）	20	1994
沖繩・多良間島のサトウキビ農業の動態ー天川部落農家群の変動を中心に	杉本信夫	多良間島調査報告書（沖国大）	20	1994
近代期、沖繩宮古島平良における商業空間の特性ー寄留商人街をめぐって	永田淳嗣	東京大学教養学部人文学科紀要	12	1995
明治20年代宮古島地主層と人頭税廃止運動	堂前亮平	地域研究（立正地理学会）	36-1	1995
多良間島のかまど神信仰（続）	波平勇夫	南島文化（沖国大）	17	1995
多良間島の社会構造と人口・人口移動	窪徳忠	多良間島調査報告書（沖国大）	21	1995
	波平勇夫	多良間島調査報告書（沖国大）	21	1995

多良間島の唱えもの	新里幸昭	多良間島調査報告書 (沖国大)	21	1995
TARAMA-MINNA REPORT	William T. Randall	多良間島調査報告書 (沖国大)	21	1995
多良間島のその他の古謡	杉本信夫	多良間島調査報告書 (沖国大)	21	1995
南方カツオ漁業の存立要因と基礎構造 - 沖縄県伊良部町のソロモン出漁船団に関する事例研究	若林良和	地域漁業研究	37-2	1996
島嶼地域におけるダイビング観光地の形成と人口現象 - 沖縄県座間味村を事例として -	宮内久光	法文学部人間科学科紀要	創刊号	1998
地籍資料を利用した歴史空間の復原作業 (1) - 宮古・東仲宗根添における土地整理法施行時の空間構成 -	崎浜靖	南島文化 (沖国大)	22	2000

4. 八重山郡の島

石垣島の惨めな弧島生活と其人口の減滅		地理教育	3-6	1926
先島諸島瞥見記	能登志雄	地理学	3-5	1935
竹島学術調査報告		山口大学農学部学術報告	2	1952
沖縄波照間島調査報告	酒井卯作	日本民俗学	2-2	1954
八重山歴史		八重山歴史編集委員会		1954
八重山群島の古代文化	金関丈夫	民族学研究	19-2	1955
沖縄八重山郡川平部落調査報告	酒井卯作	日本民俗学	3-4	1956
八重山群島村落調査の概要, 沖縄八重山	結城清吾	校倉書店		1960
八重山郡学術調査報告	大阪市大八重山調査隊	日地出版		1962
八重山郡島の印象	大阪市大八重山調査隊	地理	7	1962
八重山群島の住宅	杉本尚次	民俗建築	41	1962
八重山群島における兄弟姉妹を中心とした親族関係	伊藤幹治	民族学研究	27-1	1962
八重山群島におけるいわゆる秘密結社について	宮良高弘	民族学研究	27-1	1962
経済構造の基礎としての交通 - 八重山群島 -	山岸和一郎	八重山群島学術調査報告 1961		1963
八重山群島学術調査報告 (1961)	大阪市立大学編	日地出版		1963
沖縄の家族制度の研究 (1)、(2) - 沖縄・八重山・波照間島の場合 -	大山彦一	鹿児島大学社会科学報告	10、11	1963
八重山郡島の地理学的研究 (共同発表)	中村泰三・山岸和一郎 他	地理学評論	36-6	1963
南島の旅 - 沖縄西表島の紀行 -	石原憲治	民俗建築	43	1963
琉球八重山群島の社会組織 - その概観と問題点 -	江守五夫	民族学ノート		1963
八重山群島与那国島の漁業 - とくにそのカツオ節加工について	山下七郎	新地理	13-1	1965
竹島の帰属をめぐって (1)~(3)	小林高寿	歴史教育	13	1965
竹島問題と歴史的考察	山辺健太郎	コリア評論	7-12	1965
波照間島その他の氏子組織	馬淵東一	日本民俗学会報	41	1965
八重山群島与那国島の漁業 - とくにカツオ節加工について -	山下七郎	新地理	13-1	1965
石垣島に於ける開拓移民の定着率について (要旨)	赤嶺康成	地理学評論	39-6	1966
竹島の歴史地理学的研究	川上健三	古今書院		1966

祭祀継承からみた村落共同体の構造—琉球・波照間島の場合	宮良高弘	共同体の比較研究	4	1966
原始の島—日本の最南端・西表—	戸川幸夫	新潮社		1966
竹島史稿—竹島(独島)と鬱陵島の文献史的考察—	大熊良一	原書房		1968
尖閣列島学術調査報告	琉球大学尖閣列島調査団	琉球大学		1971
石垣島・竹富島を巡る	山崎敏	地理	16-6	1971
八重山における戦後移民史への提言	石垣久雄	琉球大史学	3	1972
尖閣列島の帰属について(上・中・下の1・下の2)	尾崎重義	レファレンス	22	1972
釣魚列島(尖閣列島等)の歴史と帰属問題	井上 清	歴史学研究	381	1972
八重山の社会と文化	宮良高弘編	木耳社		1972
小浜島調査報告	琉球大地理学クラブ編	琉大地理	10	1972
与那国島の民家	野村考文	民俗建築	67	1973
石垣市	浮田典良	地理	18-8	1973
竹富島(沖縄)にみる観光地化への軌跡	玉村和彦	同志社商学	25	1974
琉球八重山の伝統的家屋—その方位と平面形成に関する覚書—	笠原政治	民族学研究	39-2	1974
八重山諸島における遠距離通耕	浮田典良	地理学評論	47-8	1974
祭祀集団と村落社会—八重山・鳩間島を中心として—	宮良高弘	沖縄[弘文堂]		1976
西表島北岸道路開通の西部地区への影響	宮城真宏	琉球大教育学部紀要(第一部)	21	1977
西表島の稲作:自然・ヒト・イネ—伝統的生業とその変容をめぐって	安溪遊地	季刊人類学	9-3	1978
尖閣列島問題と海底石油開発	北沢洋子	技術と人間	7-7	1978
八重山諸島群に於ける時間認識の諸相	鈴木正崇	南島史学	13	1979
ヤマノイモ属の生態に関する研究(1)—八重山地方におけるタマゴイモ(<i>Dioscorea esculenta</i> Burk. Var. <i>spinosa</i> Prain et Burk.)の栽培について	米盛重友	熱帯農業	23-2	1979
多元的指標による村落階層構造の分析—池間島, 具志頭村港川, 波照間島の比較	波平勇夫	沖縄国際大文学部紀要(社会学科)	8	1980
八重山諸島西表島におけるイノシシ猟の生態人類学的研究	今井一郎	民族学研究	45-1	1980
竹富島のシマ景観	目崎茂和	地理	26-11	1981
平良市の都市化に関する一考察	土田良一	南日本文化	15	1982
与那国島の水田立地と稲作技術—東南アジア島嶼部稲作との関連において	田中耕司	東南アジア研究	21-3	1983
与那国島の伝統的食生活の諸特徴	金城須美子	琉球大学教育学部紀要(第2部)	26	1983
西表島 森と生きものたちの詩	伊藤碩男	そしえて		1983
離島の都市—石垣市の場合	土田良一	鹿児島短期大学付属南日本文化研究所	9	1984
八重山地方の稲作—地域稲作の観察の一事例	池橋宏	農耕の技術	7	1984
与那国—島の人類生態学	吉川博也	三省堂		1984
与那国—島の人類生態学	吉川博也	三省堂		1984
西表島のタロイモ—その伝統的栽培と利用法	安溪遊也	農耕の技術	8	1985
石垣島四箇の都市形成—プライメイトシティ現象の形成を中心として	堂前亮平	沖縄地理	1	1986

新石垣空港と地域経済	杉岡碩夫	公害研究	16-1	1986
イノ-の経済と入会漁業-新石垣空港への一視角	多辺田政弘	公害研究	16	1986
西表島関係文献目録(前編・後編)	安溪遊地	南島文化(沖国大)	8・9	1986
新城島上地の来訪神	増田和彦	日本民俗学	169	1987
沖縄県・小浜島の集落立地と風環境について	関根毅ほか	日本建築学会中国支部研究報告集	15	1989
八重山諸島における戦後の開拓地-石垣市平野地区を中心として	飯田耕二郎	日本の農山漁村とその変容[大明堂]		1989
古賀辰四郎の自蹟-八重山の水産開発と尖閣列島の開拓	片岡千賀之	西日本漁業経済論集	29	1989
石垣島白保サンゴの海-残された奇跡のサンゴ礁	小橋川共男・目崎茂和	高文研		1989
竹富町祖内・古見方言の助詞研究	野原三義	南島文化(沖国大)	11	1989
亜熱帯島嶼の集落立地と生活様式-八重山諸島・小浜島	大城直樹	人文地理	42-3	1990
石垣島のサトウキビ収量と気象の関係-時代による変化	漆原和子	駒沢地理	26	1990
亜熱帯島嶼の集落立地と生活様式-八重山諸島・小浜島	大城直樹	人文地理	42-3	1990
沖縄の国境戦略 偏狭の逆転、与那国開港	吉川博也	地域開発	308	1990
沖縄最西端の島・与那国	市川健夫	地理	36-10	1991
西表島の再野生化・半再野生化動物-ブタ、ヤギ、ウシ [英文]	高橋春成・C. A. ティズデル	地理学評論	65B-1	1992
The feral and near feral animals of Iriomote Island:-Pigs, goats and cattle-	Takahashi, S and Tisdell, C.A.	Geographical Review Of Japan	65-1	1992
八重山・石垣島の墓風水絵図 - 「自分基地フンシー見取図」について	大城直樹	人文地理	46-5	1994
西表島の水田漁撈 - 水田の潜在力に関する一研究	安室知	農耕の技術と文化	17	1994
音楽からみた八重山の海辺社会 - 鳩間島のプ-リを中心に	大山了己	日本民俗学	197	1994
沖縄県、先島諸島における食用内陸小動物	野中健一	名古屋大学文学部研究論集(史学)	40	1994
沖縄離島物語 - 西表島に住んで	丸杉考之助	古今書院		1994
八重山列島における水資源とその利用	長沼信夫	駒沢大学文学部研究紀要	53	1995
八重山の近現代と現状	石堂徳一	地理	40-9	1995
石垣島の移民と民族集団 - 台湾系移民の果たした役割	小熊誠	地理	40-9	1995
八重山の民俗音楽に見られる自然環境の認識 - 黒島のユンタ、ジラバ、アヨーを中心にして	大山了己	日本民俗学	202	1995
八重山地方における人とカタツムリ (Fruticicola sieboldiana) とのかかわり	野中健一	国立民族学博物館研究報告	61	1995
赤瓦は何を語るか - 沖縄県八重山諸島竹富島における町並み保存運動	福田珠己	地理学評論	69A-9	1996
波照間島の祖先祭祀と農耕儀礼 - ムシャマ行事を中心とする盆行事の考察	上野和男	国立歴史民俗博物館研究報告	66	1996
西表島仲間川支流の植生	仲田栄三	南島文化(沖国大)	22	2000

5. 沖縄県および琉球

沖縄県の土地制度	内田銀蔵	国家学会雑誌	12-133	1898
旧琉球の階級制度	東恩納寛淳	歴史地理	9-5・6	1907
大日本地誌 巻10 琉球・台湾	山崎直方・佐藤伝蔵編	博文館		1915
日本地理原論及細説	仲原善忠	大同館		1925
南国琉球を語る(上)・(下)	半澤正四郎	地理教育	7-4・5	1928
沖縄島出移民の経済地理學的考察 (上)・(下)	武見芳二	地理学評論	4-2	1928
沖縄に於ける第2回国勢調査に現は れたる特殊職業別人口	岩崎卓爾	旅と伝説	3-12	1930
概観日本地誌	山本熊太郎	古今書院		1931
現代社会より見たる琉球	石川興二	経済論叢	35-6	1932
琉球人の人類学的研究	金関丈夫	人類学雑誌	47-8	1932
琉球, 地理講座日本篇4 中国・四 国・九州	仲原善忠	改造社		1934
古琉球の「ひき制度」について—琉 球文化の爛熟期に関する—考察—	伊波普猷	歴史地理	66-1・2	1935
琉球の染色	上村六郎	工芸	49・54	1935
沖縄の糖業	樋口弘	ダイヤモンド	13-3	1935
沖縄県下の集落	高原三郎	地理学	7-8	1939
沖縄島の含密糖について	赤嶺康成	地理	1	1939
沖縄懸下の聚落 一・二	高原三郎	地理学	7-7・ 8	1939
沖縄諸島の地理學的特質一・二・三	富田芳郎	地理学	7-11	1939
沖縄本島の地理學的研究(一)	根本徹三	地理教育	29-1	1939
琉球列島に於ける米の自給可能度 に就て	仲松彌秀	地理学	9-8	1941
沖縄への船旅	鏡味完二	地理学	9-11	1941
沖縄の風景	鏡味完二	地理学	10-6	1942
沖縄島の聚落(1)(2)	鏡味完二	地理学評論	18-9	1942
沖縄の村落組織	比嘉春潮	民族学研究	—	1950
日本民俗学と沖縄研究	大藤時彦	民族学研究	—	1950
考古学上より見た琉球—琉球先史学 に関する覚書—	八幡一郎	民族学研究	—	1950
琉球に於ける部落構造の宗教的制約	鳥越憲三郎	地理学報	—	~1951
琉球の同族団構成	渡辺万壽太郎	沖縄論叢	22	~1951
沖縄の土俗	稻垣国三郎	沖縄論叢	—	~1951
沖縄関係図書目録	金城朝永	民族学研究	—	~1951
沖縄研究における民俗学と民族学	馬淵東一	民間伝承	16-3	1952
沖縄と台湾 一伝承における関連と 無関連—	馬淵東一	民間伝承	16-9	1952
沖縄の村々	関敬吾	民間伝承	16-2	1952
沖縄民俗の現情	桜田勝徳	民間伝承	16-2	1952
琉球民族とその言語	宮良当壮	民族学研究	18-4	1954
琉球の土地共有について	鳥越憲三郎	地理学報(大阪学芸大)	6	1955
統計より見たる沖縄農業の概観		琉球大学農学部学術報告	1	1955
沖縄方言の言語年代学的研究	服部四郎	民族学研究	19-2	1955
琉球の土地整理の経緯 一ノロクモ イ地の処分—	鳥越憲三郎	田中秀作教授古稀記念地理学論文 集		1956
沖縄の自然・社会と地域構造の考え 方	尾留川正平	人文地理談話会報	1	1957
沖縄の交通史	直田昇	京都出版		1957

離島における商業的農業の成立とその立地論—琉球糖業を例として—	伊藤郷平	愛知学芸大学地理学報告	12	1958
琉球漁業と漁村の構造的特質	岩切成郎	漁業経済研究		1958
沖縄の集落, 集落地理講座3 日本 の集落	仲松弥秀	朝倉書店		1958
琉球(沖縄)の土地利用	尾留川正平	地理	3-10	1958
琉球の首都建設	黒田俊雄	首都圏研究	10	1959
沖縄の人口	浮田典良	人文地理	12-5	1960
沖縄における屋取集落の研究 第1 報	田里友哲	琉球大学文理学部紀要	5	1960
沖縄のたばこ事情	日本専売公社			1960
沖縄の産業, 日本産業史大系8 九 州地方篇	比嘉春潮	東京大学出版会		1961
沖縄の集落と土地制度(要旨)	仲松弥秀	地理学評論	36-6	1962
沖縄と北海道	井上清・旗手勲	岩波講座日本歴史	16	1962
沖縄の社会組織(序論)	中根千枝	民族学研究	27-1	1962
私の沖縄調査	野口武徳	社会人類学	3-2	1962
稲作儀礼の類型的研究(1) (2) 一日・琉基層文化の構造—	伊藤幹司	国学院大学日本文化研究所紀要	10、12	1962、 63
日本民俗建築語彙 補遺(3)、 (4) (沖縄の部)	石原憲治	民俗建築	49、54	1964、 65
沖縄の沿海生活(要旨)	山岡政喜	地理学評論	36-12	1963
沖縄経済の基礎構造(1) —とくに 米国経済援助をめぐる財政問題につ いて—	肥後和夫	政治経済論叢	13-1	1963
沖縄の農業	池原真一	農業と経済	29-6	1963
沖縄	富田祐行	実業之日本社		1963
沖縄	比嘉春潮・霜多乙次ほ か	岩波書店		1963
沖縄の集落	仲松弥秀	琉球大学文理学部紀要	7	1963
沖縄の地理教育に関する二、三の調 査	吉村日出紀	新地理	12-2	1964
琉球列島における村落の構造的性 格	仲松弥秀	人文地理	16-2	1964
琉球の貿易統計および貿易の現況	石川三郎・吉永一郎	アジア経済	5-6	1964
日本領土5つの顔—沖縄・小笠原・ 北方・竹島問題—	吉田嗣延	自由	6-9	1964
沖縄における屋取集落の研究 第2 報	田里友哲	琉球大学文理学部紀要	8	1964
沖縄の糖業とパインアップル缶詰工 業	幸田清喜	東京教育大学地理学研究報告	9	1965
沖縄の民家、高倉、墳墓など	大西玲子	ノートルダム清心女子大学家政学 部	10	1965
琉球経済と糖芋畜産	山里将見	琉球大学経済研究	6	1965
沖縄県の設置—近代日本の争点 (16)—	新里恵三	エコノミスト	44-38	1965
沖縄の社会と宗教	都立大学日本文化研究 所	平凡社		1965
琉球歴史夜話	源武雄編	月刊沖縄社		1965
沖縄の市町村	川端亮二	地方自治	208	1965
沖縄における農業の特性と土地利 用	藤岡ひろ子	兵庫地理	10	1966
沖縄農業の現状と問題点	大場茂男	農業と経済	32-3	1966
現地にみる沖縄パイン産業?経済自 立への一断面—	杉岡碩夫	エコノミスト	44-44	1966
沖縄の離島振興について	大城立裕他	しま	12-3	1966
東京都立大学南西諸島研究委員会 編: 沖縄の文化と宗教	大林太良	一橋論叢	56-3	1966

沖縄県史		沖縄県		1966
沖縄の苦悶—沖縄の旅より—	稲見悦治	近代	38	1966
沖縄県人の海外移住について	玉城美五郎	拓植学研究	1	1967
沖縄における農産資源の開発について	千葉弘見	熱帯農業	10-4	1967
沖縄水産業の諸問題	相沢昂	西日本漁業経済論集	8	1967
沖縄研究の成果と展望—1966年—	石川清治	沖縄文化	5-3, 4	1967
神と村 —沖縄の集落—	仲村弥秀	琉球大沖縄文化研究所		1968
沖縄における屋取集落の研究と課題	田里友哲	歴史地理学紀要	10	1968
沖縄の基地と土地利用の変貌	中山満	地理	13-5	1968
沖縄における若干の墓型とその年代	小川徹	法政文学部紀要	78	1968
沖縄出移民の歴史とその要因の考察	石川友紀	史学研究	103	1968
沖縄の防風林造成雑感	檜山徳治	林業技術	317	1968
沖縄農業の戦後過程(1)—戦前, 1950年農業センサス—	上村剛一	鹿児島大学経済学論集	5	1968
沖縄の村落とその耕地	浮田典良	人文(京大教養部)	15	1969
沖縄水産業の概況	運天政一	西日本漁業経済論集	10	1969
沖縄の道路事情	杓掛哲夫	道路	342	1969
沖縄糖業論	池原真一	琉球分蜜糖工業会		1969
親族称呼研究之覚書, 方言研究のすべて	小川徹	至文堂		1969
沖縄共産部落の研究	田村浩	沖縄風土記社		1969
沖縄諸島の在来稲	盛永俊太郎ほか	農業および園芸	44-1	1969
沖縄の都市圏	朝倉隆太郎	宇都宮大教養部研究報告	3-1	1970
沖縄の農業と土地所有	原田盛光	労働・農民運動	54	1970
沖縄の農業土木事業の当面する課題	島崎盛武	農業土木学会誌	38-3	1970
沖縄農業の構造分析	渋谷義夫	農林問題研究	6-1	1970
沖縄農業の展開構造	梅井清	調査と研究	1-2	1970
本土復帰に備える沖縄農業	池田三雄	農林統計調査	20-5	1970
沖縄製糖産業の戦後課程とその問題点	石原肇	調査と研究	1-2	1970
家系からみた沖縄の社会組織	高良高弘	東洋文化—東大東洋文化研究所—	48, 49	1970
私の日本地図8 沖縄	宮本常一	同友館		1970
沖縄の民芸, 日本の文化地理17 熊本・宮崎・鹿児島・沖縄	安次富長昭	講談社		1970
移民と出稼ぎ—その背景—, 近代沖縄の歴史と民衆	安仁屋政昭	沖縄歴史研究会		1970
沖縄の経済開発	伊藤善市・坂本二郎編	潮出版社		1970
「蔡家家憲」あるいは「四本堂家札」のこと—その民俗史的的位置づけ—	小川徹	沖縄文化	7-3・4	1970
沖縄の糖業地域	山川充男	愛知教育大学地理学報告	35	1970
沖縄の人口動態にみられる政治的要因	マルチン・ジュヴァイント 矢沢大二訳	地理	16-1	1971
沖縄における地域較差	今野修平	地理	16-1	1971
基地経済化の沖縄水産業	中楯興	産業労働研究所報(九大)	54	1971
沖縄内陸部工業開発調査結果について(1)~(3)	藤田睦博	工業立地	10	1971
沖縄民俗社会における「門中」	小川徹	日本民族学	74	1971
沖縄・北方領土	時局研究会編	夕刊京都新聞社		1971
地理学、とくに人文地理学よりみたる沖縄研究の現状	小川徹	人類科学	23	1971
基地経済下の沖縄水産業	中楯興	九州大学産業労働研究所報告		1971

沖縄民俗社会にける「門中」	小川徹	日本民族学	74	1971
新しい沖縄を求めてー沖縄開発シンポジウム報告書ー	日本地域開発センター	地域開発	85	1971
沖縄農業の基礎条件と構造改善	丸杉孝之助	琉球模範農場		1971
琉球関係の古地図	岩田豊樹	地図	10-2	1972
沖縄中学生の海外移住に対する意義	石川友紀	移住研究（海外移住事業団）	8	1972
沖縄県移民の重要性	石川友紀	海外教育	3	1972
琉球地方の民家	鶴藤鹿忠	明玄書房		1972
琉球地方における二棟造り	鶴藤鹿忠	日本民俗学	79	1972
沖縄群島の民家（2）	鶴藤鹿忠	岡山県私学紀要	8	1972
沖縄における地域問題とその背景	今野修平	地理	17-6	1972
戦後アメリカ統治下の沖縄県林業（上）・（下）	篠原武夫	林業経済	25-9	1972
沖縄の水資源開発マスタープラン	仲村栄春	土木技術資料	14-5	1972
沖縄の水問題の特質と供給施設整備のありかた	広瀬利雄	土木技術資料	14-5	1972
沖縄開発の方向と課題	環境整備協会	同左		1972
沖縄市町村の現状と問題点	平良恵三	経済評論	21-8	1972
沖縄開発政策の基本的方向と問題点	高良有政	経済評論	21-11	1972
置県後の沖縄における商品生産流通の発達と特質	小松 勝	琉球大経済研究	13	1972
沖縄の道路計画	松下勝二	道路	372	1972
沖縄の港湾について	中村龍二	港湾	49-5	1972
沖縄の民族学的研究ー民俗社会と世界像ー	日本民族学会編	民族学振興会		1972
離島の経済地誌	長岡 顕	歴史地理教育	190	1972
最近の沖縄（1）～（5）	沢田 清	地図	10-2	1972
沖縄の地形図	籠瀬良明	地図	10-2	1972
海図に見る沖縄ー海図の現状と水路測量史ー	中西良夫	地図	10-2	1972
沖縄ー経済の特徴と歴史的背景ー地理資料	中山満	東京法令出版		1972
復帰後の沖縄	日本地域開発センター	地域開発	99	1972
日本の民俗 沖縄	源武雄	第一法規		1972
離島産業の展開条件に関する研究ー沖縄の黒真珠養殖の事例ー	吉木武一	長崎大学水産学部報告	33	1972
第2次世界大戦前の沖縄県からの出稼ぎについて	石川友紀	人文地理	25-4	1973
沖縄村落の社会組織と祭祀生活	宮良高弘	人類科学	25	1973
辺境における窮乏化の理論ー沖縄の産業構造と過剰人口ー	吉村朔夫	鹿児島大経済学論集	9	1973
沖縄県の森林・林業の特質と林政の方向	篠原武夫	林業経済	26-8	1973
沖縄の水資源開発計画と工業用水道事業の促進	立花 勲	工業用水	177	1973
沖縄開発の基本方向	中山大二郎	土木学会誌	58-6	1973
沖縄の農村社会と農民意識	園田恭一・山本英治	人類科学	25	1973
沖縄民俗における地域差	日本民俗学会	人類科学	25	1973
沖縄の粟ーその知られざる歴史を考えるー	佐々木高明	季刊柳田国男研究	1-1	1973
沖縄における船霊信仰の伝播と受容ー漁民の宗教生活比較を軸としてー	野口武徳	人類科学	25	1973
沖縄村落の社会組織と祭祀生活	宮良高弘	人類科学	25	1973
沖縄県土地利用基本計画ー沖縄の経済・社会環境ー	政策科学研究所	沖縄県庁		1973

沖縄県土地利用基本計画－沖縄の自然環境－	政策科学研究所	沖縄県庁		1973
村と生活, 沖縄県史	仲松弥秀	沖縄県庁		1973
沖縄の農業と加工資本	長岡 顕	地理	19-12	1974
沖縄農業の生産構造	福仲 憲	農業経済論集	25	1974
明治前期沖縄封建農業の構成－戦前沖縄における農業土地問題	中江淳一	土地制度史学	16-3	1974
「土地整理」と商品生産農業の展開－戦前沖縄における農業土地問題－	中江淳一	土地制度史学	16-4	1974
沖縄におけるさとうきびの収益性	池原真一	農業経済論集	25	1974
戦後沖縄農業における甘蔗のモノカルチュア的性格	仲地宗俊	農業経済論集	25	1974
沖縄農業の展開と村落の構造的性質	戸谷 修	岐阜女子短大研究紀要	24	1974
沖縄農業の基本的性格－限界地理論を視座として－	伊東勇夫	農業経済論集	25	1974
沖縄県の森林・林業の特質と林政の方向	篠原武夫	林業経済研究会会報	83	1974
日本の郷土産業－九州・沖縄－	日本地域社会研究所	新人物往来社		1974
沖縄の土地利用と買占めの実態	田里友哲ほか	沖縄の土地利用に関する研究報告書		1974
沖縄の開発と自然環境	上原方成・上間清	公害研究	4-2	1974
琉球：その海洋民的性格	石川友紀	日本の海洋民 [未来社]		1974
沖縄の離島の地域概念－とくに離島振興において－	中山 満	琉球大法文学部紀要社会篇	17	1974
神事による沖縄村落の究明	仲松弥秀	人類科学	27	1975
沖縄社会の変遷	仲松弥秀	地理	20-7	1975
沖縄農村の生産構造と階層構造の特質	戸谷修・蓮見音彦	人類科学	27	1975
沖縄の集落と民家	野村考文	建築雑誌	1093	1975
復帰前後の沖縄経済	久場政彦	地理	20-7	1975
沖縄の伝統染織	曾根信一	地理	20-7	1975
沖縄の教育の現状	真栄田義勝	地理	20-7	1975
沖縄の市町村合併（現地調査報告）	佐藤 彊	レファレンス	25-5	1975
沖縄の伝統的船について	野口武徳	船[社会思想社]		1975
渡唐銀と薩琉中貿易	崎原 貢	日本歴史	323	1975
沖縄「山原船」水運の歴史地理的考察	池野 茂	地域と交通[大明堂]		1975
日本地誌（21）－大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県－	日本地誌研究所編	二宮書店		1975
沖縄の自然	沖縄地学会編	平凡社		1975
沖縄離島の人口推移	中山 満	地理月報	224	1976
沖縄県国頭郡金武村における出移民の社会地理学的考察	石川友紀	琉球大法文学部紀要（史学・地理学編）	19	1976
第2次世界大戦前の県海外協会機関紙「南鷗」について	石川友紀	雄飛（沖縄県海外協会）	33	1976
沖縄の村落－「マキ」と「村」－	仲松弥秀	沖縄[弘文堂]		1976
村落研究における地方資料	小川 徹	沖縄[弘文堂]		1976
農村の社会構造と農民意識	松原治郎ほか	沖縄[弘文堂]		1976
沖縄の地割制度	浮田典良	沖縄[弘文堂]		1976
沖縄における民俗の地域性	和田正洲ほか	沖縄[弘文堂]		1976
沖縄村落の社会的特質－沖縄農村の自作農的性格を中心に－	子那国 暹	沖縄[弘文堂]		1976
戦後沖縄の家族と法－事例からみた理念の変遷と展開－	松本タミ	香川大経済論叢	49-3・4	1976
村落の論理	伊藤幹治	沖縄[弘文堂]		1976

沖縄 -自然・文化・社会-	九学会沖縄調査委員会 編	弘文堂		1976
沖縄関係地理学文献目録(1)	田里友哲ほか	琉球大法文学部紀要史学・地理学 篇	19	1976
沖縄県市町村別大字・小字名集	沖縄県土地調査事務局	同左		1976
ハワイにおける初期沖縄県移民一世 の歴史地理学的考察	石川友紀	史学研究	136	1977
薩摩統治下の沖縄の村落について- 沖縄史における共同体論の視点	梅木哲人	史潮	新2	1977
沖縄における工業化の推移と現状	春山明哲	レファレンス	27-11	1977
古代琉球における経済と技術	石川政秀	沖大経済論叢	3-1	1977
「沖縄」における県市町村史(誌) 刊行の実態とその背景	新城安喜	南島史学	10	1977
さとうきび価格と沖縄農業	来間泰男	農林統計調査	27-1	1977
地域農業振興と農政上の問題点-沖 縄県農業振興策を事例として	伊東勇夫	農業経済研究	49-2	1977
沖縄におけるパインアップル栽培と 日射量について	城間理夫	農業気象	33-1	1977
沖縄, 八重山の畑作とその儀礼	植松明石	跡見学園女子紀要	10	1977
沖縄のイルカ漁	西脇昌治・内田詮三	琉球大理工学部紀要(理学)	23	1977
戦後の沖縄における木材市場の展開 構造	仲間勇栄	林業経済	350	1977
地形図上にみられる米軍駐留による 沖縄地域の変容	田里友哲	地図	16-3	1978
沖縄県における出移民の特色-第二 次世界大戦を中心として	石川友紀	琉球大学法文学部紀要	21	1978
沖縄の過疎問題	大城常夫	地域学研究	8	1978
沖縄の都市問題	真栄城守定	地理学研究	8	1978
沖縄開発の転換と自治体行財政	舟場正富	社会文化研究	4	1978
沖縄観光開発に関する一考察	中村彰夫	第一経大論集	7	1978
Okinawa Esquisse ethnographique sur les Iles Ryukyu	小川徹	駒沢地理	14	1978
ユタ的職能者と夢に関する一試論	山田邦寿	駒沢大大学院地理学研究	8	1978
沖縄における Shaman<ユタ>の生 態と機能-ハンジ場面観察による clientの事例研究	大橋英寿	東北大文学部研究年報	28	1978
『李朝実録』所蔵の漂流記にみる沖 縄の農耕技術と食事文化	佐々木高明	歴史地理研究と都市研究(下)		1978
沖縄における地域	目崎茂和	地理	23-10	1978
沖縄-ハワイ移民ノート -ハワイ 移民抄史他	山里慈海ほか	世界	394	1978
沖縄県地租改正に関する一史料につ いて	野崎昭雄	東海大紀要(文学部)	29	1978
沖縄農村のイノベーション普及過程 に関する諸命題	宇野善康ほか	哲学(三田哲学会)	68	1978
戦前期の沖縄における造林事業の展 開	仲間勇栄	林業経済	351	1978
戦後の沖縄県における造林事業の展 開	仲間勇栄	林業経済	357	1978
旧琉球藩林政の成立と展開	仲間勇栄	林業経済	356	1978
沖縄開発と交通問題	運輸調査局企画室	運輸と経済	38-2	1978
沖縄の振興開発と港湾	奥山文雄	港湾	58-5	1979
沖縄県の人口問題	大城保	商経論集	7	1979
沖縄文化地域における民家の塑形的 モデル-試論として	渡辺欣雄	跡見学園女子大紀要	12	1979
沖縄県における水産養殖業現状と問 題点	伊野波盛仁	西日本漁業経済論集	18	1979

ブラジルにおける沖縄県出身移民の分布について—母村との地縁的関連をとおして	石川友紀	西村嘉助退官記念地理学論文集		1980
沖縄における開拓集落の研究	田里友哲	琉球大法文学部紀要（史学・地理学）	23	1980
沖縄のサンゴ礁と諸問題	目崎茂和	地理	25-8	1980
地割制下の村と分業について	与那国暹	琉球大法文学部紀要（社会学篇）	23	1980
沖縄商業史の研究（序説）	石川政秀	沖大経済論叢	4-1	1980
沖縄における地籍調査（1）	佐久川政一	沖大法学	3	1980
琉球国絵図と中山伝信録	平和彦	アジア・アフリカ資料通報	18	1980
沖縄のいぐさ	定平正吉	農業技術	35-9	1980
明治期の沖縄県林野所有の形成過程（1）（2）	仲間勇栄	農林経済	377, 378	1980
海外基地漁業の問題点と展望—沖縄船籍南方基地カツオー本釣漁業を例に	八木康夫	漁業経済研究	25-2	1980
沖縄のサンゴ産業等に関する実証的研究—採取・加工・販売等の分析を中心に（1）（2）	比嘉堅	商経論集（沖縄国際大）	8-2, 9-1	1980
沖縄と米軍基地	緑間栄	南島文化（沖国大）	2	1980
Land Transformation on Okinawa Island, Southwest Japan	竹内和彦・吉岡慎一ほか	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University	16	1981
沖縄県における小売流通の地域性にかんする一考察	金城宏	商経論集	9-2	1981
沖縄の都市	池野茂	講座日本の封建都市（3）		1981
琉球における地割制度の期限と変遷（上）	安良城盛昭	大阪府立大紀要（人文・社会科学）	29	1981
沖縄の自然（増補新装版）	沖縄地学会編	平凡社		1981
沖縄県における失業の地域差	小池秀夫	愛知学院大論叢（商学研究）	26-2	1981
沖縄における農産物市場・流通問題の所在—特に野菜の生産と適応について	梅木利巳	農業経済論集	32	1981
県外出荷野菜の急伸と沖縄農業	来間泰男	農林統計調査	31-2	1981
復帰後の沖縄経済の動向—統計資料の分析を中心に—	来間泰男	南島文化（沖国大）	3	1981
沖縄における「門中」と当事者能力	千野直邦	南島文化（沖国大）	3	1981
ペルーにおける沖縄県出身契約移民の空間移動と職業の変遷—初回契約移民を中心として	石川友紀	琉球大学法文学部紀要（史学・地理学）	25	1982
ブラジルにおける沖縄県出身移民の職業変遷—農業を中心に	島袋伸三・米盛徳市	琉球大学法文学部紀要	25	1982
ブラジルにおける沖縄県出身移民の空間移動の地域的指向について	中山満	琉球大学法文学部紀要（史学・地理学）	25	1982
琉球における地割制度の起源と変遷（下）	安良城盛昭	大阪府立大学紀要（人文・社会科学）	30	1982
沖縄林政史に関する一考察	池野茂	歴史地理学紀要	24	1982
地域開発と工業開発—沖縄振法を中心として	山里将晃	琉球大学経済研究	23	1982
沖縄における開発政策〔英文〕	田辺裕	教養学科紀要	14	1982
琉球島人の形質と地理的変異—先島諸島人の生態学的特徴	安部国雄・田村端	順天堂大学文理学科紀要	25	1982
沖縄の城にからむ二つの疑点	籠瀬良明	地理誌叢	24-1	1982
主食の変遷—甘藷以前—	多和田真淳	新沖縄文学, 沖縄タイムス社	54	1982
琉球島人の形質と地理的変異『沖縄観光振興方策調査』	阿倍国雄・田村端	順天堂大学文理学科紀要	25	1982
沖縄グスク（城）続報—地形との関連	沖繩協会 籠瀬良明	沖繩協会 東北地理	75 34-3	1982

本論文集のとりまとめにあたってー南の島からの酒のメッセージー	玉野井芳郎	南島文化 (沖国大)	4	1982
泡盛と黒糖	坂口謹一郎	南島文化 (沖国大)	4	1982
琉球王府の外交用泡盛	宮城栄昌	南島文化 (沖国大)	4	1982
泡盛工場から分離された黒麹菌ーその分離と分類の歴史ー	照屋比呂子	南島文化 (沖国大)	4	1982
泡盛産業の現状と展開	三輪隆夫	南島文化 (沖国大)	4	1982
泡盛の消費特性	比嘉堅	南島文化 (沖国大)	4	1982
酒害について	福里盛雄	南島文化 (沖国大)	4	1982
沖縄の酒と文学ー酒神と祭りー	畠山篤	南島文化 (沖国大)	4	1982
アルゼンチンにおける沖縄出身者自由移民の職業構成の変遷についてー分析と考察を中心に	石川友紀	琉球大学法文学部紀要 (史学・地理学)	26	1983
沖縄における集落の建築景観の地域性	坂本磐雄・椿勝義	九州産業大学工学部研究報告	19	1983
広域流通環境下における豚の地域内自給流通構造に関する研究ー沖縄県における豚流通の特質とその経済的意義	吉田茂	琉球大学農学部学術報告	30	1983
戦後沖縄国有林の管理と林業生産	篠原武夫	林業経済	36-6	1983
沖縄県における地場産業の業種別特性分析ー経営者意識からみた業種別類型化	米盛徳市	琉球大学経済研究	25	1983
沖縄における交通産業の生成と発展	梅井道生	商経論集 [沖縄国際大学]	11-2	1983
沖縄歴史地図ー考古編	宮城栄吉・高宮廣衛	柏書房		1983
沖縄歴史地図ー歴史編	宮城栄吉・高宮廣衛	柏書房		1983
今後の沖縄地域研究の課題についてー地理学のおぼえ書き	中俣均	地域社会教室論集	1	1983
復帰十年の沖縄学 その総括と展望・移民研究	石川友紀	雄飛	39	1983
沖縄の断層崖ー比類稀な教材	箆瀬良明	地理	28-10	1983
糸満の人たちー40年の時を隔てて	箆瀬良明	地理	28-12	1983
沖縄の神女と村立て	仲松弥秀	まつりと芸能の研究		1983
沖縄のサンゴ礁海域の地名	島袋伸三	南島の地名 第1集		1983
沖縄返還交渉史	緑間栄	南島文化 (沖国大)	5	1983
沖縄の復帰運動についての一視点	西原森茂	南島文化 (沖国大)	5	1983
復帰と沖縄県の財政問題	嶺井勇	南島文化 (沖国大)	5	1983
復帰と小売流通	金城宏	南島文化 (沖国大)	5	1983
復帰と少年非行	三宅孝之	南島文化 (沖国大)	5	1983
沖縄振興開発金融公庫の10年	久場政彦	南島文化 (沖国大)	5	1983
復帰と関税ー復帰特別措置を中心としてー	新垣勝弘	南島文化 (沖国大)	5	1983
共同店と村落共同体 (2)	安仁屋政昭・玉城隆雄 他	南島文化 (沖国大)	5	1983
ペルーにおける沖縄県出身自由移民の都市集中と職業構成の変遷	石川友紀・米盛徳市	琉球大学法文学部紀要 (史学・地理学)	27・28	1984
論集 沖縄の集落研究	田里友哲	離宇宙社		1984
沖縄県の農業人口の地域的動向	小池秀男	愛知学院大学論叢 (商学研究)	29-1・2	1984
沖縄における土地利用の基本的特徴ー集落立地を中心に	大城保	商経論集 [沖縄国際大学]	13-1	1984
沖縄県内の二重辺境性克服と農業の集約化	坂本英夫	奈良大学紀要	13	1984
沖縄における軍用地内耕作について	小池秀夫	愛知学院大学論叢 (商学研究)	30-1・2	1984
沖縄の中山制度・利用に関する史的 研究	仲間勇英	琉球大学農学部学術報告	31	1984

沖縄の開発と住民運動—その思想的背景を探る	荒崎盛暉	公害研究	13-3	1984
本部の観光開発とその影響	蓮見音彦	公害研究	13-3	1984
Okinawa et le Tourisme en Quatre Jours	Sylvie Guichard Anguis	立命館文学	463~465	1984
海空域行政機能の辺境への偏在的立地—北海道・沖縄県を中心として	宮城真宏	琉球大学教育学部紀要 (第1部)	27	1984
琉球の風水土	木崎甲子郎・目崎茂和	築地書館		1984
当山久三と沖縄移民	石川友紀	国際おきなわ	8	1984
占領が促進した消費型経済	島袋伸三	世界の地理 日本西部 沖縄		1984
地方文化へのある視点—沖縄を考える—	宮口 勉	統計	35-5	1984
地域史と民話	遠藤庄治	南島文化 (沖国大)	6	1984
戦争体験記録の課題と方法	石原昌家	南島文化 (沖国大)	6	1984
地域史 (誌) と地名	堂前亮平	南島文化 (沖国大)	6	1984
沖縄県の野菜市場における価格形成の機能とメカニズム	安谷屋隆司	南島文化 (沖国大)	6	1984
沖縄におけるコナベーションの形成と都市構造の変容	堂前亮平	地域の探求 [古今書院]		1985
戦間期沖縄における農村労働力流出の分析—大阪労働市場への流出を中心として	富山一郎	農業経済研究	56-4	1985
航空輸送がもたらした新しい農業・沖縄	堂前亮平	地理	30-1	1985
沖縄の師範学校における「郷土室」について (1)—沖縄県師範学校 (男子) の『郷土資料目録』に関連して	阿波根直誠	琉球大学教育学部紀要 (第1部)	28	1985
コモنزとしての海—沖縄における入浜権の根拠	玉野井芳郎	沖縄国際大学南島文化研究所所報	27	1985
移民を通してみた近代沖縄研究	石川友紀	地方研究史	196	1985
「日系移民研究」の視点から、アジア移民とは何か—比較アジア移民学の課題と方法—	石川友紀	『昭和59年度名古屋大学特定研究』		1985
ニライ・カナイの神と存在神	仲松弥秀	歴史公論	118	1985
沖縄文化研究の課題と姿勢—琉球王国をどう見るか—	仲松弥秀	沖縄の古代文化		1985
ボリビア・沖縄移住地の課題と提言	中山満	雄飛	41	1985
沖縄の離島振興に思う—21世紀への期待—	中山満	しま	124	1985
観光産業による地域活性化に向けて—地域の取組みと行政の役割—	中山満	自治おきなわ	302	1985
琉球列島経済計画—1956~1960会計年度	仲地宗俊訳	商経論集 [沖縄国際大学]	14-1, 2	1985・86
沖縄移民の歴史的背景と現況	中山満	地理	31-7	1986
ブラジルにおける沖縄県出身移民の職業変遷について—第二次・三次産業	島袋伸三	琉球大学法文学部紀要 (史学・地理学)	29	1986
沖縄県周辺の法的大陸棚の拡大及び海洋境界について	宮城真宏	琉球大学教育学部紀要 (第1部)	29	1986
角川日本地名大辞典 (47)—沖縄県	「角川日本地名大辞典」	角川書店		1986
手造りビデオによる沖縄の人権学習	吉本健一	地理教育	15	1986
沖縄県からの東南アジアへの移民の歴史	石川友紀	『地域からの国際交流』		1986
ボリビア国コロニアオキナワ移民の再移住に関する実証的研究	石川友紀	沖縄地理	1	1986

ブラジルにおける沖縄県出身移民の 集団形成－サンパウロ市ビーラカ ン地区の場合	石川友紀・町田宗博	『南米における沖縄県出身移民に 関する地理学的研究（Ⅱ）』		1986
沖縄の神と村	仲松弥秀	創造の世界	59	1986
サンタクルス市（ボリビア）にお ける沖縄県出身移民の居住分布の特 徴	中山満	南米における沖縄県出身移民の地 理学的研究（Ⅱ）		1986
南米における沖縄県出身移民に関 する地理学的研究（Ⅱ）－ボリビア・ ブラジル－	中山満・大城常夫	琉球大学法文学部地理学教室		1986
沖縄諸島における明治37（1904）年 の干ばつ	小林茂	地誌学を考える		1986
沖縄の地域的特性	沢田清	日本大学自然科学研究所研究紀要	21	1986
縁辺地域における地域航空と地域振 興	宮城真宏	地域航空輸送の経済開発効果の調 査		1986
A geography of Japan: Its land and people.	Miyagi, M	Handbook for General Orientation		1986
地域の大切さを考える－沖縄の可能 性を求めて－	玉野井芳郎	南島文化（沖国大）	8	1986
日本近代文学における〈南〉	浦田義和	南島文化（沖国大）	8	1986
沖縄における天皇制イデオロギーの 形成（上）	仲地哲夫	南島文化（沖国大）	8	1986
コロニア・オキナワの農業	島袋伸三	琉球大学法文学部地理学教室編		1986
移民と国際交流－東南アジアへの沖 縄県出身移民を例として	石川友紀	新沖縄文学	72	1987
ブラジル国サンパウロ市カーザベル デ地区における沖縄県出身移民の分 布と職業構成	石川友紀・町田宗博	琉球大学法文学部紀要史学・地理 学編	30	1987
南西諸島の田芋灌漑耕作－農耕文化 論的予察	橋本征治	文化史論叢（下）[創元社]		1987
戦前期、沖縄出稼民の結社と「沖縄 差別」－関西沖縄県人会の分析を中 心に	富山一郎	歴史学研究	570	1987
沖縄県地方に伝承される台風俚諺の 見直し	石島英	天気	34-4	1987
沖縄の都市研究と都市特質に関する 若干の考察	堂前亮平	沖縄社会研究		1987
ペルーにおける日本移民の特色－そ の二、三の考察、沖縄県出身移民を 例として－	石川友紀	『ペルー移民75周年記念誌』		1987
海外沖縄移民社会の歴史と実態	石川友紀	『海外おきなわ最新情報』	21-30	1987
移民研究における面接聞取調査の重 要性－南米沖縄移民実態調査を事例 として－	石川友紀	地域と文化	45	1987
『沖縄の米軍基地』	沖縄県総務部知事公室	沖縄県総務部知事公室		1987
琉球弧の神祭祀	仲松弥秀	ザ・沖縄－琉球王朝の栄華を訪ね て		1987
琉球方言の助詞のことなど	野原三義	南島文化（沖国大）	9	1987
伯徳令一件	宮田俊彦	南島文化（沖国大）	9	1987
沖縄における天皇制イデオロギーの 形成（中）	仲地哲夫	南島文化（沖国大）	9	1987
ブラジル国サンパウロ市ビーラカ ロン地区における沖縄県出身移民の分 布と職業構成	石川友紀・町田宗博	琉球大学法文学部紀要史学・地理 学編	31	1988
沖縄におけるインド人の移住過程と 適応様式	堂前亮平	日本地理学会予稿集	34	1988
沖縄移民の特質と今後の課題	石川友紀	『いま、南風原から移民を考え る』		1988
沖縄の地形図	島袋伸三	南島の地名 沖縄出版	3	1988

南米・沖縄移民の特性と国際化時代における意義	中山満	せんばる	2	1988
Hierarchical passenger traffic in an insular region: The case of Okinawa Prefecture, Japan.	Miyagi, M	Bull. Coll. Education, Univ. Ryukyus	33-1	1988
最近の沖縄の財政支出	島袋栄一	南島文化 (沖国大)	10	1988
沖縄における新規学卒者の就職状況	比嘉輝幸	南島文化 (沖国大)	10	1988
沖縄古典音楽の音階をめぐって	比嘉悦子	南島文化 (沖国大)	10	1988
沖縄における天皇制イデオロギーの形成 (下)	仲地哲夫	南島文化 (沖国大)	10	1988
「京太郎物語」とその周辺	濱中修	南島文化 (沖国大)	10	1988
沖縄の集落景観	坂本磐雄	九州大学出版会		1989
『新版・観光コースでない沖縄一戦跡・基地・産業・文化』	新崎盛暉・大城将保ほか	高文研	326	1989
サンパウロ大都市圏におけるフェイラと沖縄県出身のフェイランテ	島袋伸三・米盛徳市	琉球大学法文学部紀要 (史学・地理学)	32	1989
康熙年間麻姑山郷紳白川氏恵和漂流記記載地名考	平恒次	南島文化 (沖国大)	11	1989
水玉屋ウバーレ	上原富二雄	南島文化 (沖国大)	11	1989
南米における沖縄県出身移民に関する地理学的研究3-アルゼンチン・ペルー	中山満ほか	琉球大学法文学部地理学教室		1990
気象と水-オキナワからのレポート	新田尚	水利科学	34-2	1990
地図に遊ぶ シーサーの道	竹野忠生	地理	35-6	1990
沖縄の都市と「シマ」社会	堂前亮平	地理月報	377	1990
在日インド人の居住地形成と異文化接触-沖縄と神戸を比較して-	堂前亮平	在宅・土地問題研究論文集	16	1990
沖縄県の土地の開発行為	府本礼司	熱い自然-サンゴ礁の環境誌		1990
土地利用	島袋伸三	沖縄社会経済変動調査報告(上巻)	27-91	1990
仲松沖縄学の視点	小川徹	神・村・人[第一書房]		1991
第二次世界大戦前における沖縄県からフィリピン群島への移民の歴史と実態	石川友紀	神・村・人[第一書房]		1991
南米における沖縄県出身移民に関する地理学的研究-第1次~第3次調査の回顧	石川友紀	琉球大学法文学部紀要史学・地理学編	34	1991
沖縄県における産業からみた都市の動向	石丸哲史	琉球大学文学部紀要 史学・地理学編	34	1991
ネットワーク形成と地域戦Ⅶ沖縄県	堂前亮平	1990年度九州経済白書		1991
ペルー日系人社会の歴史と実態	石川友紀	地理	36-2	1991
琉球・沖縄集落の景観構成と風水説	大城直樹	人文地理	43-4	1991
沖縄の火葬場-死・人間・環境-	近藤功行	沖縄地理	3	1991
The geographical distribution of emigrants by place of origin: The case of Okinawa.	Ishikawa, T and Taira, K	Walter de Gruyter		1991
Land Use in Okinawa	Shimabukuro, S., Machida, M.	ENVIRONMENTAL CHANGE and GIS	1	1991
沖縄農業の階層構造-明治末期から大正期にかけて-	春日文雄	南島文化 (沖国大)	1 2・1	1991
戦前沖縄農業再考-その論点確認のために-	向井清史	南島文化 (沖国大)	1 2・1	1991
LANDSAT/TMデータに基づいた沖縄赤土流出問題の解析の試み	灘岡和夫・田村英寿	日本リモートセンシング学会誌	12-3	1992
海洋民・移民としての沖縄県人	石川友紀	熱い心の島[古今書院]		1992
沖縄の集落の形成	田里友哲	熱い心の島[古今書院]		1992
基地と集落	町田宗博	熱い心の島[古今書院]		1992
沖縄の集落景観 新装版	坂本磐雄	九州大学出版会		1992

Government Intervention and Changing Agricultural System in Community on Subtropical Islands in Okinawa	永田淳嗣	地域学研究 (駒沢大)	5	1992
沖縄農業の地域的展開5 - 本土復帰以後のパイナップル生産を中心にサンゴ礁地域を結ぶ生命線としての交通網	増井好男	農村研究	74	1992
沖縄観光の大変化	宮城真宏	熱い心の島[古今書院]		1992
サンゴ礁と観光	宮城真宏	地理	37-5	1992
沖縄の民俗と社会構造	渡久地健	熱い心の島[古今書院]		1992
サンゴ礁地域としての沖縄・奄美・小笠原	長沢利明	熱い心の島[古今書院]		1992
沖縄の文化変化	斎藤毅	熱い心の島[古今書院]		1992
隆起サンゴ礁の景観史	渡辺欣雄	地理	37-5	1992
土のイメージ・石のイメージ - 方名・地名・物語に見る自然とひととの交流	小林茂	熱い心の島[古今書院]		1992
サンゴ礁の民俗語彙	掘信行	熱い心の島[古今書院]		1992
琉球弧の世界 海と列島文化6	島袋伸三	熱い心の島[古今書院]		1992
沖縄の城と城下町	谷川健一ほか	小学館		1992
熱い心の島 - サンゴ礁の風土誌 日本のサンゴ礁地域2	久手堅憲夫	地図情報	12-1	1992
沖縄集落の形成	サンゴ礁研究グループ編	古今書院		1992
沖縄の土地形成と都市化	田里友哲	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
奄美・沖縄の村落の空間組織と民俗行事	堂前亮平	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
沖縄の民俗と社会構造	中俣均	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
隆起サンゴ礁の景観史	長沢利明	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
製塩からみた海岸の土地利用と社会組織	小林茂	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
基地と集落	斎藤毅	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
Recent resort development by big enterprises and its impact on land use in Okinawa	町田宗博	熱い心の島-サンゴ礁の風土誌		1992
沖縄の米軍基地-復帰20周年雑感-	Shimabukuro; S	Bull. Coll. Law & Letters, Univ. Ryukyus	35	1992
首里王府の麦の種播き儀礼	野原全勝	南島文化 (沖国大)	14	1992
沖縄におけるパイナップル缶詰工業の展開過程 - 本土復帰以後の変化を中心に	小島瓊礼	農耕の技術	16	1993
「東アジア風水文化圏」での沖縄	増井好男	農村研究	77	1993
沖縄の風水 - 集落遷徒を通して	町田宗博	地理	38-11	1993
日本の新しい風景美としてのサンゴ礁	皆見和彦	日本学報	12	1993
戦前期沖縄産鰹節の検査制度に関する一考察	斎藤毅	熱い心の島[古今書院]		1993
戦前期沖縄産鰹節のに関する一考察	上田不二夫	漁業経済論集	35-2	1994
中国・四国・九州・沖縄 明治期各府県産業実態調査報告4	上田不二夫	漁業経済研究	39-3	1994
琉球山原船水運の展開	農商務省編	東洋書林		1994
沖縄の門中に関する一考察 - 祭祀継承を中心に	池野茂	ロマン書房		1994
寸法による吉凶判断と住居景観 - 奄美・沖縄を事例として	安和守茂	ソシオロジ	39-2	1994
墓地と場所感覚	小口千明	地理学評論	67A-9	1994
アメリカにおける琉球研究の現状	大城直樹	地理学評論	67A-3	1994
	平恒次	南島文化 (沖国大)	16	1994

沖縄地方組積造建築物に関する調査研究(2) - 空洞コンクリートブロック製造業の存在形態	竹内淳彦・八久保厚志	日本工業大学研究報告	25-3	1995
中国・福建省と沖縄県の地域連帯 - ボーダーレス経済立地論序論	吉川博也	地域開発	365	1995
マレビトの文化史 - 琉球列島文化多元構成論	吉成直樹	第一書房		1995
琉球文化圏の墓制と祖霊祭	下野敏見	日本研究	12	1995
町づくりの民俗 - <祭>から<まつり>へ	渡名喜明	国立歴史民俗博物館研究報告	60	1995
「英琉辞典」の表記法	高橋俊三	南島文化(沖国大)	17	1995
沖縄的豪農の形成課程 - 饒平名家の土地所有の生成を中心に -	春日文雄	南島文化(沖国大)	17	1995
沖縄民話と韓国神話の比較資料 - 韓国王誕生出現説話と沖縄口承伝承説話の比較資料 -	遠藤庄治	南島文化(沖国大)	17	1995
比屋根安定の生涯と著作	喜久川宏	南島文化(沖国大)	17	1995
琉歌とアラバマ民話; 翻訳上の諸問題	カレン・ルパーダス	南島文化(沖国大)	17	1995
沖縄地方組積造建築物に関する調査研究(7) - 沖縄地方における空洞コンクリートブロック製造業の形成と再編	竹内淳彦・八久保厚志	日本工業大学研究報告	26-1	1996
沖縄新自由貿易地域の構想 - アジアとの共生、規制緩和の先進地域として	吉川博也	地域開発	384	1996
琉球列島文化研究の新視覚	比嘉政夫	民族学研究	61-3	1996
対ヤマトの文化人類学	津波高志	民族学研究	61-3	1996
琉球史研究からみた沖縄・琉球民俗研究の課題	高良倉吉	民族学研究	61-3	1996
琉球王国における海産物貿易	真栄平房昭	歴史学研究	691	1996
米軍政府下のアメリカ人と沖縄の人々の交流の型と特徴	仲地清	名桜大学紀要	3	1997
近代期における琉球列島離島の人口変動	宮内久光	金沢大文学部地理学報告	8	1997
「混効験集」の文法の研究	高橋俊三	南島文化(沖国大)	20	1998
若樹文庫旧蔵本「琉歌集」 - 解説と翻刻 -	嘉手苺千鶴子	南島文化(沖国大)	20	1998
古日本の鏡としての琉球 - 柳田国男と沖縄研究の枠組み -	屋嘉比収	南島文化(沖国大)	21	1999
沖縄のさとうきび生産構造	来間泰男	南島文化(沖国大)	22	2000
琉球史における民衆の役割(二)	仲地哲夫	南島文化(沖国大)	22	2000
沖縄巡検報告	大分大地理学教室	大分地理	13	2000

6. 大隅諸島

鹿兒島縣屋久島の地文及人文に就いて(一・二)	鳥山武雄	地理学	2-11	1934
鹿兒島縣屋久島の地文及人文に就いて(三・四)	鳥山武雄	地理学	3-1	1935
種子島概報	山口貞夫	地理学評論	13-5	1937
種子島の集落	三友国五郎	社会地理	-	~1951
ヤク島の生態	梅棹忠夫	思想	327	1951
屋久島の自然環境と資源	林昇一郎	地学雑誌	685	1952
屋久島の民家について	野村孝文	日本建築学会研究報告	18	1952

種子島に於ける水稲早期栽培と育苗について	丸野俊徳	九州農業研究	10	1953
屋久島	三友国五郎	しま	1	1953
屋久島川部落の共同開墾過程と社会構成	米谷静二	鹿児島県地理学会紀要	4	1954
屋久島北岸部落の地理学的研究	米谷静二	鹿児島大学文科報告	3	1954
離島振興と屋久島 前・後	田中薫	国民経済新誌(神戸大)	89-2、4	1954
屋久島における山林の所有と利用	小林三衛	茨城大学文理学部紀要(社会科学)	14	1963
屋久町誌	屋久町誌編纂委員会	屋久町		1964
種子島の農業概況とさとうきび作の問題点	大内山茂樹	熱帯農業	8-2	1965
馬毛島	宮本常一	しま	12-1	1966
屋久島及び尾瀬ヶ原北部山岳地帯の地質研究における航空写真の適用	菊地宏吉	写真測量	5-3	1966
近世屋久島における人口構造—享保11年検地竿次帳の検討—	速水融	徳川林政史研究所研究紀要		1968
種子島・屋久島関係文献資料目録	山本秀雄編	西之表市		1968
種子島における商業的農業の発展	江波戸昭	地理	12-1・3	1969
屋久島におけるパイナップル露地栽培に対する一考察	池田三雄	熱帯農業	13-1	1969
種子島の輸送農芸	遠藤家成	農林統計調査	19-2	1969
南西諸島の農村と表情—屋久島・南種子・徳之島の場合—	野村三郎	農業と経済	36-3	1970
種子島におけるさとうきびの栽培の動向(第1報)	妹尾 正	鹿児島大教育学部研究紀要	26	1974
屋久島	高橋潤二郎	地理	19-10	1974
鹿児島県における熱帯性果樹栽培に関する研究(V)—屋久島におけるポンカンおよびタンカン栽培の現状とその問題点—	茶園和男	鹿児島大教育学部研究紀要	26	1975
鹿児島県における熱帯性果樹栽培に関する研究(VI)—種子島におけるポンカンおよびタンカン栽培の現状とその問題点—	茶園和男	鹿児島大教育学部研究紀要	27	1975
屋久島における山岳信仰圏の研究	石飛一吉	鹿児島地理学会紀要	22-2	1976
屋久島の自然	松田好行	八重岳書房		1976
火山列島(硫黄列島)に関する歴史的知見	佐藤孫七	東海大紀要(海洋学部)	10	1977
南島人民種子島移住記	上村剛一	経済学論集(鹿児島大)	16	1979
種子島における最近の農業動向	石村満宏	経済地理学年報	25-4	1980
種子島における共有林と村落—鹿児島県中種子町美座	中尾英俊	西南学院大学法学論集	14-4	1982
屋久島の森林利用と自然保護・レクリエーション	宮林茂幸	林業経済	35-7	1982
高度成長期前後の離島の農業?農業構造よりみた種子島・屋久島の場合	菊地一雅	群馬県立女子大学紀要	4	1984
屋久島の水と水輸出計画	日比野雅俊	人文科学論集	39	1986
南島のサンゴ礁と人—最近の研究の一素描—	渡久地健	南島史学	33	1989
戦後屋久島経済社会の変容と地域漁業	市川英雄	漁業経済論集	35-2	1994
屋久島における観光地化と環境保全	荻原和也	地理学研究報告	9	1998
屋久島と種子島	木下龜城	地理学		

7. 奄美諸島, トカラ列島

沖永良部島の地誌概要	吉田主計	地理教育	20	1934
喜界島印象記	佐々木彦一郎	地理学	2-10	1934
喜界島印象記三	佐々木彦一郎	地理学	3-1	1935
喜界島印象記四	佐々木彦一郎	地理学	3-3	1935
奄美大島の旅	鈴木公	地理学	9-7	1941
トカラ列島巡見記	鹿児島県調査部	地域	1-5	1952
口永良部島の民家	野村孝文	民族建築	6	1952
薩南諸島の先史地理学調査	三友国五郎	埼玉大学紀要(人文社会科学編)	2	1953
奄美大島の水産業		水産省調査研究部		1953
奄美大島瞥見 一人口問題一	河原正史	地理学報告(愛知学芸大学)	5	1954
奄美大島瞥見 大島紬	服部利孝	地理学報告(愛知学芸大)	5	1954
奄美大島瞥見	河原正史・服部利孝ほか	地理学報(愛知学芸大)	5	1954
奄美大島民家と鹿児島県本土の民家との関係	野村孝文	日本建築学会研究報告	29	1954
奄美群島の農業事情		農林省農業改良局		1954
奄美大島の畜産状況	清水明	畜産便り	50	1954
沖永良部民族誌	柏常秋	凌霄文庫刊行会		1954
与論島の集落	米谷静二	九州地理	2	1955
沖之永良部島に於ける水と生活	鈴木公	鹿児島県地理学会紀要	5	1955
奄美大島概説	鈴木公	鹿児島県地理学会紀要	5	1955
喜界島概観	服部信彦	鹿児島県地理学会紀要	5	1955
徳之島概観	紀野健一郎	鹿児島県地理学会紀要	5	1955
与論島	米谷静二	鹿児島県地理学会紀要	5	1955
奄美大島の高倉	野村孝文	日本建築学会研究報告	31	1955
奄美大島附近における小型船舶の航海と気象	新納明野恒他	西部管区気象研究会誌	14	1955
奄美の島々	九学会奄美大島委員会	毎日新聞社		1956
与論島の民家	野村孝文	日本建築学会研究報告	51	1956
奄美群島の開拓事業について	瀬川孝吉	農地	95, 96	1956
奄美群島水産業の概観 1、2	柴原多門	水産時報	8	1956
沖永良部島の家族制度の研究一南日本家族制度の一環として一	大山彦一	鹿児島大学社会科学報告	9	1962
ノロ祭祀集団における神役の継承一奄美加計呂麻島の場合一	Josef Kreiner	民族学研究	27-1	1962
奄美大島方言の研究一南部方言の母音について一	春日正三	立正大学国語国文	1	1962
奄美の島々(日本の姿)	江波戸昭	地理	8-2, 3	1963
徳之島の糖業について	山崎守正	熱帯農業	6-4	1963
鹿児島県史一奄美関係抜萃一	名瀬市史編纂委員会	名瀬市		1963
名瀬市史資料(1)~(3)	名瀬市史編纂委員会	名瀬市		1963
徳之島小史	坂井友直	奄美社		1963
再刊徳之島小史	徳之島民俗学会	徳之島町		1963
沖永良部島史	坂井友直編	奄美社		1963
南西諸島の上三島	竹田亘	しま	8-5	1963
「ヒキ」の分析一奄美双系社会の血縁構造一	中根千枝	東洋文化研究所紀要	33	1964
ヤブチ土器一琉球と奄美大島における文化交流の一証言一	国分直一他	水産大学校研究報告(人文科学編)	10	1965
喜界島古今物語	三井喜編	三井喜		1965
沖之永良部島における集落の屋敷名による考察(要旨)	山口弥一郎	地理学評論	39-6	1966

奄美大島、徳之島の水事情	木立正嗣	水利科学	10-5	1966
徳之島聞書	瀬川清子	民間伝承	30-2、3	1966
鹿児島県大島郡三島村黒島	村田熙	離島生活の研究		1966
鹿児島県大島郡十島村宝島	桜田勝徳	離島生活の研究		1966
小離島社会の村落生活と変化—トカラ列島臥蛇島—	野口武徳	民俗学研究	32-2	1967
奄美群島における最近の糖業事情	江波戸昭	地理	13-5	1968
沖永良部島郷土史資料	永吉毅	和泊町		1968
薩南諸島における地域経済の展開—奄美群島および種子島における糖業発展を中心に—	江波戸昭	薩南諸島の総合的研究(明治書院)		1969
薩南諸島の統合的研究	平山輝男編	明治書院		1969
こんな小島にも人が住む(読図と判読)—小宝島—	野々村邦夫	地理	15-3	1970
徳之島町誌	徳之島町誌編纂委員会編	徳之島町		1970
薩南諸島北部における焼畑農業地域の研究	日高和広	鹿児島地理学会紀要	19-1	1971
奄美大島および宝島におけるリュウキュウバショウの利用に関する地理学的研究	西元耕司	鹿児島地理学会紀要	19-1	1971
奄美史料I 大島要文集(東京大学史料編さん所蔵の複製)		県立図書館奄美分館		1971
奄美大島における多棟分立式民家の平面採集	花岡利昌ほか	家政学研究	19-2	1972
口之島のミズイモ栽培について	坂口彰・中島仁志	鹿児島地理学会紀要	20-2	1972
喜界島におけるソテツの利用形態	辻ひろみ・金丸光代	鹿児島地理学会紀要	20-1	1972
漁業家族の実態調査報告—鹿児島県奄美大島・大熊部落(上)・(下)—トカラ列島における通婚圏の研究	佐藤隆夫	国学院法学	9-3	1972
喜界島のミズイモ栽培に関する文化地理学的研究	貴島玲子	鹿児島地理学会紀要	20-1	1972
平島における relict-crop	斎藤毅・坂口彰	鹿児島地理学会紀要	20-1	1972
小離島住民の生活の比較研究—トカラ列島・平島・悪石島—	斎藤毅・辻ひろみほか	鹿児島地理学会紀要	20-2	1972
沖永良部島の生活—文化地理的考察—トカラ列島の民間信仰と村落共同体の研究	掛谷 誠	民俗学研究	37-1	1972
奄美史料(2)・(5)—大島私考、九郎談下—	水野 元	愛知教育大地理学報告	39	1972
漁業家族の実態調査報告—鹿児島県奄美大島・大熊部落(上)、(下)—奄美諸島におけるソテツ利用に関する地理学的研究	前本豊新	鹿児島地理学会紀要	20-1	1972
奄美諸島における黒糖焼酎地域の形成について	鹿児島県立図書館奄美編	同左		1972
奄美生活誌	佐藤隆夫	国学院法学	9-3	1972・73
名瀬市誌(下)	辻ひろみ	鹿児島地理学会紀要	21-1	1973
与論島郷土史	金丸光代	鹿児島地理学会紀要	21-1	1973
鹿児島県大島郡与論町調査報告	恵原義盛	木耳社		1973
奄美の珊瑚礁海岸(読図と判読)	名瀬市誌編さん委員会編	名瀬市		1973
奄美大島の土地割替制度と農業の性格	与論町教育委員会編	与論町郷土資料誌刊行委員会		1973
トカラ列島における過疎化と土地利用の変化—中之島および臥蛇島の場合	村落調サークル編	文化人類学研究会会報	7-1	1973
	瀬戸玲子	地理	18-1	1973
	萩原 茂	農業経済論集	25	1974
	赤松国吉	鹿児島地理学会紀要	21-2	1974

沖永良部島の農業	高橋幸仁	岐阜地理	13	1974
トカラ列島における漁業の特性	斎藤 毅	鹿児島地理学会紀要	21-2	1974
亜熱帯離島における伝統的製塩形態の研究-鹿児島県沖永良部島および与論島の場合-	斎藤 毅	西日本漁業経済論集	15	1974
漁業と習俗	恵原義盛	奄美文化誌[西日本新聞社]		1974
奄美文化誌-南島の歴史と民族-	長沢和俊編	西日本新聞社		1974
小さな奄美大島研究史	新屋敷幸繁	琉大史学	6	1974
奄美史の時代区分	大山麟五郎	琉大史学	6	1974
奄美大島農地制度論	萩原 茂	鹿児島大農学部学術報告	25	1975
沖永部島におけるガジュツCurcuma zedoaria栽培地域の形成について	阿万達郎	鹿児島地理学会紀要	22-1	1975
奄美群島の林業	篠原武夫	林業経済	28-1	1975
奄美群島の振興開発と道路整備-「島と道路」シリーズ-	諏訪部 信	道路	415	1975
トカラ列島における山羊飼育の文化地理学的意義?宝島および小宝島の場合-	斎藤毅・木佐貫秀明	鹿児島地理学会紀要	22-1	1975
宝島における「イタツケ」漁船について	斎藤毅・河津優司	鹿児島地理学会紀要	22-1	1975
宝島および小宝島における正月料理の特性	石飛一吉・西園玲子	鹿児島地理学会紀要	22-1	1975
与論島(コンヌジコ)の言語-地名の由来、家名(ヤーナ)、代名詞について	後藤一日	国学院雑誌	76-5	1975
大奄美史 -ユーラシア叢書(8)-	昇 曙夢	原書房		1975
口之島の村落構造に関する覚書	田村克己ほか	鹿児島地理学会紀要	22-2	1976
稲恒尚友:臥蛇島部落規定、吐火羅国	岡田 真	地理学評論	49-6	1976
糖業と散村-奄美大島の例-	桐野利彦	歴史地理学会会報	88	1976
沖永良部台風と農業をめぐる若干の問題について	中野哲二	地域研究(鹿児島経済大)	7-2	1977
奄美地域の農業構造	中野哲二	地域研究	7-1	1977
奄美諸島および吐喝喇列島における伝統的製塩形態の地理学的研究	斎藤毅	人類科学	30	1977
トカラ列島の漁業組織と漁業技術	鳥越皓之	人類科学	30	1977
喜界町の人口と経済	呼子徹	地域研究	8-2	1978
奄美諸島の集落別人口変動について	千葉徳爾	人類科学	31	1978
野生ユリの栽培化から球根商品化への過程-鹿児島県島と沖永良部島との比較	野間晴雄	人文地理	30-3	1978
トカラ列島人口史	五十嵐忠孝	鹿児島地理学会紀要	23	1978
地域主義の源流を求めて-ケーススタディ・奄美大島の研究(1)~(8)	杉岡碩夫	エコノミスト	56-41~ 45, 47-49	1978
喜界島における甘藷生産と製糖企業の経営分析	今木秀和	地域研究(鹿児島経大)	9-1	1979
喜界島阿伝における食生活の変化と個人差	近藤泰之・大塚柳太郎	人類学雑誌	87-3	1979
水利用のにおける与論と宮古	玉野井芳郎	南島文化(沖国大)	創刊号	1979
与論島民話話一覽	遠藤庄治・辺土名朝三	南島文化(沖国大)	創刊号	1979
奄美大島における園芸植物の利用に関する地理学的研究-墓花の場合	松雄英輔	人類科学	33	1980
奄美諸島の伝統的家畜飼養(1)	小林茂	歴史学・地理学年報	4	1980
奄美大島の耕地制度と農村の両極分解-ことに黒糖専売化の濱村と家人の発生について	原口虎雄	経済学論集 鹿児島大法文学部紀要	18	1980

トカラ列島—その自然と文化	斎藤毅・塚田公彦ほか	古今書院		1980
奄美大島の耕地制度と農村の両極分解—ことに黒糖専売制下の濱村と家人の発生について	原田虎雄	経済学論集	18	1980
与論社会の構造的変化とその社会的性格	戸谷修	岐阜女子短大研究紀要	29	1980
奄美諸島の石干見漁撈	水野紀一	史観	103	1980
奄美大島におけるカツオ漁業の展開過程	片岡千賀之	漁業経済研究	25-2	1980
与論島東南部における先史時代遺跡の調査	高宮廣衛・知念勇	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
与論島の経済と農業	来間泰男	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
与論の家族：朝戸部落の事例を中心に	玉城隆雄	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
社会組織	波平勇夫	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
ウェーキ・インダ関係	波平勇夫・仲地哲夫	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
与論島の方言	野原三義・高橋俊三	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
与論島における村落の観光地化	堂前亮平	与論・国頭調査報告書(沖国大)	1	1980
大島紬業の生産機構の特質—竜郷町の分析を中心にして	金原達夫	鹿児島経大論集	21-4	1981
トカラ列島の焼畑農業技術についての覚書	鳥越皓之	日本民俗学	133	1981
屋久島の「まつばんだ」考—琉球音階の北上か—	杉本信夫	南島文化(沖国大)	3	1981
屋久島・湯泊の「笹踊りうた」について	杉本信夫	南島文化(沖国大)	3	1981
沖縄と沖永良部島との歴史的関係	宮城栄昌	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島—その地理的性格—	堂前亮平	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の先史遺跡	高宮廣衛	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の水利用	玉野井芳郎	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の経済と農業—久高島との比較—	来間泰男	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の大島紬生産	三輪隆夫	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の漁業	野原全勝	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
漁民の生活	石原昌家	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の年中行事	畠山篤	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の方言	高橋俊三・野原三義	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
オイチュウヤトウイ関係	波平勇夫	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖永良部島の屋敷林と海岸植生	宮城邦治	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
沖縄及び奄美地方の高倉建築	山里銀造	沖永良部島調査報告書(沖国大)	2	1981
奄美群島における人口の構造と動態	仲村正文	南日本文化	15	1982
奄美大島—村落の社会的統合に関する研究	藤崎康彦	政経論叢	50	1982
トカラ列島における住民生活と土地利用の変化	高橋春成	地域—その文化と自然〔福武書店〕		1982
喜界島の表裏	鈴木公	南日本文化	14	1982
奄美諸島の伝統的家畜飼養(2)	小林茂	歴史学・地理学年報	6	1982
トカラ列島の農耕儀礼—悪石島の事例を中心として	安田宗生	熊本大学文学部論叢	4	1982
奄美大島における在来ネギ族野菜の識別の呼称	松尾英輔	地理学評論	55-3	1982
奄美諸島における礁地形の方名およびその空間構成と地理的分布	堀信行	奄美—自然・文化・社会—		1982
近代以降のトカラ列島における村落構造の変貌?宝島を事例として	田畑久夫・紀禎哉ほか	歴史地理学紀要	25	1983

亜熱帯離島における農業地域の変容 —薩南諸島の場合	斎藤毅	高度成長期の地域変容〔古今書 院〕		1983
奄美諸島の伝統的イネ栽培と「踏 耕」	小林茂	人類科学	35	1983
薩南諸島における山羊の経営と飼養 実態	万田正治・河井達志ほか	鹿児島大学農学部学術報告	33	1983
奄美喜界島の祖先祭祀と家族—嘉鈍 の墓制と位牌祭祀を中心に	上野和男	政経論叢	51	1983
奄美諸島の石灰岩台地と伝統的環境 利用	小林茂ほか	人類科学	36	1984
沖永良部島の輸送野菜	田島康弘	鹿児島大学教養学部研究紀要	35	1984
奄美諸島の石灰岩台地と伝統的環境 利用	小林茂ほか	人類科学	36	1984
奄美大島—村落の社会的統合に關す る研究	藤崎康彦	政経論叢	50	1984
南島雑話（1）—幕末奄美民俗誌	名越左源太	平凡社		1984
徳之島探訪—特に伊仙町域	仲松弥秀	徳之島調査報告（沖国大）	6	1984
奄美大島南部の過疎化に關する地理 的研究—鹿児島県大島郡瀬戸内町の 事例	平岡昭利	鹿児島女子短期大学付属南九州地 域科学研究所報	2	1985
鹿児島県における農村振興運動の一 考察—東町矢堂集落と名瀬市里集落 の事例	川上周三	鹿児島大学社会科学雑誌	8	1985
離島経済の実態（2）—奄美群島に ついて	三宅武雄	経済学論纂	26	1985
沖永良部島の農業と農業集落	石村満宏	鹿大史学	33	1985
奄美の黒糖焼酎製造業—その現状と 課題	豊田謙二・山本賢治	地域研究〔鹿児島経済大学〕	14-1	1985
徳之島、亀津の中心地形勢と都市化	堂前亮平	徳之島調査報告書（3）		1985
徳之島方言の助詞	野原三義	徳之島調査報告（沖国大）	7	1985
徳之島の竈神信仰	窪徳忠	徳之島調査報告（沖国大）	7	1985
徳之島の動物相の概要	宮城邦治	徳之島調査報告（沖国大）	7	1985
徳之島、亀津の中心地形成と都市化	堂前亮平	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
入会林野近代化法と徳之島手々の共 有林	徳永賢治	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
徳之島在住沖繩出身者の生活史	石原昌家	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
昭和戦前期における天城町の漁業と 糸満系漁民—松原・平土野在住の糸 満系漁民の生活史を中心に—	仲地哲夫	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
続徳之島の竈神信仰	窪徳忠	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
徳之島の民族芸能—特に盆踊りにつ いて—	宜保栄治郎	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
徳之島伊仙台地における説話群—説 話とその生成のダイナミズム—	山下欣一	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
徳之島におけるソテツ利用について	上江洲均	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
上面縄の葬墓制	平敷令治	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
徳之島伊仙町方言の語彙—中間報 告—	高橋俊三	徳之島調査報告（沖国大）	8	1985
シーボルト収集の「薩哈連島之図」 について	船越昭生	人文地理学の視圏〔大明堂〕		1986
奄美における建築業の構造—大和村 を中心に	田島康弘・村上雅康	鹿児島大学教育学部研究紀要	37	1986
奄美諸島における近世—明治期のイ ネ栽培の変容過程	小林茂・久武哲也	農耕の技術	9	1986
与論島におけるリゾート型観光地の 形成について	中山満	沖繩地理	1	1986
奄美諸島の八月行事について—分布 と変遷	中俣均	法政大学文学部紀要	31	1986

奄美の天人女房譚—伝説と信仰—	畠山篤	徳之島調査報告 (沖国大)	9	1986
村落階層構造と史的展開—地主・小作関係を中心に—	波平勇夫	徳之島調査報告 (沖国大)	9	1986
徳之島の動物方言語彙	野原三義・宮城邦治	徳之島調査報告 (沖国大)	9	1986
妖怪の交響楽—奄美・加計呂麻島における妖怪譚の構造分析論	川田牧人	日本民俗学	169	1987
加計呂麻島南部の竈神信仰—中国・沖縄県と比較して—	窪徳忠	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	10	1987
奄美、瀬戸内町における海上交通と古仁屋の中心地特性	堂前亮平	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	10	1987
字検村阿室における枝手久島共有地の開発と入会裁判	徳永賢治	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	10	1987
諸島における生活と出稼ぎ—大正期～昭和戦前期を中心に—	仲地哲夫	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	10	1987
加計呂麻島の動物方言語彙	野原三義・宮城邦治	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	11	1988
平等社会主義の「利得と代価」—トカラ列島K島の事例	湖中真哉	日本民俗学	179	1989
作物の文化地理—近世奄美諸島のサツマイモを例に—	小林茂	文化地理学		1989
瀬戸内町の竈神信仰—沖縄県下と比べて—	窪徳忠	南島文化 (沖国大)	11	1989
瀬戸内町の竈神信仰—加計呂麻島を中心として—	窪徳忠	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	12	1989
奄美南部の民間説話の二、三の事例について—その生成と様態—	山下欣一	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	12	1989
深山をめぐる瀬戸内町・篠川・阿室釜の入会紛争	徳永賢治	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	12	1989
瀬戸内町の生活保護の動向	山田等	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	12	1989
与路島の生活と出稼ぎ—大正期～昭和戦前期を中心に—	仲地哲夫	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	12	1989
瀬戸内町の竈神信仰—加計呂麻島を中心として (続) —	窪徳忠	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	13	1989
奄美における過疎化・Uターン現象にともなう位牌・墓祭祀の変化—加計呂麻島阿室の事例から—	小熊誠	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	13	1989
奄美諸島喜界島の地下水とその利用	長沼信夫	駒沢地理	26	1990
瀬戸内の葬墓制	平敷令治	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	14	1990
奄美大島における沖縄人の生活史	石原昌家	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	14	1990
加計呂麻島方言の語彙 (中間報告)	高橋俊三	大島郡瀬戸内町調査報告書 (沖国大)	14	1990
奄美群島における農地の相続と農家の承継	仲地宗俊	南島文化 (沖国大)	1 2 · 1 3	1991
奄美大島南部村落における地主形成と農業層分解(1)・(2)	波平勇夫	南島文化 (沖国大)	1 2 · 1 3	1991
瀬戸内町伊須湾沿岸の人々の生活と出稼ぎ—大正期? 戦後初期を中心に—	仲地哲夫	南島文化 (沖国大)	1 2 · 1 3	1991
奄美諸島における糖業動力と搾車	平岡昭利	ジオグラフィカ・センリガオカ	1	1992
奄美・沖縄の村落の空間組織と民俗行事	中俣均	熱い心の島[古今書院]		1992
鹿児島県奄美大島における観光産業についての考察	中馬大六	地理学研究報告	8	1997
沖永良部民謡について—第1報喜美留地区 (和泊町) および住吉地区 (知名町) における調査—	前原隆鋼, 永吉敏人	研究所報	15	1999

与論島における大島紬織工の存在形態と観光産業との関わりについて	上田勤子	大分地理	12	1999
奄美大島瞥見 農村と農業	沢田守	地理学報告 (愛知学芸大)	5	

8. 南西諸島, 琉球列島, 南島

硫黄島の産業的進化 (孤立環境に関する研究)	石田龍次郎	地理学評論	6-7	1930
南島雑感	辻村太郎	地理学	5-12	1937
琉球列島におけるマラリア病の地理学的研究	仲松弥秀	地理学評論	18-4	1942
琉球列島に於ける地名の分布(1)・(2)	鏡味完二	地理学評論	18-1 1	1942
南西諸島に於ける鰹漁業経営の変遷	伊豆川浅吉	水産	4-11	~1951
島の零細農	小園栄	鹿児島縣地理学会紀要	—	~1951
屋島の家 (民家帖17)	蔵田周忠	民間伝承	16-2	1952
南島の食物文化	大藤時彦	民間伝承	16-6	1952
南西諸島雑記	酒井卯作	民間伝承	16-11	1952
南島研究の前途	柳田国男	日本民俗学	1-1	1953
日本語と南島諸語	泉井久之助	民族学研究	17-2	1953
南島誌・各島村誌	柏常秋他	奄美社		1954
南西諸島の住文化	野村孝文	日本建築学会研究報告	32	1955
琉球諸島の風土, 日本地誌ゼミナールⅧ 九州地方	三友国五郎	大明堂		1961
南西諸島における親族呼称とその分布構造—社会地理学的研究	小川徹	法政大学文学部紀要(2)	7	1962
南西諸島における親族呼称	小川徹	民俗学研究	27-1	1962
南西諸島の社会組織序論	中根千枝	民族学研究	27-1	1962
南西諸島のキナ地名	小川徹	日本民俗学会報	24	1962
沖縄旅行記	細野昭雄	地理	8-7~9	1963
東シナ海および南西群島近海におけるマグロ延縄漁業の研究	古川一郎	宮崎大学農学部研究時報	8-2	1963
親族集団の呼称を指標とする南西諸島の社会地域 (要旨)	小川徹	人文地理学会大会発表要旨		1964
離島—その現状と対策—	経済企画庁編	大蔵省印刷局		1964
南西諸島における親族集団呼称の若干に関する年代論的知見—社会地理学的方法による一つの試み—	小川徹	民族学研究	30-1	1965
南西諸島における来世観の複合構造序説	伊藤幹治	国学院雑誌	65-2, 3	1965
1965年度秋季大会?第5班沖縄の自然と人文—		地理学評論	39-3	1966
沖縄の素描	会田栄作	地理	11-4~6	1966
南西諸島における漁村の予察的研究	安藤毅	鹿児島地理学会紀要	16	1968
南西諸島の言語と文化	平山輝男	地理	13-5	1968
南西諸島における糖業地域の研究	今村俊二	鹿児島地理学会紀要	17	1969
琉球列島の現状	山本紘典	山梨県高校教育研究会紀要	4	1969
南島の古代文化	国分直一・佐々木高明	毎日新聞社		1973
南島根栽農耕文化の流れ	佐々木高明	南島の古代文化[毎日新聞社]		1973
沖縄離島の地域概念—とくに離島振興において—	中山 満	琉球大法文学部紀要 (史学・地理学編)	17	1974
南島の農耕文化を探る	佐々木高明	どるめん	2	1974
南島の漁撈	安田宗生	熊本史学	46	1975

南島における畑作農耕技術の伝統 神々の原郷－南島の基層文化	佐々木高明 小野重朗	沖縄－自然・社会・文化[弘文堂] 法政大出版局	1976 1977
南西諸島に於ける方位感の研究－空 間認識の視点から	鈴木正崇	人文地理	30-6 1978
南島の風土と歴史	上原兼善ほか	山川出版社	1978
南西諸島の在来型に関する調査研究	下田博之ほか	東京農工大農学部農場研究報告	9 1979
琉球島弧周辺海域における陸棚斜面 漁場の開発利用に関する研究（英 文）	高橋淳雄	鹿児島大水産学部紀要	28 1979
サンゴ礁地域における甘藷農業の展 開と「ユイ」	平岡昭利	地理	25-8 1980
サンゴ礁離島における伝統的製塩形 態	斉藤毅	地理	25-8 1980
琉球の自然史	木崎甲子郎編著	築地書館	1980
南西諸島の民俗（1）・（2）	下野敏美	法政大出版局	1980・ 81
島の集落－特に民家を中心として	橋村健一	鹿児島地理学会紀要	24 1981
鹿児島離島の港湾－抜本的基礎づく りに期待する	足利守弘	港湾	58-4 1981
南西諸島海域漁業の魚礁とその発見	佐藤孫七	東海大紀要（海洋学部）	14 1981
民家の研究（3）－南西諸島の場合 （1）	森弦男	都城工業高専研究報告	15 1981
南西諸島海域漁業の魚礁とその発見	佐藤孫七	東海大紀要（海洋学部）	14 1981
琉球弧の地名研究のために	名嘉順一	国文学解釈と鑑賞	47-9 1982
地図の風景－九州編（3）鹿児島・ 沖縄	堀淳一・山口恵一郎ほか	そしえて	1982
新「おなり神」考	仲松弥秀	南島－その歴史と文化	4 1982
生態地理学的にみた南西諸島の農業 的土地利用と植生－とくに準安定草 原及び耕地の成立と肉用牛飼養との 関係	早川康夫	九州農業試験場報告	22-4 1983
南島の地名（1）	南島地名研究センター 編	新星図書出版	1983
沖縄の地理－島の自然と生活	中山満・堂前亮平	新星図書出版	1983
南島の景観を読む（1）～（6）	目崎茂和	地理	28 1983
南西諸島の海人	下野敏見	山人と海人－非平地民の生活と伝 承	1983
南西諸島鍛冶職の伝播と定着	森栗茂一	季刊人類学	15-3 1984
南西諸島の「低い島」とイネ栽培	小林茂	民博通信	23 1984
南島の自然	島袋伸三	四季日本の旅?南九州・沖縄	1984
南島－その歴史と文化（5）	南島史学会編	第一書房	1985
南西諸島の伝統的イネ栽培と環境	小林茂・中村和郎	『日本の風土』	1985
南西諸島の環境利用と伝統文化	小林茂	人文地理学の視圏[大明堂]	1986
南島の地域的特性	沢田清	日本大学文理学部自然科学研究所	21 1986
南島の農耕文化と「海上の道」	安溪遊地	稲のアジア史3	139-172 1987
南島の甘藷農業と糖業	平岡昭利	西海道の景色と変貌	1987
島嶼国日本のフロンティア地帯的性 格	太田晃舜	地理	33-1 1988
南島の地形－沖縄の風景を読む	目崎茂和	沖縄出版	1988
琉球列島の地形 シリーズ沖縄の自 然3	河名俊男	新星図書出版	1988
南島琉球弧のオボツ	仲松弥秀	沖縄の宗教と民俗	1988
海洋境界帯南海の性格－島嶼の実態 と海の領有化	太田晃舜	地理	1 1989
南島の洗骨をめぐる諸問題	長沢利明	民族学研究	53-4 1989

神・村・人—琉球弧論叢 先生傘寿記念論文集	仲松弥秀	仲松弥秀傘寿記念委員 会	第一書房		1991
地理に遊ぶ・南西諸島異聞		竹野忠生	地理	36-9	1991
琉球列島における土地利用形態の 変化にかんする研究		島袋伸三・町田宗博	近代化による環境変化の地理情報		1991
サトウキビ農業における外国人労働 者の導入と実態—「工業的農業」の 一断面		平岡昭利	熱い心の島[古今書院]		1992
復帰後の離島生活の変化		中山満	地理	37-5	1992
南西諸島および沖縄島北部地域の自 然環境の特性とその保全		宮城邦治	南島文化(沖国大)	15	1993
田芋(タロイモ)灌漑耕作の農耕文 化論的比較考察—南西諸島		橋本征治	ジオグラフィカ・センリガオカ	2	1994
南西諸島におけるアワ栽培の地域性		賀納章雄	史泉	83	1996
近代期における琉球列島離島の人口 変動		宮内久光	地理学報告	8	1997

9. 太平洋の島

伊豆五島観察記		辻村太郎・木内信藏	地理学	1-2	1934
北千島行(七)・(八)・(九)		田中阿歌麻呂	地理学	3,4	1935
樺太中部の地理視察		X Y 生	地理学	3-2	1935
北千島行 一,二,三,四		田中阿歌麻呂	地理学	3-2~ 5	1935
伊豆諸島の聚落型		山口貞夫	地理学評論	11	1935
樺太農業聚落の分布発達形態の研究		竹内常行	地理学評論	11	1935
八丈島瞥見記		海老原幸	地理教育	22-5	1935
樺太及び北海道の養狐業に就いて		引田幸雄	地理学	4-1	1936
南島島の我が先古顛末		秋岡武次郎	地理学	4-10 A	1936
太平洋諸島開拓上の諸問題(一)・ (二)		内田寛一	地理教育	24-5	1936
樺太の景観瞥見(一)・(二)		森壽美衛	地理学	5	1937
北樺太及亞細亞大陸に於けるアイヌ 語地名の分布について(四)		西鶴定嘉	地理学	5-11	1937
樺太國境に就いて		林猛雄	地理学	6-13	1938
北樺太の我が石油石灰権●について		内田寛一	地理	3	1939
大島測候所参考館に就いて		村田貞藏	地理学	7-4	1939
大島測候所参考館參觀記		村田貞藏	地理学	7-4	1939
屋久島聞見録		辻村太郎	地理学	9(下)	1941
國後島瞥見		早川淡二	地理学	9-5	1941
清水湊向島の歸屬係争經過(1)・ (2)		淺香幸雄	地理学評論	19-9	1943
冬の樺太を語る—對談—		徳田貞一	地理学	11	1943
南千島の地域性		伊藤久雄	地理学	11	1943
残った樺太のはなし—對談—		徳田貞一	地理学	11	1943
千島列島—北太平洋圏誌(一)		佐々保雄	地理学	11	1943
千島列島		佐々保雄	地理学	11	1943
樺太を語る—對談—		徳田貞一	地理学	11	1943
隠岐の聚落に就いて(一)・(二)		田中豊治	地理学研究	3	1944
火山島鳥島		佐藤久	地理学評論	21	1949
村を巡りて(8)八丈島の檜立村		新井浩	社会地理	—	~1951

八丈小島	中野幸子	社会地理	24	~1951
馬毛島	坂本正美	鹿児島縣地理学会紀要	—	~1951
島の人口問題—八丈島の事例	大間知篤三	民間伝承	—	~1951
伊豆大島泉津の家（民家帖3）	蔵田周忠	民間伝承	14-12	~1951
陸前江の島—離島調査報告—	千葉徳爾	民間伝承	—	~1951
千島列島とその自然	佐々保雄	科学朝日	—	~1951
大島における水の使用量の研究—人口収容量の限界因子としての給水量第1報—	室町公宏	地理学評論	—	1951
宮城県田代島・網地島の人口構成とその内部構造について	斎藤十郎	東北地理	—	1951
飛島と戸数・人口・出稼—近世以降の島嶼漁村人口の地理学的考察—	佐藤甚次郎	東北地理	—	1951
日振島（愛知県北宇和郡）の人口について	中山修一	人文地理	—	1951
伊島の開拓	岸本実	人文地理	—	1951
大島の人文地理概観	木内信蔵	地学雑誌	60-3	1951
大島の地学的案内	本多彪	地学雑誌	60-3	1951
カラフト千島の史的考察	鮎沢新太郎	日本歴史	42	1951
1951年度小笠原及び北太平洋に於ける鯨の標識調査報告	捕鯨船舶装備改善委員会	日本経済新聞社会	—	—
伊豆大島の切替畑 第一報	小栗宏	新地理	3	1952
わが北端の島、利尻島と礼文島	大村肇	地域	1-3	1952
齒舞諸島	伊藤久雄	地域	1-2	1952
都市と村と半島と島との位置層—東京・湘南・伊豆半島・伊豆諸島—	田中啓爾	内田寛一先生還暦記念論文集	下	1952
豆南青ヶ島について その1	大村肇	新地理	3	1952
八丈島の民家（民家帖18）	蔵田周忠	民間伝承	16-3	1952
伊豆御蔵島の扶持米制について	大村肇	地理学評論	26-4	1953
伊豆国八丈島特殊農業経済研究	杉本寿	福井大学学芸学部紀要	2	1953
伊豆新島	宮地良和	しま	1	1953
千島列島—その地誌—	村田喜代治	中央評論	24	1953
切替畑耕作—八丈島地域調—	田中康計	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
八丈島における水産業について	佐々木敏	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
八丈島説話考	福永忠一	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
伊豆の島々	川越達雄	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
調査報告に寄せて—八丈島地域調査—	山崎謹哉	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
八丈島地域調査	石田貞夫	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
八丈島地域調査	佐藤三郎・渡辺正良	専修大学地理学研究会紀要	1	1954
高知県沖の島の地誌—異質的勢力接合地の—考察—	山崎修	人文地理	6-5	1954
伊豆大島開拓史小論	大庭実	駒沢史論	4	1954
島の人口の研究—青ヶ島の人口問題—	館稔・浜英彦	人口問題研究所	—	1955
農業（紀伊大島）	岡本啓志	地域調査	—	1955
紀伊大島の調査	和歌山大学地理学教室	地域調査	—	1955
地図発達史上の千島樺太	河原健	新論	1-6	1955
伊豆諸島の畜産と牧野について	住山良子	獣医畜産新報	159, 164	1955
千島樺太の開発は土人	高倉新一郎	北方文化研究報告	10	1955
青ヶ島	浜英彦	しま	6	1955
式根島	浅沼元春	しま	5	1955
千島列島とクリル諸島	高橋茂夫	日本歴史	85	1955

伊豆小笠原および東北海区におけるカツオの移動および成長について	川崎健	東北海区水産研究所研究報告	4	1956
小笠原諸島・伊豆諸島の重要食用魚類の数種に就いて	阿部宗明他	東海区水産研究所研究報告	14	1956
択捉島水域の魚類資源	ドヴィーエン、ペ・ア	水産界	855	1956
宮城大島と網地島	和泉一雄	しま	11	1956
土佐沖の島の生活	山崎修	しま	11	1956
八丈島の隠居制家族	村武精一	人文学報	29	1962
日本の縮図「新島」(日本の姿)	林礼二	地理	7-6、7	1962
北方領土問題の起因と経過	田村幸策	国際法外交雑誌	60-4~6	1962
愛知県篠島の遺跡	山田和麻呂ほか	人類学雑誌	70-2	1962
千島概史(再版)	高倉新一郎	南方同胞援護会		1962
八丈島共同調査報告(1) - 八丈島三根地区の高倉について -	浅井得一	新地理	11-2	1963
八丈島共同調査報告(1) - 最近における八丈島の黄八丈生産について -	玉川大学地理学研究会	新地理	11-2	1963
八丈共同調査報告(1) - 八丈島三根地区の切替畑について -	味沢成吉	新地理	11-2	1963
八丈島共同調査報告 - 八丈島三根地区の園芸農業について -	玉川大学地理学研究会	新地理	11-2	1963
八丈島共同調査報告(1) - 八丈島の酪農・営農上の問題点 -	竹内淳彦	新地理	11-2	1963
八丈島共同研究報告(1) - 八丈島水産業の概観・特に三根と中之郷を比較して -	山下七郎	新地理	11-2	1963
伊豆諸島の概観	大村肇	地理	8-2	1963
大島の生活	百瀬俊仁	地理	8-2	1963
伊豆諸島南端の島「鳥島」	淵本一	地理	8-2	1963
八丈島と青ヶ島	福宿光一	地理	8-2	1963
小笠原諸島発見史の基本資料・地図について(1)・(2)	秋岡武次郎	海事史研究	1	1963
初島の離島振興計画	竹下多喜雄	しま	9-2	1963
志摩諸島離島振興計画について	田中祥皓	しま	9-4	1963
明治初期の北方領土問題	大山梓	国際法外交雑誌	60-4~6	1963
三宅島坪田の生活(聞書)	宮本馨太郎	史苑	24-1	1963
青ヶ島の社会と民俗	蒲井正男・坪井洋丈ほか	民俗学ノート		1963
伊豆初島(静岡県)	浅野芳正	しま	9-2	1963
志摩諸島(三重県)	竹田亘	しま	9-2、4	1963
八丈島の高倉について(2)	浅井得一	新地理	12-2	1964
八丈島三根地区の養蚕について	味沢成吉	新地理	12-3	1964
志摩漁村浜島における漁業生産構造の変容 - 経営主体としての漁業組合の部落共同体的性格 -	島本彦次郎	愛知大学文学論叢	27	1964
志摩漁村浜島における漁業生産構造の変容 - 真珠産業の浸透と漁業組合 -	牧野由朗	愛知大学文学論叢	27	1964
八丈島三根地区の高倉について(要旨)	浅井得一	地理学評論	37-12	1964
三宅島土地制度概報(要旨)	井坂篤子	地理学評論	37-12	1964
高知県柏島の地誌 - 僻地沿岸漁村の地理的研究 -	大島襄二	人文論究(関学大)	15-3	1964
三宅島伊ヶ谷の生活(1)・(2)	宮本馨太郎	民間伝承	28、29	1964
江戸時代の八丈島		東京都		1964

八丈実記 (1) ~ (4)	近藤富蔵編			1964、 66
伊豆大島の通婚圏	吉田美智子	新地理	12-4	1965
北海道礼文島の漁業開発と地域構造—北海道周辺島嶼の地理学的研究 (1) —	大村肇	立正大学文学部論叢	21	1965
録音面接法による八丈小島における島外移住問題の調査について (要旨)	大村肇	日本地理学会人文地理学会大会報告		1966
<イハイ>祭祀と日本の家族・親族—伊豆諸島、利島を中心として—	牛島巖	民俗学研究	31-3	1966
八丈小島の部落祭礼—ネギナマカの組織と機能—	桜井徳太郎	日本民俗学会報	48	1966
宮城県牡鹿郡女川町江島	亀山慶一	離島生活の研究		1966
八丈島	大間知篤三・坪井洋文ほか	角川書店		1966
東京都伊豆利島	西垣晴次	離島生活の研究		1966
東京都御蔵島	桜井徳太郎	離島生活の研究		1966
東京都青ヶ島	酒井卯作	離島生活の研究		1966
青ヶ島	宮本常一	しま	12-2	1966
愛知県幡豆郡一色町佐久島	和歌森太郎	離島生活の研究		1966
伊豆七島特に三宅島を主とするテングサ類の生産状況調査報告	木村雄四郎	海洋科学	9	1967
志摩離島の民俗 I—板手島、管島における実態調査より—	堀哲	中京大文学部紀要		1967
増訂 豆州志稿伊豆七島誌 (複製)	秋山富南	長倉書店		1967
八丈島	小野博司	しま	13-2	1967
愛知三島	竹田旦	しま	12-5	1967
一九五一年当時における北海道道北四島の家屋分布に関する記録—北海道周辺島嶼の地理学的研究 (3) —	大村肇	大正大学部論叢	16	1968
その後の南鳥島	乙部功	即候時報	35-8	1968
小笠原の自然をたずねて	品田穰	科学朝日	28-11	1968
小笠原調査報告	辻昭次郎ほか	国土地理院時報	37	1969
千島小笠原島先史	大熊良一	しなの出版社		1969
小笠原諸島の地図づくり—計画から現地作業まで—	栗山稔	建設月報	22-2	1969
小笠原諸島学術調査 ('69・8、11月)を終えて	山根猛彦	学術月報	22-9	1969
神津島の漁業の地域性と変貌	小池秀夫	経済地理学年報	16-1	1970
伊豆大島の漁業と実態 (資料)	天井勝海	新地理	18-1	1970
三重県鳥羽市答志島の漁業構造	名倉健司	地理学報告	34	1970
神津島における漁業組合の変遷	塩野雅代	日本民族学	67	1970
小笠原の自然—小笠原諸島の学術・天然記念物調査報告の概要について—	上島順二郎	学術月報	23-5	1970
小笠原の島々を訪ねて	小池文夫	林野月報	17-2	1970
伊豆大島の農業の実態 (資料)	天井勝海	新地理	19-2	1971
北方領土—古地図と歴史—	北方領土問題調査会編	中央社		1971
樺太関係資料総括目録	北海道庁北方漁業本部編	北海道庁領土復帰北方漁業対策本部編		1971
間宮海峡発見以前の樺太が表現された海外作成の地図	木村東一郎	本州大経済学部紀要	1	1972
伊豆神津島の産業構造とその変化	今野修平・永野為紀ほか	東北地理	24-4	1972
高度経済成長下における伊豆諸島の変貌	小池秀夫	地域分析	11-1	1972

神津島における建切網漁業の構造	永野為紀	仙台大紀要	4	1972
伊豆新島の産業と開発上の問題点	長谷川典夫・楠原直樹	地域開発	98	1972
Ogasawara (The Bonin Islands) - Industrial Development, Temporary Devastation, and Restoration Program -	葛西大和・長谷川典夫ほか	The Science Reports of the Tohoku University(Geography)	21-2	1972
伊豆諸島における観光地化現象とその社会・経済的意義 (1)	白坂 蕃	東京学芸大紀要第3部門社会科学	24	1972
東京の離島・八丈島	西村 昭	日本列島・農山漁村[勁草書房]		1972
愛知県外海離島の現状 - 日振島の場合 -	玉井建三	駒沢地理	8	1972
伊豆三宅島、大路池および新漣の測深図	新井正・高山茂美ほか	地理学評論	45-5	1972
八丈島の漁業家族の調査研究 - 末吉部落を中心として -	佐藤隆夫	国学院大紀要	11	1973
漁村の集落構造モノグラフ (1) - 神島 -	中谷 勉	豊田工業高等専門学校研究紀要	6	1973
伊豆新島における土地利用の変化	玉井建三	地理学評論	46-10	1973
高知県沖の島における農業について	玉井建三	駒沢地理	9	1973
八丈島の漁業家族の調査研究 - 末吉部落を中心として -	佐藤隆夫	国学院大紀要	11	1973
伊豆諸島の港湾の現状と将来	三上 澄	港湾	50-4	1973
伊豆大島志考	立木猛治	伊豆大島志考刊行会		1973
八丈島誌	東京都八丈町教育委員会	同左		1973
三島付近 (空中写真を読む)	瀬戸玲子	地図の友	15-3	1973
伝統産業をめぐる諸問題 - 大島機業を中心として -	出石邦保	同志社商学	25	1974
三宅島式内社に関する歴史地理学的研究 (2) - 「三宅記」に載る「八王子」の神社について -	森谷ひろみ	千葉大教養部研究報告 (A)	7	1974
伊豆大島南部 (空中写真を読む)	有賀昭治・小沼常治	地図の友	16-6	1974
小豆島における切り花ギク産地の形成過程とその生産構造 - 産地におけるキクの作型分化を中心に -	西田博嘉	人文地理	27-6	1975
伊豆大島三原山観光乗馬業	木山高美	新地理	23-1	1975
八丈島	大脇保彦	離島診断[地人書房]		1975
観光地化に伴う伊豆大島の変化	立命館大地理学教室学生	地理	21-6	1976
離島の生活 - 東京都利島村 -	木山高美	地理	21-3	1976
伊豆諸島の塩と生活	坂口一雄	未来社		1977
三宅島 - 漁村の社会と祭祀組織 - 伊ヶ谷部落調査報告	喜多村正	琉球大法文学部紀要 (社会学編)	19	1977
三重県神島における農業 - 離島における複合経済の構造	味澤成吉	新地理	25-4	1978
一村落社会から見た外来諸宗派の土着 - 三宅島伊ヶ谷調査報告 (2)	喜多村正	琉球大法文学部紀要 (社会学編)	20	1978
1978年伊豆大島沖近海地震災害状況・土地条件図について	鈴木勝義	地図	17-2	1979
漁業生産構造の展開と村落の変容 - 三重県志摩漁村「浜島」と「立島」の事例	牧野由朗ほか	愛知大総合郷土研究所紀要	24	1979
静岡県初島における民宿集落の形成	根岸正美	学芸地理	33	1979
小笠原漁場の漁場とその発見	佐藤孫七	東海大紀要 (海洋学部)	12	1979
小笠原諸島の自然をさぐる	井上浩	自然科学と博物館	46	1979
伊豆・小笠原諸島の人びと	山口敏	自然科学と博物館	46	1979
小笠原漁場の漁礁とその発見	佐藤孫七	東海大紀要 (海洋学部)	12	1979

伊豆諸島民俗考	坂口一雄	未来社		1980
島嶼社会の変化と小地域集団—八丈島を事例として	畑聡一郎	季刊人類学	12-1	1981
小笠原父島における過去帳記載死亡者数の変動について	千葉徳爾	歴史地理学紀要	24	1982
神島における社会経済構造と其の変化	大喜多甫文	歴史地理学紀要	24	1982
小笠原観光の問題点と観光資源の再評価	黒川直樹	小笠原研究	6・7	1982
小笠原諸島の外国語地名	吉岡慎一	小笠原研究年報	6	1982
伊豆大島における花卉栽培—その産地形成と経営構造	佐藤安弘	駒沢大学大学院地理学研究	13	1983
神島の人と水	日比野雅俊	地域社会	7-2	1983
火山基本図の整備と三宅島噴火地形変化図について	武田隆夫	国土地理院時報	60	1984
昭和10年代前半期における南千島三島六か村の実態—漁民の生活を中心に	寺島敏治	史流	25	1984
東京と三宅島における地形を主とした民族分類体系	浅野久枝	地理学評論Ser. A	57-8	1984
小笠原の産業と社会	渡辺良雄・中林一樹ほか	小笠原研究年報	7	1984
八丈島における人口流出過程とその特質—主に明治初期から第二次大戦まで	奥山育子	地学雑誌	95-1	1986
離島経済の実態(3)—伊豆諸島について	三宅武雄	経済学論纂	27-3	1986
八丈島における特産物(花卉)の産地形成—離島における農産物特産物の産地形成の事例的研究	中山満	琉球大学法文学部紀要(史学・地理学)	29	1986
伊豆大島における水利用と水源水質	日比野雅俊	社会科学論集	40・41	1986
活カルデラの島に生きる人々—東京都青ヶ島	日比野雅俊	人文地理学論集	特別号	1986
離島における経済と社会—小笠原諸島・父島の社会構造	石井逸郎	法政地理	15	1987
伊豆大島三原山の噴火と陥没—空中ガンマ線及び熱赤外線データの解析	荒木春視	写真測量とリモートセンシング	28-2	1989
両墓制と死者祭祀—鳥羽市菅島の事例を中心に	崔仁宅	民族学研究	54-3	1989
地中ガスの挙動から見た伊豆大島の噴火	荒木春視	写真測量とリモートセンシング	29-1	1990
大島周辺の海面温度分布?火山活動と水温	荒木春視・杉浦邦朗	写真測量とリモートセンシング	29-2	1990
幕使 松田伝次郎のカラフト探検	中島欣也	新潮社		1991
フィールドガイド小笠原の自然—東洋のガラパゴス	小笠原自然環境研究会編	古今書院		1992
三重県管島の盆行事—共時的分析	田中真砂子	国立歴史民俗博物館研究報告	41	1992
青柳城をめぐる—小笠原領域内の城郭の近代化を考える	三島正之	信濃	44-11	1992
蝦夷と古代国家	熊田亮介	日本史研究	356	1992
日本の最東端 南鳥島で働く人々	八木浩司ほか	地理	37-7	1992
入北記—蝦夷地・樺太巡見日誌	玉蟲左太夫	北海道出版企画センター		1992
北方四島と黒部川扇状地	籠瀬良明	黒部川扇状地	17	1992
衛星画像による北方四島5万分1地形図の修正について	萩野善助	国土地理院時報	77	1993
北方四島の歯舞への入善・黒部から魚期定住	籠瀬良明	黒部川扇状地	18	1993
民俗的時間および空間認識の変化—鳥羽市神島の事例を用いて	中山正典	日本民俗学	193	1993

八丈島における花卉園芸の発展と地域振興	増井好男	農村研究	78	1994
火山土地条件図「三宅島」について	海野芳聖ほか	国土地理院時報	84	1995
「伊豆の漁村」から40年 - 写真による地域変容の記録	石井実	地理誌叢	36-2	1995
1890年劇作家チエーホフの樺太3ヶ月踏査-地理と文芸などの接触考	籠瀬良明	歴史地理学	37-2	1995
小豆諸島塩業の展開と大坂城御詰塩	落合功	ヒストリア	147	1995
北方四島・千島・樺太 - 地図で語る戦前・戦中・戦後	籠瀬良明	古今書院		1995
鳥居龍蔵と北東アジア (前編) - シベリア・樺太 (サハリン) 調査を中心に	田畑久夫	日本文化史研究 (帝塚山短大)	24	1996
伊豆大島における近代交通網の発達	高田泰光	学芸地理	50	1996
青ヶ島の人々の暮らし	稲田道彦・三枝直幹ほか	地理学研究	46	1997
母島における邦人初期開拓者の群像	大関栄作	小笠原研究年報	21	1997
西村茂次と小笠原修斉学園	石井良則	小笠原研究年報	21	1997
久世延吉の父島移住-長女梅の手記を通して-	石井良則	小笠原研究年報	23	1999
小笠原のオリエンタリズム: 「帰化人」をめぐる言説の系譜学	春日匠	小笠原研究年報	23	1999
小笠原巡回無料法律相談事業略年表	山上博信	小笠原研究年報	23	1999

10. 日本海の島

隠岐國佐藻土の中に掘られたる横穴中の壁畫	佐藤博藏	地理教育	3-5	1926
隠岐島前の牧畑	石田龍次郎	地理學評論	5-2	1929
隠岐島前の牧畑組織の持續	石田龍次郎	地理學評論	5-6	1929
佐渡の風物	坪谷幸六	地理教育	19	1933
越後栗生島の地理的概報	村山方治	地理論叢	3	1934
人口を中心とする佐渡島の地理學的考察	安藤鏗一	地理論叢	4	1934
隠岐列島人口の地理學的考察	西川榮一	地理論叢	7	1935
佐渡島の瞥見	辻村太郎・上田信三	地理学	3-5	1935
隠岐牧畑に関する一考察	西川榮一	地理論叢	8	1936
隠岐の牧畑	櫻井豊記	地理學	4-13	1936
飛島に関する地理的研究(1)・(2)	高橋静夫	地理教育	17-3・4	1937・38
長門國見島に就いて	衣川芳太郎	地理論叢	10	1939
日本海の小島嶼、竹島の瞥見	山田慶三郎	地理教育	33-2	1940
隠岐の出稼現象に就いて	小澤豊治	地理研究	1-1	1941
隠岐の時局産業	小澤豊治	地理學	9-12	1941
陸前江島の經濟地理	樽江静江	地理学	9-5	1941
隠岐水産業推移の地理的考察	小澤豊治	地理学研究	1-9	1942
隠岐農業推移の地理的考察	小澤豊治	地理学研究	1-10	1942
隠岐島森林開發の先覺者	田中豊治	地理學	11	1943
舩倉島の自然と人文	金崎肇	人文地理	1-3	1948
隠岐島の地理的性格	谷岡武雄	人文地理	1-4	1948
壹岐島の触集落	折茂順平	社会地理		1949
封建制下の隠岐牧畑-島嶼社会の經濟的構造と解体 その一	田中豊治	地理学評論	23	1950

羽後飛島の人口問題	長井政太郎	山形大学紀要	—	~1951
孤島の農業—飛島の粟島の場合—	長井政太郎	社会地理	—	~1951
隠岐牧畑経済の構造と解体 (一)	中豊治	新地理	5?1~3	~1951
(二)				
壹岐島の飲料水対策	樗木昇一	社会地理	30	~1951
羽後の飛島	長井政太郎	新地理	2-6	~1951
島の生態学—隠岐	田中豊治	社会地理	12	~1951
日本海西南の松島と竹島	秋岡武次郎	社会地理	27	~1951
佐渡の民家 (民家帖10)	蔵田周忠	民間伝承	15-7	~1951
隠岐牧畑試論	松井武敏	和歌山大学和歌山経済専門学校学生会	19-12	~1951
越後粟島—離島調査報告—	北見俊夫	民間伝承	—	~1951
能登能登島—離島調査報告—	平山敏治郎	民間伝承	—	~1951
歴史的にみた日本の属島—壹岐・対馬—	鮎沢新太郎	礎	1-5	~1951
古代の佐渡ヶ島	近藤福雄	縄文	—	~1951
壹岐の島の浦の集落	折茂順平	地理学評論	24-9	1951
隠岐の水産経済の分析—島嶼社会の経済的構造と解体—	田中豊治	地理学評論	24-6	1951
佐渡の島	山本修之助	池田屋書店		1952
見島に於ける経済の構造とその発展成果過程	中山清次	山口大学農学部学術報告	2	1952
隠岐島の開発—離村対策の一試案—	柳町尚毅・大林順一郎	国土	17	1952
見島学術調査報告		山口大学農学部学術報告	2	1952
中国の農業地域研究—隠岐の牧畑経営—	中野正雄・福岡連晴	中国農業試験所報告	2	1953
日本海の孤島—隠岐—	田中豊治	しま	1	1953
隠岐島における畜産—島嶼経済の構造と解体過程 5—	田中豊治	地理学評論	27-10	1954
隠岐における近代的漁業の侵入とその影響—島嶼経済の構造と解体過程 (4)—	田中豊治	地理学評論	21-5	1954
隠岐牧畑の経済的特質	竹浪重雄	農業と経済	20-8	1954
佐渡島	大村肇	しま	2	1954
見島	日野巖	しま	4	1954
隠岐島周辺に於けるスルメイカの漁況学的研究	児島俊平	日本水産学会誌	21-4	1955
佐渡島の農業史手的研究	本間雅彦	農村研究	9-3	1955
能登島を訪れて	西村甲一	しま	6	1955
近世隠岐の村落社会構造	田中豊治	地理学評論	29-5	1956
近世隠岐における商業資本の発達と島嶼経済の発展—島嶼経済の発展とその解体過程 その6—	田中豊治	地理学評論	29-1	1956
大根島—生態と課題—	中国地域社会研究会	関書院		1956
中国地域社会研究会：大根島—芸生態と課題—	河野通博	地理学評論	29-9	1956
佐渡住民の人口移動現象と政策的課題	関場保	政経論集 (明大)	24-4、5 合併	1956
佐渡の民家	二川幸夫	建築文化	11-6	1956
佐渡の柑橘栽培	村上節太郎	果樹研究	1	1956
隠岐牧畑の一考察—その発生の時期・原因および持続について1、2—	藤井定義	大阪経大論集	15、16	1956
佐渡における貢租額の変遷と一揆	結城清吾	史観	47	1956
羽後の飛島	長井政太郎	しま	10	1956

隠岐島の経済—国内後進地地域経済の一研究—	松尾弘	政経論叢 (明治大)	24-6	1956
佐渡と能登	金崎肇	日本地誌ゼミナール	4	1962
粟島地域調査	専修大学地理学研究会	専修大学地理学研究会紀要	9	1962
後進地域としての離島—その機構を隠岐の島にみる—	専修大学地理学研究会	地理	7-6	1962
隠岐島周辺巾着網漁場の生態学および海洋学的研究(1)・(2)	丹波正一他	日本水産学会誌	28-9	1962
隠岐島経済実態調査報告書		島根県総合振興室		1962
隠岐島と考古地理概観	田中豊治	歴史地理学紀要	5	1963
響灘島嶼の社会構造—共同体の特質とその分析—	星野久	社会学評論	13-4	1963
出雲・隠岐	地方史歴史文化研究会編	平凡社		1963
隠岐島誌	隠岐島誌編纂係	島根県		1963
隠岐島史料		隠岐郷土研究会		1963
佐渡所感	宮本常一	しま	9-1	1963
見島—その社会と民俗—	松岡利夫	山口大学文学学誌	15-1	1964
佐渡—自然・文化・社会—	九学連合佐渡調査委員会	平凡社		1964
隠岐島村落の共同体規制	山岡栄市	社会学評論	14-4	1964
山口県下関市蓋井島における共同体遺制と共同体体制	星野久	ソシオロジ	11-1・2	1964
島根県竹島の新研究	田村清三郎	報光社		1964
佐渡島における挙家農家の検討	川那部治良	兵庫農科大学研究報告	7-1	1965
北海道奥尻島、天売島、灼尻島の漁業	山下克彦	東北地理	17-3	1965
離島焼尻、天売島におけるニシン漁業の史的展開を通しての経済地理的研究	藤島範孝	北海道地誌	2-2	1965
離島の諸様相?島根県隠岐島を引例として—	川那部治良	兵庫農科大学研究報告	6-2	1965
味方但馬と割間歩—佐渡金銀山史研究(1)—	小葉田淳	史林	48-3	1965
隠岐の歴史	永海一正	今井書店		1965
粟島の現状	林正巳	地理	11-1	1966
佐渡島における農家労働力移動の実態	中嶋千尋・川那部治良	農業林問題研究	2-2	1966
利尻町杓形におけるマグロ漁業について	高橋忠他	北水試月報	23-4	1966
隠岐島の振興について	鈴木洋	しま	12-2	1966
隠岐五箇村久美の考古学的調査	亀井正道他	国学院大学日本文化研究所紀要	18	1966
新潟県岩船郡粟島	北見俊夫	離島生活の研究		1966
石川県鹿島郡能登島別所覚書	平山敏治郎	離島生活の研究		1966
その後の隠岐	田中豊治	しま	12-22	1966
佐渡国の条理と国衙	田中圭一・山本仁	地方史研究	17-2	1967
離島経済に関する覚書—隠岐島を中心として—	持田恵三	農業総合研究	21-4	1967
佐渡金井町史 近代編	金井町史編さん委員会	金井町史刊行委員会		1967
佐渡の歴史地理調査記(1)～(4)	藤岡謙二郎ほか	地理	12・13	1967、68
佐渡国条理と歴史地理	今井法二・田中圭一	佐渡博物館報	71	1968
佐渡の地位の中心移動	田中啓爾	田中啓爾地域的論文集第4集		1968
隠岐の離島の性格	二木敏篤	兵庫地理	12	1968
知夫里島牧畑の一考察	二木敏篤	神戸工専研究紀要	6	1968
隠岐牧畑の分解と展開	四宮恭二	同志社商学	20-1・2	1968

佐渡相川誌	永宝寺松堂・田中圭一 注	佐渡高校同窓会		1968
大根島	山岡栄一	しま	13-5	1968
能登島一島も静かに変貌する一	籠瀬良明	地理	14-8	1969
隠岐牧畑の現状	三橋時雄	ミネルヴァ書房		1969
佐渡ヶ島における中世城館址	山本仁	日本城郭史論叢(雄山閣)		1969
隠岐の牧畑の現状	山口弥一郎	地理	15-1	1970
舩倉島共同調査報告	浅井得一・味沢成吉ほか	新地理	18-1	1970
離島の経済的研究一利礼両島の物質 流入状況と運賃と物価をめぐって一	高崎禎夫	北海道商工経済研究	80	1970
能登島	金崎肇	しま	15-3	1970
佐渡の歴史地理	藤岡謙二郎編	古今書院		1971
佐渡の条理	桑原公德・金田章裕	佐渡の歴史地理(古今図書)		1971
離島の顕在的研究(続)一物資流通 面からみた利礼の物価高メカニズ ム一	高崎禎夫	北海道商工経済研究	9	1971
隠岐島誌(複製)	島根県隠岐支庁編	名著出版		1972
北海道焼尻島・天売島の漁業開発と 近年の変貌	小野博司	麗沢大紀要	14	1972
飛島の漁業	坂本英夫	鳥海山・飛島[山形県民生課]		1972
出雲十六島浦の社会構造と祭祀組織 序論	原 宏	島根大文学部紀要(文学科編)	6	1972
鳥海山・飛島	山形県総合学術調査会 編	同左		1972
魚島・見島一地理研瀬戸内調査シ リーズ(5)一	関西学院大地理研究会	同左		1972
知夫里島の専業農家の変貌一とくに その新しいタイプの(過疎型専業農 家)について一	味沢成吉	新地理	21-1	1973
知夫里島の漁業について	山下七郎	新地理	21-1	1973
隠岐の島々とみなと	福田幸義	港湾	50-4	1973
離島における花卉流通一島根県八束 群八束町大根島の場合一	猪股 趣	島根大農学部研究報告	18	1974
佐渡一金山と島社会一	田中圭一	日本放送出版協会		1974
奥尻島の人口	足利健亮・金田章裕	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の集落	森田勝・水田義一	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の集落の諸相と民家	山崎俊郎	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の農業	青木伸好・桑原公德	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島のイカ釣り漁業の変遷	池野 茂	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の漁業	大島襄二・池野茂	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の商業	山田 誠	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の民俗と民具	高橋誠一	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の社会組織	西田彦一・戸祭由美夫	離島診断[地人書房]		1975
奥尻島の先史	千田 稔	離島診断[地人書房]		1975
国分寺と国府一佐渡:島社会の形 成と文化一	今井法二	地方史研究	25-4	1975
臨海村の村落構成と漁業のしめる社 会経済的地位について一佐渡 島社 会の形成と文化一	佐藤利夫	地方史研究	25-4	1975
見島	小野忠熙	離島診断[地人書房]		1975
隠岐一島嶼経済の構造と変貌	田中豊治	ぎょうせい		1977
隠岐の農業	寺本演義	地域開発	163	1978
隠岐と水産業	松長信男	地域開発	163	1978
隠岐の俵物生産・集荷と役場引請制	荒居英次	日本大人文学研究所研究紀要	21	1978

隠岐諸島観光地集落の観光客滞留拠点性—西南日本広域観光客流動1970年実態による—1—	野本晃史	山陰文化研究紀要（人文・社会科学）	18	1978
隠岐の文化・歴史	田中豊治	地域開発	163	1978
隠岐の林業と観光	山口貞美	知己開発	163	1978
天売・焼尻両島の森林—乱伐と植樹の歴史	関秀志	北方林業	30	1978
隠岐島の歴史地理学的研究	田中豊治	古今書院		1979
隠岐島周辺の沿岸水中における亜鉛および銅の分布（2）	奥村稔・井戸垣正俊	山陰文化研究紀要（人文・社会科学）	20	1980
離島隠岐における生産・流通の問題点と物価問題	杉元邦太郎	駿台史学	49	1980
今井八九郎作成の蝦夷地図考（1）—「利尻島礼文島測量製図」を中心に—	佐々木利和	Museum	352	1980
日本海中国島嶼の屋号語彙	岡野信子	言語生活	360	1981
今井八九郎作成の蝦夷地図考（2）—奥尻島測量原図を中心に—	佐々木利和	Museum	373	1982
隠岐浦郷の漁業共同経営の成立と展開	田中史朗	西日本漁業経済論集	23	1982
イメージ形成の地域特性（2）—北海道礼文島の小学生にみられる北方系の優位性について	岩城操・中尾舜一ほか	自然科学論叢	14	1982
隠岐をとりまく観光交通事情とその変化	野本晃史	日本観光学会研究報告	13	1983
隠岐・都万村の社会生活について	中俣均ほか	地域社会論集	2	1984
ニシンが去ってからの漁撈活動—焼尻島漁民の選択	須田一弘	季刊人類学	18-3	1987
隠岐牧畑の変貌—知夫里島における個人牧場の展開	長谷川孝治	日本の農山漁村とその変容[大明堂]		1989
治水事業と費用負担の地域分析—佐渡島国府川水害予防組合の場合	内田和子	人文地理	44-3	1992
佐渡地域における観光客増加に果たした島内努力と市町村間における観光客不均衡の要因に関する研究	溝尾良隆	地域研究（立正地理学会）	33-2	1993
文化地理学的にみた舢倉島の地名構造と命名法	中葉博文	富山県地学地理学研究論集	10	1993
離島の若者対策—下関市蓋井島を例として	地理学談話会	エリア山口	25	1996
佐渡の歴史地理学的調査と問題点	藤岡謙二郎			

11. 瀬戸内海の島

宇久島及び小値賀島	森壽美衛	地理学評論	7-6	1931
肥前松島水道に於ける松島島嶼と瀬戸内海	徳田貞一	地理教育	17-1	1932
瀬戸内諸島の道路と住家との立地関係	佐々木彦一郎	地理学評論	8-1	1932
生活類型より見たる瀬戸内海直島叢島—	田中秀作・秋山桓士	地理学	6-11	1938
オリーフの小豆島	中島菊治	地理学	10下	1943
島の一隅にて—香川懸小豆郡四海村長浜—	小寺廉吉	富大経済論集	2-1	~1951
海村の変貌過程—広島縣倉橋島鹿老渡—	宮本常一	新地理	5-4, 5	~1951
豊島—小島の社会の研究—	小寺廉吉	富大経済論集	1	~1951

瀬戸内海多島海島嶼地理学方法論－地域論（抄）－	二神弘	地理学研究	1	～1951
中予地方の島嶼部の地域性	村上節太郎	大塚地理		～1951
島嶼柑橘畑の気温分布	広島地方気象台	瀬戸内応用気象研究報告	－	～1951
備中白石島－離島調査報告－	福島惣一郎	民間伝承	－	～1951
豊後姫島－離島調査報告－	堀一郎	民間伝承	－	～1951
肥前宇久島－離島調査報告－	井之口章次	民間伝承	－	～1951
肥前樺島－離島調査報告－	竹田旦	民間伝承	－	～1951
豊島の民族	稻惣衛	讃岐史談	－	～1951
内海島嶼探訪記	谷口澄夫	瀬戸内海総合研究会報	2	1951
家島群島の集落	田中薫・山崎禎一	人文地理	4-1	1952
端島風景	一瀬亘	地域	1-4	1952
姫島の人文	兼子俊一	人文地理	4-2	1952
淡路沼島の人口移動	竹松定男	地理学研究小報（立命館大）	4	1952
沼島と海上交通	荻原龍夫	民間伝承	16-3	1952
周防平群島	亀山慶一	民間伝承	16-3	1952
デルタ・山地・島嶼の開発について－瀬戸内海地域歴史地理の一断面－	筑紫申真	日本歴史	67	1953
淡路における暗溝田主の二形態－と地と用水との分離について－	植田良一	農業と経済	19-4	1953
備前犬島の地理学的考察 1－現況と地域性について－	星野輝男	関西学院史学	2	1954
人口移出地帯における住宅情報（瀬戸内海小島の場合）	絹谷祐規	日本建築学会研究報告	29	1954
山口県大島地域に於ける農業経営の諸問題－第1報 蜜柑園及びその間作に関する経営学的研究－		山口大学農学部農業経済研究所		1954
淡路島の鳴戸蜜柑	山口三武郎	柑橘	6-2	1954
花卉作経営の実態－淡路島東海岸の場合－	原納一雄	農業と経済	20-7	1954
縁組による大三島の人口移動－縁組による人口移動の地域的研究 第7報－	合田栄作	地理学評論	28-10	1955
「人名」制下塩飽諸島における経済構造とその変態	小野博司	地理学評論	28-7	1955
瀬戸内諸島－加計呂麻島・諸島・与路島－	米谷静二	鹿児島地理学会紀要	5	1955
島嶼性の考察－周防大島を例として－	村上次男	甲南大学文学会論集	2	1955
淡路のフリージャヤとカーネーションの栽培	谷口保	農業技術研究	9-3	1955
小豆島における和牛の肥育経営 1、2	高橋虎雄	畜産研究	9-7、8	1955
粟島	北見俊夫	しま	6	1955
京阪神大都市周辺地域としての淡路島の地理学的研究	岸本実	学芸学部紀要（徳島大）	6	1956
瀬戸内海島嶼部における半農半漁村の経済地理学的研究－広島県沼隈郡内海町田島町の場合－	河野通博	岡山大学法文学部紀要	5	1956
粟島研究	林正巳他	教育科学（新潟大学教育学部）	6-1	1956
小豆島地域調査	山崎謹哉他	専修大学地理学研究会紀要	2	1956
島の人文地理－塩飽諸島佐柳島の場合－	大田茂弥	岡山史学	2	1956
瀬戸内海島嶼部における甘藷直播栽培の導入	水沼栄吉他	農業及園芸	31-10	1956
瀬戸内海島嶼部落塩田の研究	児玉洋一	経済論叢（香川大）	28-5、6	1956

伊予三島・川之江地域社会—経済・社会の実態調査報告—		松山商大経済研究所		1962
家島郡島	神戸新聞社文化事業局	神戸新聞社		1962
笠岡諸島（岡山県）	河野通博	しま	8-2	1962
野島（山口県）	松岡利夫	しま	8-3	1962
燧灘の弧島—魚島—	小野博司	しま	8-2	1962
瀬戸内の島々—その土地利用と農地保全—	白井義彦	地理	8-12	1963
淡路島のみかん栽培		地理学報（大阪学大）	10	1963
淡路島の花弁栽培地域	奥村和夫	地理学報（大阪学大）	10	1963
淡路島における花卉栽培の立地（要旨）	奥村和夫	地理学評論	36-6	1963
淡路島特集号		地理学報（大阪芸大）	10	1963
淡路島西海岸（読図と判読）	瀬戸玲子	地理	8-5	1963
家島群島の離島振興計画	長尾孝	しま	9-1	1963
家島郡島	大見重雄	しま	9-1	1963
姫島	宮本常一	しま	9-2	1963
明治後半期における内海島嶼部—村落の統計的考察—瀬戸内海島嶼部における半農半漁村の経済地理学的研究（3）—	河野通博	岡山大学法文学部学術紀要	19	1964
小豆島経済と観光産業	坂口良昭	地理学研究（香川大）	12	1964
小豆島特集号	香川大学地理学研究会	地理学研究（香川大）	13	1964
瀬戸内海島嶼農業における土壌侵蝕の諸問題（英文）	池田実男 他	広島農業短期大学研究報告	2-2	1964
淡路島における乳業メーカーと酪農業—乳価をめぐって—	坂本慶一	農業と経済	30-1	1964
淡路島の民俗	和歌森太郎編	吉川弘文館		1964
中世における瀬戸内小豆島の製塩	川野正雄	地方史研究	14-1	1964
中世における瀬戸内小豆島の製塩の訂正補遺	川崎正雄	地方史研究	14-4	1964
走島（広島県）	大見重雄	しま	10-2	1964
柱島郡島（山口県）	松岡利夫	しま	10-1	1964
壮年隠居制—柳井市平群島の場合を中心として—	石原潤	人文地理	17-1	1965
淡路島の民家	市原輝士	民俗建築	52	1965
瀬戸内島嶼地帯の立地条件が甘藷の生育に及ぼす影響	吉崎 徹磨	広島県立農業試験所報告	22	1965
瀬戸内海の研究（1）—島嶼の開発とその社会の形成、海人の定住を中心に—	宮本常一	未来社		1965
保戸島の民俗—大分県津久見市—	野崎一郎	日本民俗学会報	38	1965
淡路島の棟附帳	新見貫次	地方史研究	15-6	1965
淡路島の温室園芸地域（要旨）	松井貞雄	日本地理学会人文地理学会大会報告		1966
越智郡島嶼部の共同調査—大島・大三島・伯方島—		愛媛県高校社会科研究会地理学部門		1966
島のくらしと出稼ぎ—周防大島の場合—	宮本常一	展望	88	1966
淡路島鑄物資源について（総論）	藪内清三	姫路工業大学研究報告	19	1966
岡山県笠岡市白石島	福島惣一郎	離島生活の研究		1966
広島県安芸郡蒲刈島	北見俊夫	離島生活の研究		1966
保戸島	野崎一郎	しま	12-3	1966
備前鹿久居島誌	村上次男	甲南大学会論集	34	1967
周防大島におけるミカン栽培の地域的差異について	味沢成吉	新地理	16-1	1968

瀬戸内海の上向型底曳網漁村兵庫県飾磨郡家島町坊勢の場合—瀬戸内海島嶼部における半農半漁村の経済地理学的研究(第4報)—	河野通博	岡山大法文学部学術紀要	28	1968
瀬戸内海の陸月島	星野輝男	兵庫地理	12	1968
越智諸島	宮本義孝	しま	14-2	1968
広島県中部島嶼地域の土地利用	佐伯岩男	広島商大論集法文篇	10-1	1969
笠岡諸島の地理学的考察	二木敏篤	神戸工専研究紀要	13	1969
小豆島における観光農業(1)—その現況と発展策—	沖本喬	農業技術	24-12	1969
小笠原諸島の農業開発	仲宇左達也	農業技術	24-3	1969
上島諸島	横山昭市	しま	16-2	1970
宇和海の離島竹ヶ島の生活—共同体的側面を中心とした—	篠原重則	愛媛県立宇和島南高校研究紀要	2	1972
女木・怒和—地理研瀬戸内調査シリーズ(6)—	関西学院大地理研究会	同左		1972
宮島	宮島町編	同左		1972
宮島の地理環境	石田寛・成瀬敏郎	巖島民族資料緊急調査報告書		1972
大三島浦戸における塩田跡地みかん園の冷気湖	吉野正敏・村上節太郎	農業気象	29-2	1973
造船工業地域の研究—相生・因島両地区の場合—	村上雅康	大明堂		1973
南淡路の自然景観と文化財	稲見悦治	淡路島南部地域学術調査報告書		1973
直島・戸島—地理研瀬戸内調査シリーズ(7)—	関西学院大地理研究会	同左		1973
所謂「暗溝田主」分布地域における農業と農村の発展過程—淡路三原郡三原町を中心に—	喜多村俊夫	大阪経大論集	98	1974
粟島・志々島の農業	内山幸久	香川大地理学研究	23	1974
離島大島・小島の磯根資源について	斎藤勝男ほか	北水試月報	31-5	1974
造船業の木江町(大崎上島)	大段徳行	地理	19-12	1974
淡路の弥生式時代の考察—洲本川流域の遺跡を中心として—	岡本 稔	兵庫史学	65	1974
古代淡路の歴史的地域—その線的考察—	梅原隆治	地域文化	1	1974
近世讃州直島の廻船業	柚木 学	経済学論究	28-2	1974
白石・馬渡—地理研瀬戸内調査シリーズ(8)—	関西学院大地理研究会	同左		1974
小中島小史	佐藤善忠	大分市小中島・徳島自治会		1974
小豆島における小地域集団の発生とその性格	松本博之	人文地理	27-5	1975
過密に包囲された過疎—瀬戸内海の島々—	河野通博	環境文化	17	1975
近世~明治前期における家島諸島の漁業形態について	平岡昭利	史泉	50	1975
淡路島中部の墓制	八木康幸	地域文化	2	1975
周防大島の近世漁村	新宅 勇	山口芸術短大研究紀要	7	1975
近世~明治前期における家島諸島の漁業形態について	平岡昭利	史泉	50	1975
岡村島—地理研瀬戸内調査シリーズ(9)—	関西学院大地理研究会	同左		1975
巖島(宮島)をめぐる社会環境とその変貌	石田寛・村上誠	巖島の自然 [宮島町]		1975
沙弥島誌	三島 中編著	坂出史談会		1975
魚島民俗誌	愛媛大民俗学研究会編	同左		1975
粟島(読図と判読)	谷岡誠一	地理	20-10	1975

小豆島・肥土山の地すべり地形（読図と判読）	須長博明	地理	20-11	1975
淡路島東部（空中写真を読む）	小原 昇	地図の友	17-4	1975
明治前期における家島諸島の三つの浦—その集落間の異質性を問題にして—	平岡昭利	歴史地理学紀要	18	1976
周防大島における浜の集落の形成過程	堤 正信	地理学評論	49-2	1976
小豆島の民家	鶴藤鹿忠	民俗建築	72	1976
宇和島市九島における土地利用の変貌	江口旻・玉井建三	亜細亜大教養部紀要	14	1976
伊吹島の農業	横方康吉	四国女子大研究紀要	19	1976
瀬戸内海島嶼部の農業—瀬戸内架橋地域、今尾ルートの場合	藤枝孝善	沼津工業高専紀要	12	1977
瀬戸内海島嶼部の生活環境に関する基礎調査（1）～（3）	大原早苗ほか	家政学雑誌	28-8	1977
離島の開発—山口県営浮島地区開発パイロット事業	黒田洋	エリア山口	8	1978
淡路島論鶴羽山麓の垣内地名	武藤直	歴史地理研究都市研究（上）[大明堂]		1978
瀬戸内海島嶼部の生活環境に関する基礎調査（4）・（5）	田中幸恵ほか	家政学雑誌	29-1	1978
牛島共同学術調査・報告—地理学班調査概要	石田寛・森川洋ほか	内海文化研究紀要	6	1978
大島大橋の交通量から見た周防大島の地域性? 開通2年目の資料による考察	福原博	エリア山口	8	1978
瀬戸内海におけるイワシ漁業の立地—川之江と伊吹島との経営比較	外間源治	漁業経済研究	23	1978
港と船のある風景—瀬戸内海の島社会	大島襄二	港湾	56-4	1979
姫島の人口と産業	森川洋	内海文化研究紀要	8	1980
芸予諸島の中心地と勢力圏	森川洋	西村嘉助先生退官記念地理学論文集		1980
大分県保戸島のマグロ延縄漁業	土井仙吉	福岡教育大紀要（社会科）	29	1980
瀬戸内離島漁村の漁業と親族—愛媛県越智郡魚島村魚島の事例	杉本一郎	追手門学院大文学部紀要	14	1980
姫島共同学術調査報告	森川洋ほか	内海文化研究	8	1980
大崎上島の地誌（1）	東皓傳	広島商船高専紀要	3	1981
2万5千分の1土地条件図「小豆島」の表現について	鈴木美和子	地図	20-4	1982
瀬戸内島嶼における柑橘経営と樹園地基盤の実証的分析—愛媛県中島町における実例的分析	坪本毅美	愛媛大学総合農学研究彙報	24	1982
淡路島の線香製造業—伝統工業の1事例	星野輝男	兵庫地理	27	1982
瀬戸内地域における離島航路について	宮崎満	一橋論叢	87-1	1982
近世前期真鍋島の村落構成と漁業	谷山正道	内海文化研究紀要	10	1982
近世瀬戸内海運と備前南見島	上村雅洋	大阪大学経済学	32	1982
岡山県笠岡市真鍋島の海岸地名	上野智子	内海文化研究紀要	10	1982
架橋で変わる広島湾の島々—鹿島を中心に	東皓博	地域	10	1982
水産地理学における生態学的研究の一試論—越智諸島椋名における一本釣漁の漁場利用の場合	田和正孝	地理学評論	56-11	1983
淡路島論鶴羽山地南麓における取水・水利形態と水利空間の変化? 生活用水を中心として	笠原俊則	地理学評論	56-6	1983

因島・生口島間における船舶交通	奥田邦晴	航海	76	1983
洪水で埋もれた五つの水田址—兵庫 県淡路島志知川沖田南遺跡	松下勝・高橋学	地理	28—10	1983
牛島の社会構造と住民の生活構造— 特に歴史過程と経済・生産・労働の 構造について	林雅孝	山口大学教養部紀要（人文科学）	18	1984
香川県西部島嶼部住民の水意識と水 利用	新見治	香川大学教育学部研究報告（第1 部）	60	1984
小豆島における写し霊場の成立	小田匡保	人文地理	36—4	1984
Southern Kitaki Island	J. W. Macnab	岡山大学教養部地理学教室ほか		1984
徳山湾口大津島集落の変容	川村博忠	エリア山口	15	1985
天売島の森林造成について	村上晴芳	北方林業	37—8	1985
家島群島における水利用の展開過程 と住民の水利用行動	新見治	香川大学教育学部研究報告（第1 部）	65	1985
小豆島の墓制の最近の変化	稲田道彦	香川大学教育学部研究報告（第1 部）	64	1985
古代淡路国の社会・経済的特性	関口靖之	歴史地理学紀要	27	1985
瀬戸内島嶼部の農業とその地域類型	甲斐重武・森川洋	内海文化研究紀要	14	1986
芸予諸島の芋地蔵の分布地蔵町・新 川付近の甘蔗資料	村上節太郎	愛媛の文化	24	1986
芸予諸島における古代航路の形成と その展開	東皓伝	歴史地理学紀要	28	1986
瀬戸大橋建設と地域社会—島嶼部の 調査を中心に	驒坂学・磯部作	社会文化研究・広島大学総合科学 部	13	1987
「地の島」に関する空間認知とその 変容—神奈川県江の島の場合	斎藤毅・古田悦造	人類科学	39	1987
本四架橋と離島振興—離島性の解消 か橋げたの島か	大見重雄	地理	33—3	1988
橋脚の島の漁業の状況—瀬戸大橋開 通前の調査を中心に	磯部作	西日本漁業経済論集	30	1989
村落墓地の規模について—淡路島を 例として	八木康幸	関西学院史学		1989
淡路島三原平原における三毛作農業 の展開と特色	田野宏	日大文理学部自然科学研究所紀要	26	1991
宇和島藩知行取の出生力 —1770— 1868	村越一哲	人口学研究	16	1993
淡路島の地域おこし —21世紀の 「くに」づくり	柚木学編	御茶の水書房		1993
香川県島嶼部の過疎問題と地域振興 の課題	篠原重則	香川大学教育学部研究報告（第1 部）	90	1994
粟島における人口構造の変化 —海 員学校閉鎖のインパクト	香川貴志	立命館大学人文科学研究所紀要	62	1994
香川県粟島における養殖業の展開 —外航船員との関連において	河原典史	漁業経済論集	35—1	1994
船員の島・粟島をとりまく立地環境 と空間構造の変化	戸所隆	立命館大学人文科学研究所紀要	62	1994
粟島における海運業の展開 —近世 後期から近代前期を中心に	河原典史	立命館大学人文科学研究所紀要	62	1994
粟島におけるリゾート開発と余暇運 動	古賀慎二	立命館大学人文科学研究所紀要	62	1994
粟島における生活空間の構造 —経 済基盤との関連において	山下博樹	立命館大学人文科学研究所紀要	62	1994
生産過剰・市場開放に伴う柑橘生産 地域の分布と存立構造の変動—瀬戸 内海中部島嶼地域を事例として—	梅田克樹	人文地理	49—6	1997
有明浜と伊吹島の景観	新見治・竹原千奈理ほ か	地理学研究	46	1997
姫島村の盆踊りに見られる伝統文化 の創造	藤田若菜	大分地理	11	1997

伊予国弓削島荘における「住人等解」結合の時代的意味	畑野順子	内海文化研究紀要	27	1998
芸予諸島の変容と西瀬戸自動車道開通への対応	横山昭市	愛媛の地理	14	1999
わが国島嶼空間の変容—架橋開通に伴う瀬戸内海田島・横島の地域変化を中心として—	塩谷裕司	研究報告	4	1999
日生諸島	河野通博	しま		

12. 九州の島

五島福江島の鎔岩臺地と其の耕作景觀	森壽美術	地理學評論	10-2	1934
天草諸島の人口	伊藤博	地理論叢	10	1939
日支交通史より見たる五島・平戸列島	吉田敬市	地理論叢	11-4	1940
五島列島地誌概報（日本島嶼誌第一報）	山階芳正	地学雑誌	59-4	～1951
黒島の生活	三友国五郎	社会地理	—	～1951
対馬の「サエ」地名について	近藤忠	長崎大学々芸学部人文社会科学報告	1	～1951
壹岐島に関する文献目録	山口麻太郎	村落生活の研究	—	～1951
対馬観察記—八学会連合対馬共同調査委員会に参加して—	関口武	研究の展望	最終号	～1951
壹岐島の家（民家帖7）	蔵田周忠	民間伝承	15-4	～1951
対島、巖原の家（民家帖9）	蔵田周忠	民間伝承	15-6	～1951
対馬藩の土地制度と貢租	宮本又次	九州大学経済学研究	16-3	～1951
平戸諸島の漁村と漁村問題	吉田敬市	平戸学術調査報告		1951
度島誌	織田武雄・米倉二郎	平戸学術調査報告		1951
壹岐の島の漁業	折茂順平	地理学評論	25-4	1952
五島列島・九十九島・平戸島学術調査書（附男女群島）	山階芳正	長崎県		1952
対馬の地名	近藤忠	人文地理	4-3	1952
対馬の民家に就いて	野村孝文	日本建築学会研究報告	1	1952
脚光をあびる対馬の農業	楠原信行	機械化農業	2400	1952
対馬の頭上運搬とユリ	瀬川清子	民間伝承	16-5	1952
鬼ガ島・壹岐島の考古学調査	水野清一	科学朝日	12-2	1952
対馬藩田代領における生蠔会所の経営	作通洋太郎	経済学（阪大）	2	1952
漁民と対馬—九学会会報—（人類科学 4）	九学会連合	関書院		1952
肥前小値賀島（長崎県北松浦郡）	井之口章次	民間伝承	16-3	1952
薩摩長島	大藤時彦	民間伝承	16-3	1952
明治維新後対馬東岸における外来業者の定着と成長	河野通博	岡山大学法文学部紀要	1	1953
肥前宇久島の海土	井之口章次	地域	8	1953
長崎県：五島列島、九十九島、平戸島学術調査（総論篇）	河野通博	地理学評論	26-11	1953
天草島地方における鰹場線網漁業の労働事情		労働省熊本労働基準局給与課		1953
古代対馬文化の一考察	正田道夫	日本歴史	57	1953
対馬	水野精一・樋口隆康ほか	東亜考古学会		1953
天草島の新田開発と土地均分政策	田辺賢一郎	新地理	2-2	1954

対馬の自然と文化	九学会対馬調査委員会	古今書院		1954
国境の島、対馬の農業	河野保馬	農業と経済	20-5	1954
対馬の在来農法	渡辺兵力	日本農業研究所報告	4	1954
対馬漁場の構造とその生態学的考察	辻田時美	日本海洋学会誌	10-3	1954
五島列島	小野博司	しま	3	1954
対馬	木内信蔵	しま	2	1954
天草島をたずねて	佐藤松男	しま	3	1954
甌島紀行	竹田亘	しま	4	1954
島嶼村落の地域構造—壹岐島の場合—	戸坂博	九州地理	2	1955
壹岐・対馬万葉地理の研究	本田義彦	熊本女子大学学術紀要	7-1	1955
九学会連合対馬共同調査委員会：対馬の自然と文化	浮田典良	人文地理	7-3	1955
甌島の農漁村住宅 —鹿児島県薩摩郡下甌村青瀬—	扇田信	農村建築	29	1955
筑前大島	大村肇	しま	7	1955
長島日誌	竹田亘	しま	7	1955
平戸諸島の旅	山階芳正	しま	5	1955
ロブケイン：砂糖の島の将来	岸本実	地理学評論	28-4	1955
甌島の民家	野村孝文	日本建築学会研究報告	35	1956
対馬林業に関する若干の問題	河内貫一	対馬総合学術調査報告書		1962
甌島の人文地理学的調査概報（要旨）	京都大学甌島調査団	人文地理	14-1	1962
甌島調査記	京都大学甌島調査団	地理	7-4~8	1962
木炭の生産・流通機構と農協（1）—長崎県対馬・島大村市萱瀬地区について—	野木稔郎	経済論叢（京大）	90-5	1962
宝島浜坂貝塚の調査概要	三友国三郎・河口貞徳	埼玉大学紀要（社会科学編）	11	1962
対馬総合学術調査報告書	吉田敬市編	長崎県		1962
五島列島における人口の諸構造とその地域的流動	河地貫一	五島地域総合振興計画現況		1963
五島地域総合開発計画現況	河内貫一編	長崎県		1963
五島列島の交通運輸	河内貫一	五島地域総合振興計画現況		1963
長崎県五島列島における生活関係圏について	竹内清文	社会科学論叢（長崎大）	12	1963
村落構造と選挙行動—天草島—沿岸漁村モノグラフ（2）—	神谷国弘	熊本商大論集	17	1963
離島の経済構造—対馬峰村の実態調査—	秋山博一他	経済季報（長崎県経済研究所）	4	1963
壱岐の人口—特にその構造と地域的移動について—	河地貫一	壱岐地域総合振興計画現況		1964
壱岐地域総合開発計画現況	河内貫一編	長崎県		1964
島の後進性と壱岐島の開発	河内貫一	壱岐地域総合振興計画現況		1964
壱岐観光産業の現況とそのあり方	河内貫一	壱岐地域総合振興計画現況		1964
対馬領田代売薬行商圈の成立過程（要旨）	小林肇	人文地理学会大会発表要旨		1964
離島の人文地理—鹿児島県甌島学術調査報告—	藤岡謙二郎編	大明堂		1964
漁村部落の構成について—五島若松町における実情、離島漁業振興への接近—	八木康夫	漁業経済研究	13-1	1964
奄美大島のハブ（ハミ蛇）咬傷—九州地方における家畜の風土病とその所見—	目崎平司	獣医畜産新報	370	1964
離島の水産業—長崎県の五島福江市を中心—	中楯興	産業労働研究所報（九州大）	33	1964

新対馬島誌		島誌編纂委員会編	1964
五島列島の農業生産構造とマーケティング	家永泰光	農業及園芸	39-11 1964、 65
対馬地域総合開発計画現況-対馬の経済と社会-	河内貫一編	長崎県	1965
対馬の開発と日本資本主義	河内貫一	対馬の経済と社会	1965
対馬領田代売薬行商圈の成立過程第2報(要旨)	小林肇	人文地理学会大会発表要旨	1965
島の農協の合併の問題-平戸島の農業構造改善と農協-	野木稔郎	経営と経済	103 1965
黒島の社会と宗教の構造と変化-大里事例の予備的分析-	伊藤幹治	国学院大学日本文化研究所紀要	17 1965
対馬の古跡	永留久恵	対馬郷土研究会	1965
甌島の民家	野村孝文	民俗建築	56 1966
地域経済と沿岸漁業(4)-離島五島有川町の場合-	中楯興	産業労働研究所報(九州大)	28、29 1966
壱岐真珠卵養殖業の地域的性格	大島襄二	漁業経済研究	14-3 1966
平戸島の振興計画	岩永一男	しま	12-1 1966
朝鮮・琉球間における中世の対馬	田中健夫	朝鮮学報	39・40 1966
対馬島宗氏両国支配の発展と朝鮮関係諸権益	長節子	朝鮮学報	39、40 1966
長崎県北松浦郡宇久島	井之口章次	離島生活の研究	1966
長崎県北松浦郡小値賀島	井之口章次	離島生活の研究	1966
長崎県南松浦郡樺島	竹田亘	離島生活の研究	1966
平戸島の特殊景観	石井泰義	しま	12-1 1966
鹿児島県出水郡長島	大籾時彦	離島生活の研究	1966
鹿児島県薩摩郡甌島	小野重朗	離島生活の研究	1966
対馬大船越の地誌-離島専門漁村の社会地理学的研究-	大島襄二	関西学院史学	9・10 1967
離島社会の後進性とその歴史的展開(対島・本戸制度)	河内貫一	経営と経済	109 1967
対馬の本戸制度	加藤義昭	関西学院史学	9・10 1967
対馬の「あきない船」	塩田陽一	関西学院史学	9・10 1967
壱浦島・崎戸島	山本守喜	しま	14-1 1968
壱岐島地誌	引田幸雄	神戸山手女子短大紀要	11 1968
筑前諸島の現状について	中楯興	しま	14-3 1969
壱岐名勝図誌 第16~19巻	藤原正恒編著	壱岐古文書領布分長崎芦辺町	1969
天草諸島南部のカツオ餌場の研究-獅子島幣申地区を中心として-	三宅達也	鹿児島地理学会紀要	18 1970
北対馬漁業の現況と問題点	秋山博一	調査と研究	2-1 1970
近世対馬藩における日鮮貿易の一考察-「特鑄銀」を中心として-	田代和生	日本歴史	268 1970
対馬の焼畑-わが国のムギ作型焼畑の特色とその系統についての覚書-	佐々木高明	人文地理学論叢(柳原書店)	1971
中小漁業の階層と流通機構-五島列島福江村付近の例で-	楠原直樹	東北地理	23-1 1971
19世紀後半における沿岸漁業の変貌構造-長崎香焼島漁業について-	市川信愛	経営と経済	52-1 1972
隠岐および五島における水産物流通機構の成立	田中豊治	漁業経済研究	19-1・2 1972
天草の史跡文化遺跡	鶴田文史編著	天草文化出版	1972
福江島と田畑(空中写真を読む)	小宮山武治	地図の友	14-4 1972
離島の社会構造-五島列島・六島の場合-	中野正大	ソシオロジ	18-2 1973
多嶋の国府・郡家について	日野尚志	佐賀大教育学部研究論文集	21 1973
天草郷土史考	山腰雅春	天草史談会	1973

長島の史料	東町教育委員会編	同左		1973
過疎化のすすむ離島村落のモノグラフ—五島列島、黄島の場合—	中野正大	長崎大教養部紀要（人文科学）	14	1974
長島の歴史と物語	東町教育委員会編	同左		1974
長島町郷土史	長島町郷土誌編集委員会	同左		1974
壱岐島の人口に関する若干の地理学的考察	米田藤博・赤塚康雄	パイオニア（関西地理学研究会）	8	1975
壱岐における生活圈	中野雅博	離島診断[地人書房]		1975
福江島の郷有林経営	松山利夫	離島診断[地人書房]		1975
五島漁村の位置的考察—それと福江島漁村聴き書き—	大島?二	関西学院史学	16	1975
長崎県の離島と道路—「島と道路」シリーズ—	矢野一徳	道路	416	1975
玉名平野の開発と横島開拓	規工川宏輔	横島干拓工事誌 [九州農政局]		1975
青島	窪田哲三郎・藤村重美 他	離島診断[地人書房]		1975
壱岐	浮田典良・柿本典昭 ほか	離島診断[地人書房]		1975
五島	樋口節夫・島田正彦 ほか	離島診断[地人書房]		1975
壱岐嶋の国府・郡家について	日野尚志	史学研究	130	1976
五島の祖名継承法と親族組織—長崎県福江市増田の事例を中心として	上野和男	政経論集	45-6	1977
五島の隠居慣行	土田英雄	大阪教育大紀要（社会科学生活科学）	25-3	1977
対馬漁業聞書（2）（3）—内野村琴編、稿本「反古廼裏見」抄	中村正夫	社会科学論集（九州大教養部）	17・18	1977・78
対馬佐護湊で見聞した藻刈舟について	柴田恵司・高山久明	海事史研究	31	1978
長崎県生月島の触とかくれキリシタン組織	野崎清孝	奈良大紀要	9	1980
五島列島枕島における漁業の変化過程	田和正孝	人文研究（関西学院大）	30-3	1980
五島列島における定置網漁業の現状	田和正孝	西日本漁業経済論集	20	1980
平戸諸島の里修験	宮本袈裟雄	歴史人類	9	1980
五島列島に養蚕新産地が生まれて—〇年	西文秀	農業と経済	46-8	1980
五島農村のムラ構成とそその変化—福江島大川原の場合	八木康幸	人文論究（関西学院大）	30-4	1981
対馬西浜の盆踊りと年齢階梯制（1）・（2）	末成道男	聖心女子大論叢	57, 58	1981
加部島の生活基盤	南出真助	佐賀大学教養部研究紀要	14	1982
対馬・木坂の祭祀と村落空間	鈴木正崇	日本民俗学	140	1982
わが国における海土集落の変貌—五島列島宇久島平を事例として	田畑久夫	歴史地理学紀要	24	1982
大分県保戸島の漁村の変貌—景観変遷史的視点から	中野雅博	大分県地理	14	1982
下五島崎山における農業と社会変化	伊藤亜人	東京大学教養学部人文科学科紀要	3	1982
対馬における人口と産業の動向	原田統之介	九州工業大学研究報告	31	1983
対馬三部落における「家」意識の調査研究	檜垣巧	密教文化	142	1983
対馬の天道地	永留久恵	日本民俗学	147	1983
対馬・仁位の祭祀と村落空間	鈴木正崇	日本民俗学	151	1984
壱岐島における小地域集団の変容—初山西触・本村触を事例として	後藤文昭	地理科学	39-2	1984

五島列島高崎における漁村の形成・維持と共同漁業—ムラの経済的・社会的基盤についての一考察	深野康久	地域文化	8	1984
壱岐島における「アマ」集落の変容—小崎浦・八幡浦を事例として	田畑久夫	歴史地理学	125	1984
対馬における伝統的漁業の変貌	田畑久夫	歴史地理学紀要	29	1987
モノの象徴制—壱岐のミノフロシキ	田中丸勝彦	日本民俗学	171	1987
西海捕鯨業の変遷—壱岐島を事例として	田畑久夫	民俗と歴史	19	1987
海神の島—沖ノ島とその祭祀	弓場紀知	世界	395	1987
アマ漁業における女性就業—壱岐島八幡浦の事例的考察	三木奈都子	漁業経済論集	38-3	1993
長崎県高島における閉山後の文化景観	香川貴志	京都教育大学紀要 (A 人文・社会)	82	1993
五島列島宇久島の荒神信仰	高見寛孝	日本民俗学	195	1993
鹿児島県甌島における過疎化の進行と近年の変化	浮田典良	人文論究 (関西学院大)	43-3	1993
対馬の自然と生活	福沢清司	対馬の漁村 [行路社]		1994
対馬の漁村—日韓共同研究	益田庄三編	行路社		1994
豊玉町漁業の実態—漁協組活動と町おこし運動を中心に	柿本典昭	対馬の漁村 [行路社]		1994
対馬の墓地のこと—「両墓制」について考える	塩野雅代	日本民俗学	201	1995
対馬・金田城	本田秀樹	古代文化	47-11	1995
上五島における漁場用益空間の変容—13世紀後半～15世紀前半を中心に	橋村修	歴史地理学	38-1	1996
離島における消費者購買行動の一考察—長崎県五島列島岐宿町の事例	宮沢仁	経済地理学年報	42-1	1996
Holocene Sea-level Change in the Goto Island, Japan	長岡信治ほか	Geog. Rept. Of Tokyo Metropolitan Univ.	31	1996
村落空間の社会記号論的解釈とその有効性—玄界灘馬渡島を事例として—	今里悟之	地理学評論	72-5	1999
南九州離島における歴史的集落の形成について	小園公雄, 中村明蔵	研究所報	15	1999

13. 島嶼一般, 離島, 島嶼地理学

日本群島付近に於ける島嶼の分類及び分布	辻村太郎・山口貞夫	地理学評論	11	1935
島嶼の地理	山口貞夫	地理学	8-7	1940
大きな将来のある小さな島	ジョン・テイラー	社会地理	—	~1951
周辺諸島	川上健三	世界地理大系	—	~1951
離島沿海仮村の共同調査項目の作成に当って	桜田勝徳	民間伝承	—	~1951
牧畑農業の解体について—島嶼社会の経済的構造と解体	田中豊治	地理学評論	24-3	1951
島嶼性に関する考察	山階芳正	地理学研究	2	1952
日本本土周辺の離島における人口の諸問題	別技篤彦	内田寛一先生還暦記念論文集	下	1952
離島産業と兼業経営農家の分析	梅井 清	長崎県企画室		1952
島と出稼	宮本常一	民間伝承	17-5	1953
島嶼における酒造用水	山田正一他	日本酒造協会雑誌	51-8	1956
島に関する地名の検討 (要旨)—地図における地名選択の予察—	井坂篤子	地理学評論	35-12	1962

離島漁村における家族類型と生産類型	三谷鉄夫	社会学評論	13-3	1962
島	宮本常一編	有紀書房		1962
離島からの出稼と地域社会への影響	西川俊作	三田学会雑誌	56-1	1963
離島経済の分析(1)	秋山博一	経済季報(長崎県経済研究所)	1-4	1963
離島の漁業振興について	手塚多喜雄	しま	9-1	1963
離島振興と漁港	西村節雄	しま	8-5	1963
明治後半期における島村部一村落の統計的考察	河野通博	岡山大学法文学部学術紀要	19	1964
無人島地図に関する考察(要旨)	木村東一郎	地理学評論	37-6	1964
序章 離島地理学の方法と対象-離島地理学(1)-	河地貫一	経営と経済	103	1965
離島における人口問題とその特質	河地貫一	対馬の経済と社会		1965
離島の鉱業空間	川崎茂	下関商経論集	9-2	1965
離島の経済分析	秋山博一	経済季報(長崎県経済研究所)	3-2	1965
離島農村の人口問題と農業の動向	中島千尋・川那部典良	農業と経済	31-5	1965
離島における2つの問題点	茂木六郎他	経済季報(長崎県経済研究所)	3-1	1965
離島における金融問題	梅井清	経済季報(長崎県経済研究)	3-2	1965
離島村落の社会人類学的研究	内藤莞爾・吉田禎吾	民族学研究	30-3	1965
無人島地図	木村東一郎	人文地理	17-4	1965
離島経済の分析(1)~(4)	秋山博一	調査研究(日本産業構造研究所)	58~61	1965、 66
離島の人口移動-離島と他地域との交流、離島地理学(2)-	河地貫一	経営と経済	104, 105	1966
離島農村における出稼の変遷	月川雅夫	経済季報(長崎県経済研究所)	4-1	1966
島の農業について-覚書-	野木稔郎	経済論叢(京都大)	97-1	1966
離島農業のこれから	大久保毅一	しま	12-1	1966
離島における漁業振興について	中森正元	しま	12-1	1966
離島生活の研究	日本民俗学会編	集英社		1966
日本の離島(2)	宮本常一	未来社		1966
離島の商品・資本移動(1)-島嶼時代-	河内貫一	経営と経済	46-3・4	1967
離島の商品・資本移動(2)-離島化時代-	河内貫一	経営と経済	47-1	1967
離島の商品・資本移動(3)-架橋時代-	河内貫一	経営と経済	47-2	1967
離島産業の前期性とその資本主義的展開(1)(2)	河内貫一	経営と経済	110, 111	1967、 68
離島地理学の方法論的序説	河内貫一	人文地理学の諸問題 大明堂		1968
離島地理学の方法論に関する一試論	河内貫一	人文地理学の諸問題 大明堂		1968
島畑景観の分布について	竹内常行	地理学評論	41-4	1968
離島の民俗	杉田旦	岩崎美術社	2-2	1968
島の地理学的研究	藪内芳彦	人文地理	23-2	1971
離島地域における水産物流通機構の変貌	田中豊治	九州経済調査月報	26-8	1972
水産物の流通と離島の漁港	楠原直樹	東北地理	24-2	1972
離島の特性と開発上の問題点	長谷川典夫	地域開発	98	1972
離島におけるレクリエーション開発と課題	今野修平	地域開発	98	1972
島-その社会地理学-	藪内芳彦	朝倉書店		1972
島の中心地	青木千枝子	地理	17-12	1972
離島生活と港湾	関口雅臣	港湾	50-4	1973
島民の生活環境施設改善要望事項の考察	坂口良昭	香川大地理学研究	23	1974
離島の民家	杉本尚次	離島診断[地人書房]		1975

離島の農業	浮田典良	離島診断[地人書房]		1975
離島と水産業	大島	離島診断[地人書房]		1975
離島の現況と道路 (1)・(2) - 「島と道路」シリーズ	菊地信雄	道路	414 415	1975
離島の行政領域の沿岸	山澄 元	離島診断[地人書房]		1975
離島の研究と地理学的諸問題	藤岡謙二郎	離島診断[地人書房]		1975
離島診断	藤岡謙二郎・浮田典良編	地人書房		1975
1/25,000地形図整備事業における離島作業	中野義雄	測量	28-6	1978
三全総と離島	今野修平	地域開発	164	1978
離島問題の諸側面	垣花将人	地域学研究	8	1978
島と島社会	鈴木勇次	地域開発	164	1978
島の農業の作目について-覚書 (1)・(2)	野木稔郎	経営と経済	57	1978
離島の過疎問題と住民対応	鳥越皓之	桃山学院大社会学論集	12	1979
離島の過疎問題と住民の対応	鳥越皓之	桃山学院大社会学論集	12	1979
わが国主要外洋性離島農業の類型化	石村満宏	鹿大史学	28	1980
離島航路	高橋良宣	地域研究	10	1980
孤島の政治地理学	青木栄一	地理	25-8	1980
船と島の空間論-地理的歴史地理学への準備として	山田安彦	西村嘉助先生退官記念地理学論文集	2	1980
離島の商業 (上) - 地域商業編ノート (1)	市川信愛	経営と経済	60	1980
離島航路の現状と問題点	古谷源吾	港湾	58-4	1981
離島の生活と文化	宮本常一	地域開発	201	1981
島嶼・半島の歴史地理-歴史地理学紀要 (24)	歴史地理学会編	同左		1982
にっぽん島の旅 (1) ~ (4) - 太平洋の島々	団伊玖磨監修	中央公論社		1984
過疎の町・過疎の島 (1)・(2)	大沼一雄	地理	31	1986
離島の海の基本図?その作成にたずさわって	中条久雄	地図	26-1	1988
島嶼地理学の再生	中俣均	地理	33-1	1988
村の発展を探る-村民の望む開発と島の将来は	延島冬生	地理	34-11	1989
新しい「孤島苦」	中俣均	地理	34-11	1989
技術開発からみた離島に必要な飛行機と空港STOR機飛鳥が証明した技術	幸尾治朗	地理	34-11	1989
離島生活と病気	長谷部八朗	日本民俗学	178	1989
離島の教育環境-生活圏からのアプローチ	西原純	現代離島教育の構造と展開・長崎大学		1990
島嶼大辞典	日外アソシエーツ編	日外アソシエーツ・紀伊国屋書店		1991
離島めぐり15万キロ-島の博士423島に行く	本木修治	古今書院		1991
離島・島嶼における生活と農耕 - 地理・歴史・文化と経済・生活構造	長島俊介	農耕の技術	16	1993
離島めぐり15万キロ2	本木修次	古今書院		1993
島と山村の開発と生活史	矢田大雄ほか	いなほ書房		1993
「全国の島面積調査」について	鈴木秀雄・松本浩明	国土地理院時報	79	1994
辺境性と重層 - 離島が語りかけるもの	中俣均	地理	40-9	1995
離島の地形 - 読図教材の事例として	奥野一生	大阪教育大学地理教育研究紀要	4	1995
南の島々 シリーズ日本の自然地域編	中村和郎ほか編	岩波書店		1996

離島住民の生活意識 - 「心豊かさ」の構造分析	佐古井貞行	愛知教育大学研究報告(社会科学)	45	1996
離島振興政策の展開と離島の動向	奥野一生	地理学評論	71-5	1998
わが国島嶼空間の現状と課題-架橋 開通に伴う地域変容-	塩谷祐司	地理科学	55の3	2000
離島の半島化は発展か-地域人口高 齢化への取り組み-	小川全夫	地理科学	55の3	2000
多島域と情報社会	中野和敬編	南太平洋海域調査研究報告	33	2000

14. 東アジアの島

臺灣中央山脈横断旅行に就て(上)・ (下)	齊藤齊	地理教育	8・9	1928
臺灣東南方の一孤島紅頭嶼に就て (上)・(下)	宮内悦藏	地理教育	9-2・3	1928
樺太入移民の經濟地理學的考察 (上)・(下)	武見芳二	地理学評論	4-9	1928
臺灣角板山附近の地誌(上)・(下)	淺井治平	地理教育	12	1930
澎湖諸島雜記	早坂一郎	地理学評論	6-10	1930
南樺太國境視察	齊藤文雄	地理教育	13-1	1930
臺灣の陸の交通路の發達に就いて (上・中・上)	齊藤齊	地理教育	13-3	1930
臺灣唯一の湖明潭(上)(下)	齊藤齊	地理教育	14-4	1931
臺灣の港灣と海運(1)~(4)	齊藤齊	地理教育	16-1~6	1932
南部臺灣の一部に於ける集居型農村 聚落とその經營景	富田芳郎	地理学評論	9-7	1933
臺灣に於ける灌溉排水施設の地理學的 考察	渡邊久雄	地理論叢	4	1934
樺太地方の産業の實際的指導	佐藤保太郎	地理教育	20	1934
濟州島と鬱陵島	多田文男	地理教育	23-2	1935
樺太のパルプ・製紙工業の立地論的 考察	安藤鏗一	地理論叢	6	1935
臺灣に於ける合成聚落としての麻豆 及佳里(I)(II)	富田芳郎	地理学評論	11	1935
臺灣次高山彙を境としたるタイヤル 族山地居住形態の差異	鹿野忠雄	地理学評論	11	1935
臺灣島の人口移動に関する地理學的 研究	榊田一二	地理学評論	11	1935
樺太の人口	安藤鏗一	地理教育	22-3	1935
樺太の沿革と現状の管見(一) (二)	竹内常行	地理教育	22-3	1935
臺灣中臺地考-經濟地理學的一考察-	渡邊久雄	地理論叢	8	1936
北部臺灣に於ける村落居住型形成の 要因に就て(一)	富田芳郎	地理學	4-4	1936
臺灣に於けるタイヤル族の土地利用 の形態に就いて	田中薫	地理学評論	13-2・5	1937
臺灣に於ける輪中類似の地域につい て	内田勳	地理論叢	9	1937
臺灣人口の地理學的研究-人口地圖 による考察	庄司久孝	地理論叢	9	1937
臺灣蕃人の原始經濟生活の一研究 (一)	阿部武道	地理學	5-8	1937
臺灣に於ける街村(一・二)	富田芳郎	地理教育	26-6	1937
樺太農業の地理學的考察(二・三・ 四・五)	多門肇	地理教育	29-1	1937